

【教育委員会定例会】会議録

会 議 名	令和4年第1回教育委員会定例会		
事 務 局	教育指導部教育政策課		
開催年月日	令和4年1月13日(木)		
開催時間	午後3時00分～午後3時59分		
開催場所	教育委員会室		
委員の出席	大山 日出夫 教育長	河本 孝美 委員	近藤 俊明 委員
	小関 朝之 委員	早川 貴美子 委員	
出席説明員	荒井 広幸 教育指導部長	森 太一 教育政策課長	八尋 崇 教育指導課長
	川口 弘 学校運営部長	森田 剛 学校支援課長	浅見 寿和 学校施設管理課長
	上遠野 葉子 子ども家庭部長	菊地 崇 子ども政策課長	櫻井 健 私立保育園課長
	安部 嘉昭 子ども施設入園課長	橋本 太郎 こども支援センターげんき所長	楠山 慶之 教育相談課長
	金澤 大輔 パークイノベーション担当課長		
書 記	秋元 康裕 教育政策担当係長	脇本 達朗 教育政策担当係長	岡元 健生 教育政策担当係員
欠 席 者	田巻 正義 学力定着推進課長 飯塚 尚美 学務課長 島田 裕司 子ども施設運営課長 門藤 敦良 支援管理課長 土田 浩己 生涯学習振興公社局長 志村 昌孝 小中連携教育担当課長 古川 弘雄 子ども施設指導・支援担当課長 下河邊 純子 青少年課長 高橋 徹 こども家庭支援課長 薄井 正徳 生涯学習振興公社学習事業部長 ※ コロナウイルス感染症拡大防止のため、出席説明員を必要最小限とした。		
傍 聴 者	0名		
会 議 次 第	別紙のとおり		
資 料	別紙のとおり		
そ の 他			

令和4年1月13日

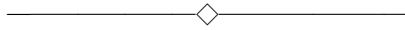
第1回足立区教育委員会定例会

○教育長 ただいまから本年第1回足立区教育委員会定例会を開会いたします。

本日の出席委員数は、定足数であります。

よって、会議は成立いたします。

それでは、これより審議に入ります。



初めに、会議録署名員の指名をいたします。

本日の会議録署名員に近藤委員、小関委員をご指名いたしますので、どうぞよろしくお願ひいたします。

それでは、日程第1を議題といたします。

教育政策担当係長。

○教育政策担当係長 日程第1、第1号議案「足立区立学校設置条例の一部を改正する条例の送付について」以上。

○教育長 第1号議案について、川口学校運営部長から説明をお願いします。

学校運営部長。

○学校運営部長 それでは、4ページの議案説明資料をご覧ください。

東綾瀬中の改築に伴い仮設校舎に移転するため、条例の改正が必要となっております。6ページに学校位置図を記載しておりますが、これまで綾瀬小が使っていた仮設校舎の場所を使うということでございます。ご審議よろしくお願ひいたします。

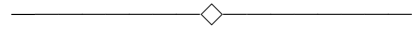
○教育長 ただいま説明がありましたので、これより本案の審議に入ります。第1号議案について、ご意見、ご質問がありましたら、委員のご発言をお願ひいたします。

何かご質問はございますでしょうか。よろしいでしょうか。

ありがとうございます。ないようでございますので、これより第1号議案「足立区立学校設置条例の一部を改正する条例の送付について」を採決いたします。本案は、原案のとおり決することに賛成の方の挙手を求めます。

○教育長 挙手全員であります。

よって、本案は原案のとおり議決することにいたします。



次の日程第2、第2号議案は足立区教育委員会会議規則第14条第1項のただし書による人事に関する事件その他の事件でありますので、非公開の会議といたします。

お諮りいたします。第2号議案につきまして、非公開とすることに賛成の方の挙手をお願いします。

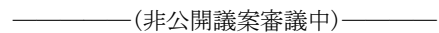
(挙手全員)

○教育長 挙手全員であります。

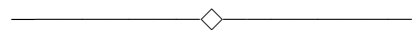
よって、本議案につきましては、非公開とさせていただきます。

傍聴人の方がいらっしゃれば、大変申し訳ありません。退席をお願ひいたします。

(傍聴者 退席)



(傍聴者 入室)



次に、日程第3「教育長報告」を議題といたします。

今回は各担当からの報告事項に代えさせていただきます。ご質疑等は全ての報告が終了しましたら、一括で頂こうお願ひいたします。

それでは、(1)について、森教育政策課長、お願ひします。

教育政策課長。

○教育政策課長 資料の7ページをご覧ください。児童・生徒1人1台の端末整備は完了しましたが、活用の機会が増えたこと、あるいはオンライン授業の実施により、

学校の通信環境が不安定になるという事象が発生して
りました。今回は、この改善策についてご報告をする
ものでございます。

件名、所管部課名については記載のとおりでござい
ます。

項目1は令和3年12月までの状況です。ある程度の
端末でGoogle Meetなどを使ったオンライン授業等を行
うと、コマ送りになったり、停止することがあり、大変不
安定な状況でした。

この原因となったのは、点線で囲まれた「1Gbps
ギャランティ」と書いてあるKDDI網からインターネ
ットにつながる部分です。この部分が逼迫していたた
め、改善が必要になっていました。

これを、項目2の点線で囲まれた部分に記載のと
おり、1Gbpsだったギャランティを10倍の10Gbps
に増やしました。

作業は今月6日に完了しております。今月11日の学
校再開以降、朝礼実施等でスムーズな視聴ができてい
るとの報告を受けており、成果を実感しております。

次に、7ページ一番下の四角の囲みをご覧ください。
回線の幅により、3割の児童・生徒が家庭からカメラ
ON状態でGoogle Meetを利用する場合でも回線に余裕が
できましたが、それ以上になると心もとない部分がある
ため、項目3の改善策を実施いたします。

8ページをご覧ください。今後実施する改善策で
すが、「ローカルブレイクアウト」です。これは、各学
校からインターネットに直接接続するものでございま
す。

これを実施すると、実施した学校では、その学校の
全ての児童・生徒が家庭からカメラON状態でGoogle Meet
を操作しても、回線に若干の余裕ができます。

改善状況を見ながら、この後さらに広げていきます。
まず、令和3年度に5校、令和4年度以降に25校の計
30校予定で改善を図ります。この状況を踏まえて、3
0校以外の改善も判断いたします。

私からは以上になります。

○教育長 次に、(2)から(5)について、八尋教育指
導課長お願いします。

教育指導課長。

○教育指導課長 私からは、まず1点目の「令和3年度

『東京都児童・生徒体力・運動能力等調査』の結果につ
いて」を報告いたします。

9ページをご覧ください。今年度実施いたしました体
力調査の結果ですが、東京都は全ての項目において低下
しています。

足立区も低下はしていますが、大分踏ん張っており、
東京都の低下度合いより少し緩やかになっています。表
をご覧ください。長座体前屈（柔軟性）は二重丸とな
っており改善しています。この原因ですが、コロナ禍によ
り室内で過ごす時間が長くなり、ストレッチを実施した
ためだと考えられます。

10ページをご覧ください。都・区平均の比較でも、
反復横跳びで非常に良い成果が出ています。この原因に
ついては、想像の域を超えないのですが、休み時間の運
動（鬼ごっこ等）によるものではないかと考えておりま
す。

項目3の「今後の体力向上に向けて」です。以前から
取り組んでいる縄跳びや持久走は継続します。それに加
え、ソフトボール投げやハンドボール投げに重点を置い
た投力一転突破型の体力向上の再開を図っていきます。
また、それに向けた教員研修も充実させていきます。

11ページ以降は、調査結果の詳細データになってお
ります。

続きまして、2点目の「第4回足立区図書館を使った
調べる学習コンクールについて」を報告いたします。2
0ページをご覧ください。

今年度も、図書館を使った調べる学習コンクールには
1万件を超える応募がありました。子どもたちの作品の
質が非常に良くなっていると感じます。優秀な作品の中
から、区長賞をはじめとした40点の賞を選んだところ
です。これらの作品については、展示やホームページで
の公開をしていきたいと思っております。

続きまして、3点目の「『性の多様性に関わる困りご
と対応マニュアル』について」を報告いたします。

21ページと別添資料1をご覧ください。

学校向けに、「性の多様性に関する困りごと対応マニ
ュアル」をデータ送付するとともに、カラー印刷したも
のを3部ずつ配布いたしました。マニュアルの内容は項
目1のとおりです。

教員が子どもたちを目の前にして、「あ、どうするんだったっけ」となった時に、ぱっと手元で見られるようなものも準備しております。今年度から順次、職層別での研修もしてまいります。

続きまして、4点目の「令和3年度第2回学校生活及びいじめに関するアンケート調査」の報告について」を報告いたします。

22ページをご覧ください。

これまでと比較し、特に大きな変化はないのですが、項目5に記載しているとおりの、「相談できる人が身近にいる」との回答が98%という高い数字を保っており、安心したところ です。

ただし、いじめの件数は減っておりません。最近よく聞くネットでのいじめなどについても報告が上がっているので、そういう部分も含めて、しっかり対応していきたいと考えているところ です。

項目5の一番下に未提出数477件とあります。これは、不登校やコロナ不安でお休みしている子たちの分ですが、全て電話連絡で状況を確認しているところ です。

いじめ等問題対策委員会では、23ページに記載の意見が出ました。「パソコンや携帯電話等の誹謗中傷や悪口が多く、見えないいじめに対する指導が大切である」、「いじめの個々のケースについて、実態把握、ケース検討、理解、授業に活かすための研究につなげていただきたい」、「心の傷のケアに関しては、現在連携している台東少年センターの心理士や練馬鑑別所の心理士との連携を継続してほしい」といった内容です。

今後もしっかりといじめの把握をしていきたいと考えています。

24ページ以降は、参考資料です。

以上です。

○教育長 次に、(6)について、森田学校支援課長、お願いします。

学校支援課長。

○学校支援課長 資料の27ページをご覧ください。

件名は「令和4年度小中学校用務業務委託事業者選定結果について」でございます。

所管部課名は記載のとおりです。

用務業務委託事業者の契約年数が、今年度3年目とな

る40校について、令和4年度からの委託事業者を選定したので報告いたします。

提案書提出者は13者です。提案書及びプレゼンテーションを選定委員が評価し、7者を選定しました。選定結果は項目5に記載のとおりでございます。

28ページをご覧ください。履行期間は、令和4年2月から令和5年3月までで、履行内容が良好な場合は2回まで更新可としています。

また、事業者への通知と結果の公表は、1月21日の文教委員会報告後を予定しています。

29ページに各評価項目の採点結果を添付していますので、後ほどお目通しください。

以上でございます。

○教育長 次に、(7)について、浅見学校施設管理課長、お願いします。

学校施設管理課長。

○学校施設管理課長 私からは、「新田さくら公園の改修方針について」のご報告をさせていただきます。

所管部課名につきましては、記載のとおりでございます。

文教委員会に、「新田学園の児童・生徒が活発に活動できる環境整備を求める陳情」が出されまして、その対応として、隣接するさくら公園の改修工事を計画しております。それにつきまして、改修方針を立てましたので、ご報告を差し上げたいと思います。

改修範囲ですが、新田さくら公園の生きものふれあい広場という、ボール遊び広場の隣にある約1,400平米を考えています。

項目2のアンケートの実施でございます。学校に直接、現況と課題を確認いたしました。そうしたところ、小学校5、6年生の居場所確保が課題であることがわかりましたので、小学校5、6年生の433人にアンケートを実施しました。

32、33ページにアンケート内容がありますので、後でお目通しいただければと思っております。

アンケート結果ですが、アの「かくれんぼや鬼ごっこ」が27%、イの「読書やおしゃべり」が23%で、この2項目で50%を占めている状況です。

これを踏まえまして、31ページをご覧ください。改

修方針です。かくれんぼや鬼ごっこが楽しめるように、起伏や樹木などを残しつつ、整備を進めていきます。

また、読書やおしゃべりが楽しめるように、木陰等にベンチやテーブルなどを設置いたします。

中心部分はドッジボールや鬼ごっこができるように、土の真砂というグラウンドと同じような舗装をして、かけっこ等をして問題ないようにします。また、床（土）は絵も描けるような仕様にします。そんなイメージを持ち、今までと違う舗装で施工していこうと考えております。

今後の進め方ですが、今年の2月、3月に地元となる新田学園開かれた学校づくり協議会、新田まちづくり連絡会に報告をしていきたいと思っています。

スケジュールについてです。今設計をしておりますので、令和4年の4月ぐらいから8月にかけて、整備をしていきたいと考えております。

今後の方針ですが、地元丁寧に説明をしながら、整備を進めていきたいと思っています。

以上です。

○教育長 次に、(8)(9)について、菊地子ども政策課長お願いします。

子ども政策課長。

○子ども政策課長 36ページをご覧ください。私からはまず、子どもの健やかな成長と子育て家庭を支援する「『足立区子ども・子育て支援事業計画』の令和2年度評価について」をご報告いたします。

件名、所管部課名は記載のとおりでございます。

まず、本計画の評価方法につきましては、項目1に記載のとおり、3段階で実施しております。

次に、評価概要ですが、項目2の表をご覧ください。施策群1は、子どもの支援に関する地域の施策となります。全体的な傾向といたしましては、コロナ禍において、各事業が継続に向けて、様々な工夫を行って成果につなげたという内容になっております。表右側の総合評価欄をご覧くださいと、5点満点中4点、5点と高い評価となっております。

続きまして、37ページにお進みください。施策群2は、親への支援に関する施策となります。全体的な傾向といたしましては、支援の必要な方が孤立化しないよう

に、コロナ禍において支援方法を工夫し、継続的支援を行っているといった内容になっております。総合評価欄をご覧くださいと、施策2-2の部分が3ということで、若干低い評価となっております。理由といたしましては、学童保育室の待機児童が解消されなかった点がございまして、こちらにつきましては、昨年度策定された整備計画もございまして、そちらに基づき、着実に待機児童が解消されることを期待されております。

次に、外部評価委員の主な意見です。「コロナ禍においても工夫し、実施した支援内容、方向について引き続き継続できるように仕組みを整えてもらいたい」という内容でございます。各事業において、ご意見を踏まえた支援内容の改善および充実を図ってまいります。

項目4の「中間見直しの見送りについて」です。当計画は5年の計画で、計画期間の中間年である令和4年度に見直しが規定されております。しかしながら、コロナ禍におきまして、出生数も大きく減少し、それに伴ってサービスの利用数なども減少している状況でございます。このタイミングで計画の見直しをしても正確な利用履行数等が測れないことから、国や都へ確認の上、見送ることとさせていただきます。

最後に、別添資料2の政策評価表についてですが、2月から区ホームページに公開いたします。

次に、「幼児教育・保育無償化の対象施設の拡充について」をご報告いたします。

38ページをご覧ください。

件名、所管部課名は記載のとおりでございます。

幼児教育・保育無償化については、令和元年10月から開始となっており、3から5歳児については原則無償化が実現しております。しかしながら、一部対象外となっている未就学施設がありまして、今般、国が制度を改正したものでございます。

区といたしましては、無償化の趣旨を鑑み、進めるべきだと判断し、実施に向けて検討を行っている事案でございます。

対象経費、基準額などは、資料をご覧くださいと思います。

補足といたしまして、対象施設の例ですが、項目1の(2)に記載のとおり、インターナショナルスクールや

区内で言いますと朝鮮学校の幼稚部がございます。

引き続き39ページにお進みください。他区の検討状況につきましては、(7)のとおりです。

次に、項目2の「関連する補助制度の見直しについて」です。対象事業は、項目2(2)に記載の「外国人学校児童・生徒の保護者に対する負担軽減補助金」です。

(1)に記載させていただいたように、制度開始から30年が経過しており、この間、社会情勢が大きく変化していることもございますので、現状の分析を行った上で、補助額及び所得制限等について検討してまいりたいと考えています。

現状分析に当たり、課税状況調査を実施したところ、(3)のような結果となっています。

(4)の所得制限導入区の状況や次ページ(5)の各区補助額などを参考に検討を進めてまいります。

最後に今後の方針についてです。1つ目の多様な集団活動事業の利用支援事業につきましては、3月補正予算に計上し、議決が得られれば令和3年4月分から遡及して実施をしたいと考えております。

2つ目の補助金の見直しにつきましては、先ほど申し上げた課税状況調査結果や他区の状況などを参考として、見直しについて検討してまいります。

私からは以上です。

○教育長 次に、(10)(11)について、櫻井私立保育園課長をお願いします。

私立保育園課長。

○私立保育園課長 資料の41ページをご覧ください。私からはまず、「足立区待機児童解消アクション・プランの改定について」を報告いたします。

保育施設の待機児童解消を継続するため、今年度もアクション・プランの改定を行いました。

所管部課名は記載のとおりでございます。

今年度改定のポイントは2点になります。

まず1点目ですが、項目1「保育需要予測の見直し」です。これまで、令和2年の区の人口推計に基づき、保育需要を算出しておりましたが、独自推計に変更いたしました。

中段の表、令和3年4月1日の0歳児を例とします。

足立区の人口推計では5,077人です。一方、独自推計、こちらは実人口ですが4,341人と大きく乖離をしております。

そこで、令和3年の0歳児の人口が、令和4年度以降も発生し、持ち上がる想定で、0から5歳児までの人口を独自推計して、ここから予測される保育需要を算出いたしました。

表の一番下をご覧ください。人口の予測が減ることにより、必要となる保育需要も毎年減少してまいります。

42ページをご覧ください。項目2「待機児童ゼロの継続と定員の空き対策」でございます。

待機児童につきましては、保育需要を満たす保育定員は確保されておりますので、待機児童0は継続できると考えておりますが、保育需要が減ることにより、保育施設の空きが今後の課題と考えております。

11月に報告させていただきましたが、公立の保育施設の入所抑制を計画に盛り込んでおります。また、私立保育施設につきましても、建替え等保育需要を勘案した定員変更を行ってまいります。それ以外の取組につきましては、引き続き実施内容の更新を図っております。

今後の方針ですが、令和4年4月の保育の利用状況や、区立保育施設の建替え、改修計画の施設更新計画等を盛り込み、来年度も改定を図ってまいります。

次に、「いづみ保育園への対応状況について」を報告いたします。43ページをご覧ください。

保育士の大量退職により、現状の保育が維持できなくなり、受け入れ人数が縮小となる保育園の続報です。

所管部課名は記載のとおりでございます。

項目1「在籍児の転園申込状況について」です。現在0から5歳の施設定員で施設運営をしております。来年度につきましては、0から2歳の施設となり、今の2歳から4歳につきましては、来年度持ち上がりができず、他の施設へ転園となります。

表にも記載のとおり、年度末を待たずに12月、1月で既に転園した園児もおりますが、大半の園児が4月転園を申し込んでいる状況でございます。

まだ、利用調整が終了していませんので確定はしていませんが、来年度につきましては大半の園児が転園になると考えております。2歳児で1名未提出の方がござい

ますけれども、こちらにつきましては、幼稚園を希望されており、退園予定の園児でございます。

項目2「保育の状況について」です。記載の日程で区の保育士が施設を訪問し、保育の状況を確認しております。特に大きな混乱はなく、通常どおりの保育が行われていることを確認しております。今月につきましては、6日と20日に確認いたします。年度末までに月2回程度訪問し、保育の状況を継続して確認いたします。

項目3「保育士の確保について」です。法人で保育士の採用を進めておりますが、必要となる保育士の確保がまだできていない状況でございます。法人に対し、保育士の採用状況を含め、来年度の運営について1月中の報告を求めています。

項目4「大量退職の原因調査について」です。法人には12月中の報告を求めていましたが、ヒアリングを行う人選に時間がかかったこと、年末年始のヒアリングが難しかったことで、ヒアリング日程が今週末の15日となり、1月末の報告になるとの申出がありました。法人に調査状況を確認しながら、区としても今後原因調査を実施してまいります。

今後の方針ですが、今後も適切な保育が提供され、子どもたちを安心して預けられるよう、計画して訪問し、対応を図ってまいります。

説明は以上となります。

○教育長 次に、(12)について、安部子ども施設入園課長お願いします。

子ども施設入園課長。

○子ども施設入園課長 45ページをお開きください。

件名は「令和4年4月保育施設利用申込受付状況及び保育コンシェルジュ利用状況について」です。

所管部課名は記載のとおりです。

令和4年4月の保育施設の入所の受付が終わりましたので、その結果をご報告させていただくものでございます。

項目1(1)利用申込数をご覧ください。受付は11月18日から12月3日までの期間で実施しました。期間中の申込件数は表【A】の部分で2,588件でした。前年度と比較すると若干増となっておりますが、ほぼ同水準です。

表の下から2番目の数字が、継続審査分を含む利用申込合計になりますが、こちらもほぼ前年度と同水準になってございます。

次ページをご覧ください。(2)は年齢別申込数です。また、その下の表は、参考までに年齢別の人口を記載しております。ご覧のとおり、全年齢層で多かれ少なかれ、減少をしているところでございます。

申込数につきましては、前年度と比較すると2歳のところで大きくマイナスになっておりますが、こちらは人口減の影響を受けていると考えております。

一方、その他の年齢層でほぼ同水準になっているのは、受付時点で新型コロナウイルスの感染状況が落ち着いていたこと、待機児童0の達成により保育需要が増加していることが原因ではないかと考えております。

次に、項目2「電子申請の受付状況について」です。今年度から、保育の入所者の申請について電子申請を開始しております。受付件数は543件で、期間中の受付件数では大体21%、全体の受付件数(継続等含む)では14.6%でした。

申請の傾向ですが、表のとおり、0歳児の申込において電子申請割合が一番多くなっております。

これは、電子申請により、生まれたばかりの乳幼児のお子さんを窓口に通っていかずに済むことが影響していると考えております。

最後にコンシェルジュの需要状況でございます。こちらにつきましても、例年度と比較すると若干の増となっております。また、こちらもオンラインでの相談を開始しておりまして、339件の実績がありました。

今後についてですが、現在利用調整を進めており、2月8日頃を目途に保護者の方に通知できればと考えております。

私からは以上です。

○教育長 次に、(13)について、楠山教育相談課長お願いします。

教育相談課長。

○教育相談課長 私からはこども支援センターげんき教育相談課の綾瀬教育相談係の一時移転についてご報告いたします。

所管部課名は記載のとおりです。

教育相談課は、西新井と綾瀬と竹の塚に教育相談の拠点がございます。そのうちの綾瀬教育相談係につきましては、勤労福祉会館の中でございます。その勤労福祉会館が、来年度大規模改修を実施するため、移転が必要になっております。

項目1の移転期間です。来年度4月から来年度いっぱいを用意しております。

項目2の一時移転の場所です。教育相談係の中には、教育相談をしているところと、チャレンジ学級という学校以外の居場所がございます。

保護者と相談をする教育相談につきましては、こども支援センターげんきの西新井に移転いたします。併せて、我々事務職員とスクールソーシャルワーカーも西新井に移転いたします。

次に、チャレンジ学級です。綾瀬地区のお子さんたちが学校以外の場として通うため、綾瀬地区にあったほうがいいだろうということで、綾瀬地区の第6大室ビルに移転いたします。もともと、江戸一万来館という居酒屋があったビルです。指導員もこちらに移転いたします。場所は綾瀬駅の北側で、勤労福祉会館から歩いて10分かからないぐらいのところですよ。

50ページをご覧ください。大室ビルの図面です。2階が勤労福祉会館の機能になり、1階部分をチャレンジ学級、勤労福祉会館の受付、指導員の詰め所としてお借りします。指導員はこちらで指導しながら、必要に応じて教育相談ができる部屋を利用いたします。

2階は先ほど申しましたとおり、勤労福祉会館の機能が入ります。集会室と書かれているところの廊下を挟んだ場所にトイレがあり、その左側に空白の部分がございます。ここは個室のような形になっておりますので、必要に応じて利用いたします。どうしても西新井まで行けない保護者やお子さんに対しては、こちらで教育相談を実施できる形になっております。来年度は、いろいろと調整しながら運営していきたいと考えております。

私からは以上になります。

○教育長 ただいま、各所管から報告事項がありました。これらの件につきまして、各委員からご意見、ご質問がありましたら、ご発言をお願いいたします。いかがでしょうか。

早川委員。

○早川委員 40ページの「外国人学校児童・生徒保護者補助金」の件ですが、足立区は23区の中で補助額が一番少ないということですね。

○教育長 子ども政策課長。

○子ども政策課長 23区で比較すると、補助額は一番少なくなっております。

○教育長 早川委員。

○早川委員 各種支援は行っているが、現金支給額は少ないとの認識で良いですか。

○教育長 子ども政策課長。

○子ども政策課長 保護者の方へ直接支給している補助的な金額は少なくなっております。

○教育長 よろしいですか。

○早川委員 はい。

○教育長 ほかにございますか。

河本委員。

○河本委員 「令和4年度小中学校用務業務委託事業者選定結果について」です。

13者の中から上位7者が選定されました。ほとんどの事業者が複数回選定されており、足立区の各界で活躍されている聞き慣れた事業者です。

選定時の評価項目には、学校からの評価も入っていると思うのですが、学校管理職の意見はどの程度反映させているのでしょうか。

○教育長 学校支援課長。

○学校支援課長 29ページに選定結果がございます。

③加点・減点という欄がありますが、この部分に現在契約履行中の学校からの評価を含んでおります。

③項番2の「既受託事業者の評価」欄で、各学校からの×や△等の評価を加味しております。×がついている場合は最大でマイナス15点になりますので、それが7名分となるとマイナス105点という場合もあります。このような形で、履行状況が悪い場合は減点をしております。

○教育長 河本委員。

○河本委員 説明いただいた箇所を見ると、選定されている事業者の中でも、学校評価が低いところが見受けられます。

- 教育長 学校支援課長。
- 学校支援課長 4位、5位、6位の事業者は、マイナスがついていますので、評価の悪い項目があったということでございます。
- 教育長 河本委員。
- 河本委員 今回の選定結果により、新規事業者が受託するケース、既受託事業者が引き続き同じ学校を受託するケースの両方が生じると思います。
- いずれにしても、「前回評価時は●●●●に関する評価が低かったため、今後は■■■■に注意して業務を行ってください」といった内容を事業者伝えてください。悪い評価が繰り返されること無いうように取り組んでほしいと思います。
- 教育長 学校支援課長。
- 学校支援課長 評価を頂いた時点で、×や△が付いた事業者には個別に改善を依頼しております。
- 改善が見られた場合は△に変更し、改善が見られない場合は引き続き×としています。その辺は個別に指導しております。
- 教育長 ほかにはいかがでしょうか。
- 河本委員。
- 河本委員 「令和3年度『東京都児童・生徒体力・運動能力等調査』の結果について」です。
- 全国的に見ても、足立区と同じような傾向で下がっているのが見て取れます。要は、日本中の子どもたちの体力が、ここ2年続いているコロナ禍で下がっているのだと思います。
- 足立区では、投力一点突破型の体力向上を進めてきましたが、今回の下がり具合をどう捉えているのでしょうか。
- 教育長 教育指導課長。
- 教育指導課長 委員のご発言のとおり、調査結果は軒並み、都と同様に下がっております。
- 投力一点突破型の体力向上の観点で見た場合、都と似たような下がり方こそしていますが、一方で都との差は詰まっており、大きな開きはないと思っています。男女や小中学校で下がり方に若干の違いはありますが、大分成果が出てきているのではないかと考えています。
- ただし、コロナ禍により、外で十分にボール投げをす

ることも難しい状況です。こうした状況を加味しながら、諦めずにじっくり時間をかけてやっていきたいと考えております。

- 教育長 河本委員。
- 河本委員 (コロナ禍による体力の低下は) 仕方がない部分はあると思いますが、子ども達に対して「仕方がないよね」とは言えないと思います。
- コロナ禍であれ、子ども達の学力を上げる意味でも、体力向上は必要です。
- 食育にも通じますが、まず体力があって学力が向上する。基本的な部分において、体力はとても大事だと思いますので、この点を踏まえながら取り組み方を考え、少しずつ頑張っていたいただきたいと思います。
- 教育長 教育指導課長。
- 教育指導課長 一番怖いのは、子ども達が「もう外に出たくない」、「外で遊びたくない」、「運動するのが面倒くさい」と言い出してしまうことです。
- したがって、体育とは言っても、遊びやいろいろな活動を含めてやっていきたいと思います。
- 身体を動かしたり、外に出る機会を多く作っていききたいと考えていますが、この状況ですので様子を見ながら、できることをしっかりと実施していきます。
- 教育長 教育指導部長。
- 教育指導部長 若干の補足です。
- 体力が一律に落ちているという印象かもしれませんがそういう訳ではありません。
- 12ページをご覧ください。先ほども話題に出た長座体前屈のスコアです。横ばいまたは、やや右肩上がりに見えないこともありません。その下の反復横跳びについては、東京都がこれだけ下がっている中で足立区はレベルを維持しています。14ページもご覧ください。立ち幅跳びについてはむしろ伸びております。項目によって、ばらつきが出ている状況です。
- なお、足立区は平均より低いと言われていますが、資料を見ていただくと分かるのとおり、ほとんどの項目で都と接戦状態です。
- 私達としては、そんなに悪い状態ではないという感触を持っております。投力一点突破は、投げれば投げるほど体力が向上するというよりは、投げ方を覚えることで

スコア（結果）が伸びる。結果が出ることで面白くなり、身体を動かす機会が増えていくといったものです。したがって、コロナ禍により、外でみんなと遊ぶ機会や身体を動かす機会が減っている現状では、投力一点突破の効果も出にくいと考えております。

○教育長 小関委員。

○小関委員 まず、「令和3年度『東京都児童・生徒体力・運動能力等調査』の結果について」です。

ある小学校から相談がありました。

「主要教科については、教科指導専門員も活用しながら、足立スタンダードに基づく授業実践をしているが、体育指導に苦戦している教員がいる。こういった教員を指導できる人材を配置してもらえないか」との内容でした。場合によっては、中学校の教員でも構わないので指導してもらいたいとのことでした。

「3 今後の体力向上に向けて」の部分に、教員の指導力向上に向けて、教員研修の実施が示されています。私はこれがすごく重要だと考えているのですが、どのような形で実施するのでしょうか。

次に、「『令和3年度第2回学校生活及びいじめに関するアンケート調査』の報告について」です。

「不登校であり、回収に至らなかった」という件数がかなり多くなっていますが、対象者については電話や訪問等で状況の把握をしていると思います。

対象者は小学校126人、中学校253人だと思いますが、アンケート上ではどのような扱いになっているのでしょうか。また、対象者の中で「いじめ」に該当するようなケースはあったのでしょうか。

○教育長 では、最初の項目について教育指導課長。

○教育指導課長 まず、体力向上に関する研修についてです。

小学校の教育部では、各学校を回りながら、若手に教えられるような工夫をしているところです。

教育指導課では、研修に外部講師を入れております。また、現在、指導主事がプログラムを組んで、実技研修の実施を計画しています。

時期によっては実施できなかったり、延期になることもありますが、今後も外部講師を招いたり、実践的な実技研修の実施を考えていきます。

○教育長 教育相談課長。

○教育相談課長 次に、不登校についてです。

不登校のお子さん達の主たる要因は全件把握しております。いじめを主たる要因とする不登校は、いじめ防止対策推進法の中の重大事案であるため、教育指導課でも全て把握しております。該当は毎年1件～2件です。

主たる要因が「いじめ」の不登校は少数であることを把握しておりますが、アンケート内では友人とのトラブル等、いじめに至らなかったものについても「いじめ」と回答されているケースがあるかもしれません。これらについては、必要に応じて聞き取り等を実施したいと考えております。

○教育長 ほかにはありますでしょうか。よろしいでしょうか。

ないようですので、報告事項につきましては終了いたします。

その他でございますけれども、何かございますか。よろしいでしょうか。

ありがとうございます。ないようですので、以上をもちまして、本年第1回足立区教育委員会定例会を閉会いたします。

お疲れさまでした。長時間にわたってありがとうございます。

午後3時59分閉会

令和4年第1回
足立区教育委員会定例会

日 時 令和4年1月13日 木曜日 午後3時00分開議
会 場 教育委員会室

1 議事日程		頁
日程第1	第1号議案 足立区立学校設置条例の一部を改正する条例の送付について…	3
日程第2	第2号議案 「足立区職員定数条例の一部を改正する条例」に関する教育委員会の意見について……………	別冊
日程第3	教育長報告	

2 報告事項

- (1) 学校学習系インターネット回線の今後の改善策について
《森 教育政策課長》 7
- (2) 令和3年度「東京都児童・生徒体力・運動能力等調査」の結果について
《八尋 教育指導課長》 9
- (3) 第4回足立区図書館を使った調べる学習コンクールについて
《八尋 教育指導課長》 20
- (4) 「性の多様性に関わる困りごと対応マニュアル」について
《八尋 教育指導課長》 21
- (5) 「令和3年度第2回学校生活及びいじめに関するアンケート調査」の報告について
《八尋 教育指導課長》 22
- (6) 令和4年度小中学校用務業務委託事業者選定結果について
《森田 学校支援課長》 27
- (7) 新田さくら公園の改修方針について
《浅見 学校施設管理課長》 30
- (8) 「足立区子ども・子育て支援事業計画」の令和2年度評価について
《菊地 子ども政策課長》 36
- (9) 国の制度改正に伴う幼児教育・保育無償化対象施設の拡充について
《菊地 子ども政策課長》 38
- (10) 足立区待機児童解消アクション・プランの改定について
《櫻井 私立保育園課長》 41
- (11) いづみ保育園への対応状況について
《櫻井 私立保育園課長》 43
- (12) 令和4年4月保育施設利用申込受付状況及び保育コンシェルジュ利用状況について
《安部 子ども施設入園課長》 45
- (13) こども支援センターげんき綾瀬教育相談係の一時移転について
《楠山 教育相談課長》 48

3 情報連絡事項

- | | | |
|--|------------|-----|
| (1) 令和4年度学力調査の実施予定について | [学力定着推進課] | 5 1 |
| (2) 区立園における「園運営に関するアンケート」結果について | [就学前教育推進課] | 5 2 |
| (3) 令和3年度足立区教育委員会児童・生徒褒賞受賞団体及び受賞者の決定について | [学校支援課] | 5 6 |
| (4) 令和4年度区立学校周年記念式典実施校・実施予定日について | [学校支援課] | 5 8 |
| (5) 綾瀬小学校地域開放型図書室の開設に向けた開設準備委員会の設置について | [学校支援課] | 5 9 |
| (6) 江北小学校と高野小学校の統合に伴う式典日程について | [学校施設管理課] | 6 0 |
| (7) 家庭的保育事業の認可手続き及び利用定員の確認について | [子ども施設入園課] | 6 1 |
| (8) 令和4年「成人の日の集い」の実施結果について | [青少年課] | 6 2 |
| (9) 事業実施報告・実施予定 | [青少年課] | 6 3 |
| (10) 東京都立小台橋高校の開校について | [教育相談課] | 6 5 |
| (11) 足立区勤労福祉会館大規模改修工事に伴う図書受渡窓口の一時移転について | [中央図書館] | 6 6 |
| (12) 行事实施結果・実施予定 | [生涯学習振興公社] | 6 9 |

第 1 号議案

足立区立学校設置条例の一部を改正する条例の送付について
上記の議案を提出する。

令和 4 年 1 月 1 3 日

提出者 足立区教育委員会教育長 大山 日出夫

足立区立学校設置条例の一部を改正する条例
足立区立学校設置条例（昭和 3 9 年足立区条例第 9 号）の一部を次の
ように改正する。

別表の 2 中学校の部同東綾瀬中学校の項中「綾瀬三丁目 2 3 番 1 4 号」
を「東綾瀬一丁目 5 番 3 号」に改める。

付 則

この条例は、令和 4 年 5 月 1 日から施行する。

（提案理由）

東綾瀬中学校の移転に伴い、同中学校の位置を改める必要があるので、
この条例案を提出いたします。

第 1 号 議 案 説 明 資 料

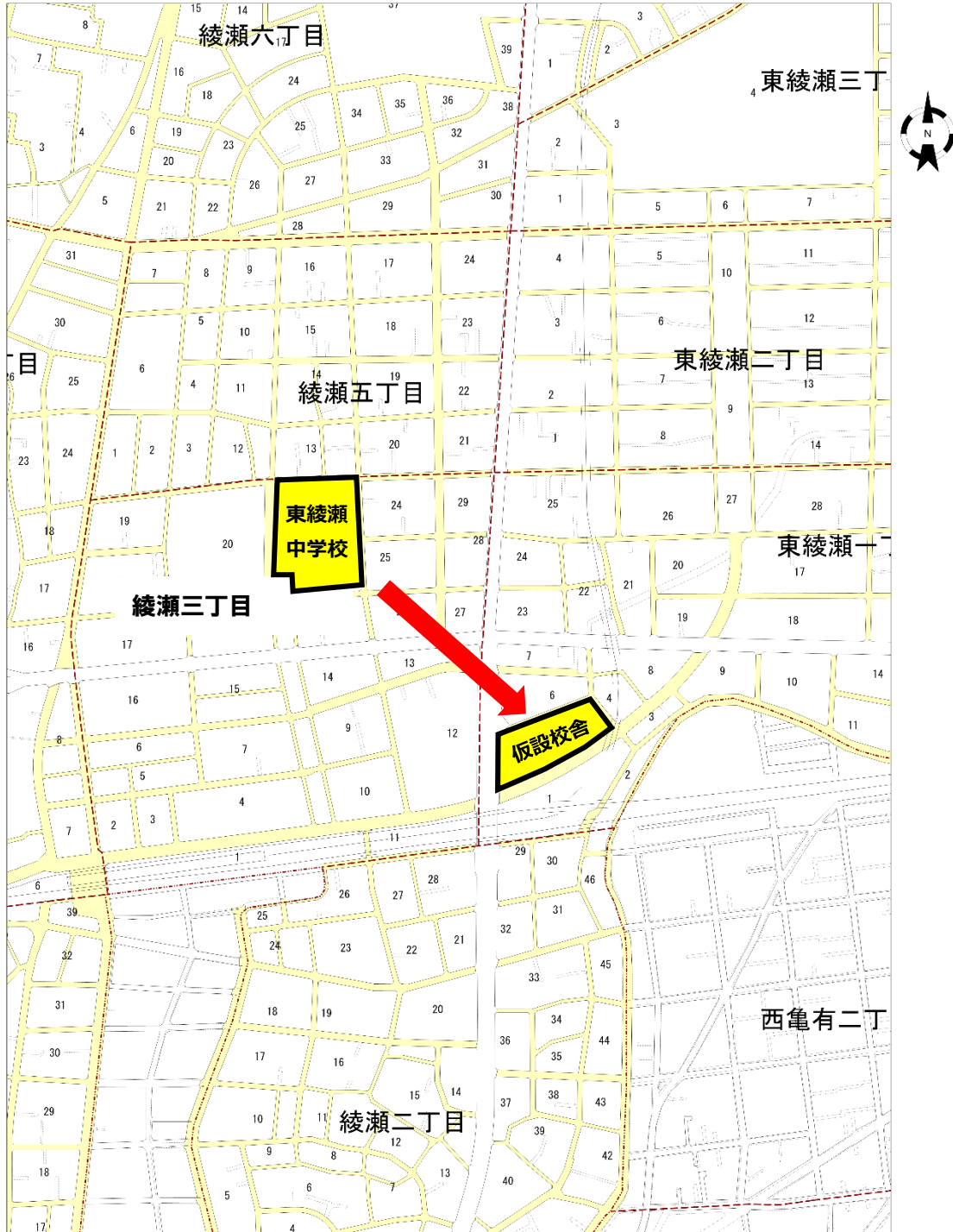
令和 4 年 1 月 1 3 日

件 名	足立区立学校設置条例の一部を改正する条例の送付について
所 管 部 課 名	学校運営部学校施設管理課
内 容	<p>1 改正の理由 東綾瀬中学校の改築に伴い仮設校舎に移転するため、足立区立学校設置条例の一部を改正する。</p> <p>2 主な改正内容（詳細は、P 5 新旧対照表のとおり） 東綾瀬中学校の位置について、「綾瀬三丁目 23 番 14 号」を「東綾瀬一丁目 5 番 3 号」に改める。 なお、学校位置図は P 6 のとおり</p> <p>3 施行年月日 令和 4 年 5 月 1 日から施行する。</p>
今後の方針	

足立区立学校設置条例の一部を改正する条例新旧対照表（案）

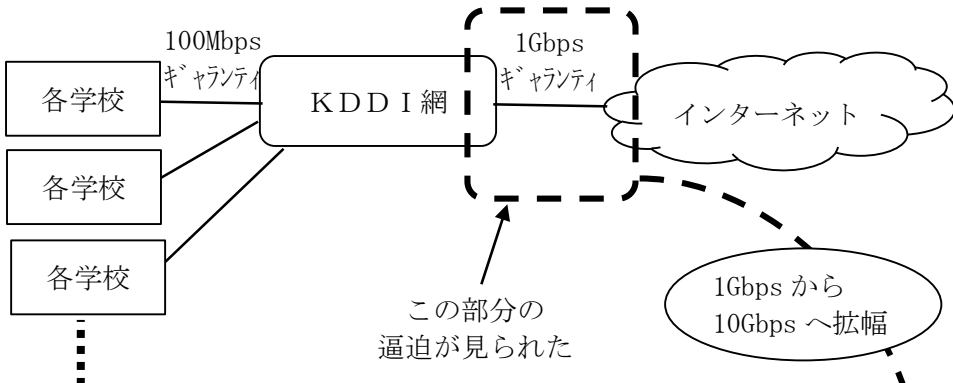
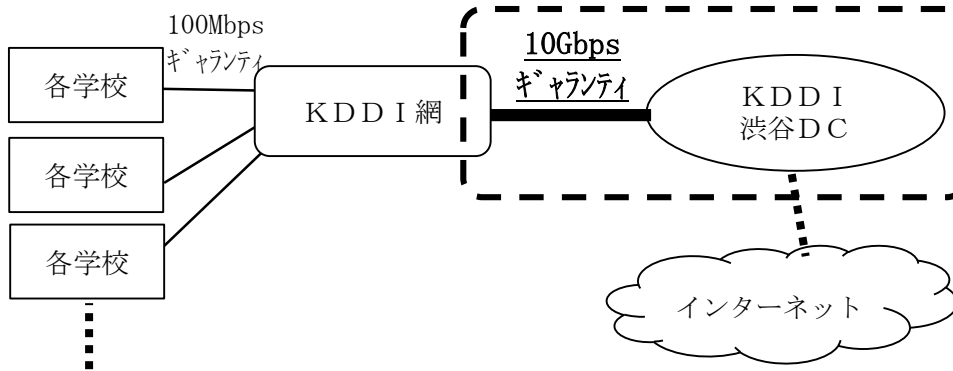
改正前	改正後																
<p>○足立区立学校設置条例 昭和39年3月31日条例第9号</p> <p>第1条～第3条（省略）</p> <p>別表（第2条関係） 2 中学校</p> <table border="0"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">名称</th> <th style="text-align: center;">位置</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>（省略）</td> <td>（省略）</td> </tr> <tr> <td>同 東綾瀬中学校</td> <td>同 <u>綾瀬三丁目23番14号</u></td> </tr> <tr> <td>（省略）</td> <td>（省略）</td> </tr> </tbody> </table>	名称	位置	（省略）	（省略）	同 東綾瀬中学校	同 <u>綾瀬三丁目23番14号</u>	（省略）	（省略）	<p>○足立区立学校設置条例 昭和39年3月31日条例第9号</p> <p>第1条～第3条（現行のとおり）</p> <p style="text-align: center;"><u>付 則（令和4年3月●●日条例第●●号）</u> <u>この条例は、令和4年5月1日から施行する。</u></p> <p>別表（第2条関係） 2 中学校</p> <table border="0"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">名称</th> <th style="text-align: center;">位置</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>（省略）</td> <td>（省略）</td> </tr> <tr> <td>同 東綾瀬中学校</td> <td>同 <u>東綾瀬一丁目5番3号</u></td> </tr> <tr> <td>（省略）</td> <td>（省略）</td> </tr> </tbody> </table>	名称	位置	（省略）	（省略）	同 東綾瀬中学校	同 <u>東綾瀬一丁目5番3号</u>	（省略）	（省略）
名称	位置																
（省略）	（省略）																
同 東綾瀬中学校	同 <u>綾瀬三丁目23番14号</u>																
（省略）	（省略）																
名称	位置																
（省略）	（省略）																
同 東綾瀬中学校	同 <u>東綾瀬一丁目5番3号</u>																
（省略）	（省略）																

学校位置図（東綾瀬中学校）

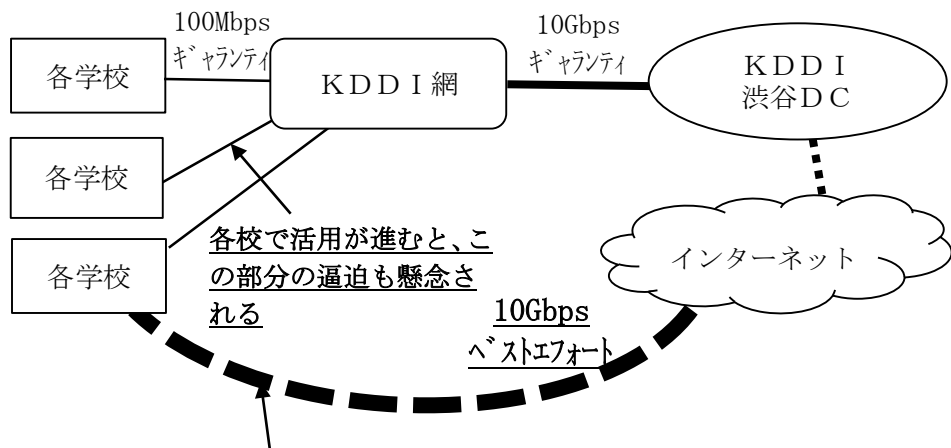


教 育 委 員 会 報 告

令和4年1月13日

件 名	学校学習系インターネット回線の今後の改善策について
所管部課名	教育指導部教育政策課
内 容	<p>児童・生徒1人1台端末の整備完了に伴う活用機会の増加及びオンライン授業の実施により、学校の通信環境が不安定になる事象が発生している。通信環境を改善してタブレット端末の活用促進に対応するため、下記の対策を実施していく。</p> <p>1 令和3年12月までのインターネット回線</p>  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>ある程度の端末で Google Meet を利用すると、回線の逼迫により、画面がコマ送りになる、表示されなくなる等の事象が発生していた。使用帯域を節約するため、カメラ OFF 状態での Meet 利用を推奨した。</p> </div> <p>2 令和4年1月からのインターネット回線 (1月6日に切替完了)</p>  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>事業者の想定では、この回線拡幅により、3割の児童・生徒が家庭からカメラ ON 状態で Google Meet を利用する場合でも回線に余裕があり、問題なく表示できるようになる。</p> </div>

3 今後追加する改善策（ローカルブレイクアウト）



一部の学校の回線を、KDDI 網を経由せずに、直接インターネットに接続させる（ローカルブレイクアウト）。

事業者の想定から試算すると、ローカルブレイクアウトを実施した学校では、その学校の全ての児童・生徒が家庭からカメラ ON 状態で Google Meet を利用する場合でも回線に余裕があり、問題なく表示できるようになる。

- ※ 工事規模が大きく作業期間を要することから一斉実施が難しく、児童・生徒数の多い（＝端末数の多い）学校を優先して段階的に実施していく（令和3年度5校、令和4年度25校の予定）。
- ※ 30校以外のローカルブレイクアウト実施有無については、回線負荷状況を検証しながら判断していく。

今後の方針

ローカルブレイクアウトの実施校を選定し、学校・事業者と調整しながら現場調査・回線工事を進めていく。

教 育 委 員 会 報 告

令和4年1月13日

件 名	令和3年度「東京都児童・生徒体力・運動能力等調査」の結果について																																																											
所管部課名	教育指導部教育指導課																																																											
内 容	<p>令和3年度に実施した「東京都児童・生徒体力・運動能力、生活・運動習慣等調査」の結果から見えた足立区の児童・生徒の体力等の現状を、以下のとおり報告する。</p> <p>1 調査対象及び実施期間 全児童・生徒が令和3年4月から令和3年6月までに実施</p> <p>2 調査結果 (1) 令和元年度との足立区内の変化（詳細は、P11～19参照） (プラスマイナス1パーセント以上の差があったもの)</p> <p style="text-align: right;">(◎改善 ▲低下 ー横ばい)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">種 目</th> <th colspan="2">小学生</th> <th colspan="2">中学生</th> </tr> <tr> <th>男子</th> <th>女子</th> <th>男子</th> <th>女子</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>握力（筋力）</td> <td>▲</td> <td>▲</td> <td>ー</td> <td>▲</td> </tr> <tr> <td>上体起こし（筋力・筋持久力）</td> <td>▲</td> <td>▲</td> <td>▲</td> <td>▲</td> </tr> <tr> <td>長座体前屈（柔軟性）</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>◎</td> </tr> <tr> <td>反復横跳び（敏捷性）</td> <td>ー</td> <td>ー</td> <td>▲</td> <td>▲</td> </tr> <tr> <td>20M シャトルラン（全身持久力）</td> <td>▲</td> <td>▲</td> <td>▲</td> <td>▲</td> </tr> <tr> <td>持久走（全身持久力）</td> <td style="background-color: #cccccc;"></td> <td style="background-color: #cccccc;"></td> <td>▲</td> <td>▲</td> </tr> <tr> <td>50M 走（スピード）</td> <td>ー</td> <td>ー</td> <td>ー</td> <td>ー</td> </tr> <tr> <td>立ち幅跳び（瞬発力）</td> <td>ー</td> <td>ー</td> <td>ー</td> <td>ー</td> </tr> <tr> <td>ソフトボール投げ（巧緻性・瞬発力）</td> <td>▲</td> <td>▲</td> <td style="background-color: #cccccc;"></td> <td style="background-color: #cccccc;"></td> </tr> <tr> <td>ハンドボール投げ（巧緻性・瞬発力）</td> <td style="background-color: #cccccc;"></td> <td style="background-color: #cccccc;"></td> <td>▲</td> <td>▲</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・ 小学生は筋力や持久力、投力の低下が見られたが、柔軟性は改善。敏捷性やスピード、瞬発力はほぼ横ばいの傾向にある。 ・ 中学生はほぼ小学生と同様の傾向。柔軟性は向上している一方で、その他については男子・女子ともに全体的な体力の低下が目立つ。 	種 目	小学生		中学生		男子	女子	男子	女子	握力（筋力）	▲	▲	ー	▲	上体起こし（筋力・筋持久力）	▲	▲	▲	▲	長座体前屈（柔軟性）	◎	◎	◎	◎	反復横跳び（敏捷性）	ー	ー	▲	▲	20M シャトルラン（全身持久力）	▲	▲	▲	▲	持久走（全身持久力）			▲	▲	50M 走（スピード）	ー	ー	ー	ー	立ち幅跳び（瞬発力）	ー	ー	ー	ー	ソフトボール投げ（巧緻性・瞬発力）	▲	▲			ハンドボール投げ（巧緻性・瞬発力）			▲	▲
種 目	小学生		中学生																																																									
	男子	女子	男子	女子																																																								
握力（筋力）	▲	▲	ー	▲																																																								
上体起こし（筋力・筋持久力）	▲	▲	▲	▲																																																								
長座体前屈（柔軟性）	◎	◎	◎	◎																																																								
反復横跳び（敏捷性）	ー	ー	▲	▲																																																								
20M シャトルラン（全身持久力）	▲	▲	▲	▲																																																								
持久走（全身持久力）			▲	▲																																																								
50M 走（スピード）	ー	ー	ー	ー																																																								
立ち幅跳び（瞬発力）	ー	ー	ー	ー																																																								
ソフトボール投げ（巧緻性・瞬発力）	▲	▲																																																										
ハンドボール投げ（巧緻性・瞬発力）			▲	▲																																																								

(2) 都・区平均の比較 (詳細は、P 11～19 参照)
 (プラスマイナス1パーセント以上の差があったもの)

(◎改善 ▲低下 –横ばい)

種 目	小学生		中学生	
	男子	女子	男子	女子
握力 (筋力)	—	—	—	—
上体起こし (筋力・筋持久力)	—	—	—	▲
長座体前屈 (柔軟性)	▲	▲	—	▲
反復横跳び (敏捷性)	◎	◎	—	▲
20M シャトルラン (全身持久力)	▲	◎	▲	—
持久走 (全身持久力)			▲	▲
50M 走 (スピード)	—	—	—	—
立ち幅跳び (瞬発力)	—	—	—	▲
ソフトボール投げ (巧緻性・瞬発力)	▲	—		
ハンドボール投げ (巧緻性・瞬発力)			▲	▲

- ・ 都平均・区平均とも、一部種目を除き対令和元年度比較で低下傾向にあり、都と区の動きに大きなかい離は見られない。中学生女子の全体的な体力低下が目立つ。

3 今後の体力向上に向けて

(1) 体を動かす機会の確保

縄跳びやマラソンなど、体を動かす時間と機会を意図的に取り入れ、筋力や持久力の土台から作っていく。

(2) 投力一点突破型の体力向上の推進

ソフトボール投げやハンドボール投げは、筋力ではなく望ましい投球動作を身に着けることで記録が伸びるため、コロナ禍の状況を見ながら投力一点突破型の体力向上の再開を図っていく。

(3) 教員の指導力向上

令和3年度から新規にスタートさせた「体力向上研修」「体育科実技研修会」を通じて有効な指導法を各校に波及させ、児童・生徒の運動習慣作りや体力向上につなげる。

今後の方針

児童・生徒の体力に関する課題や対策について、校長会、区小研、区中研等と共有・連携をし、課題解決に向けた継続性のある実践を行う。

令和3年度版 小学校の結果

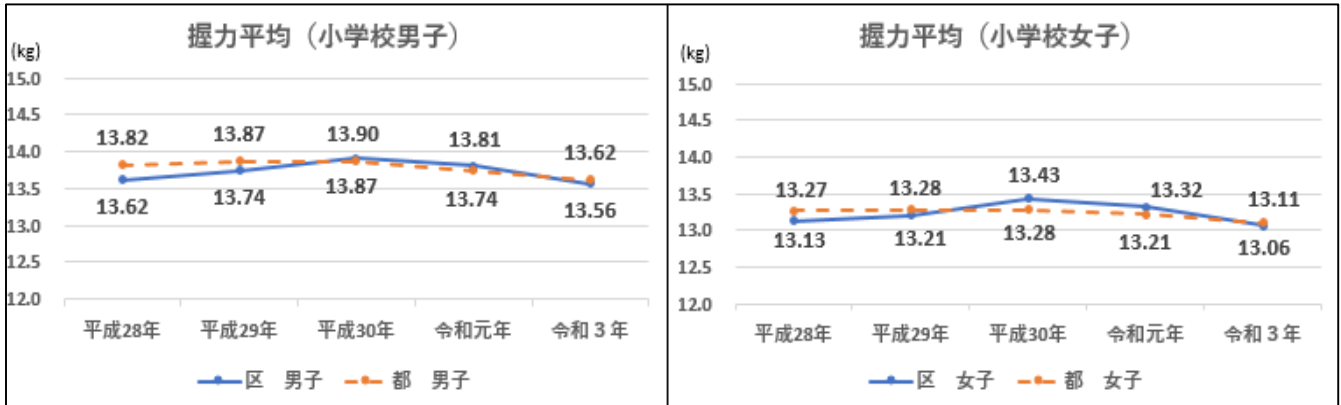
(種目別・男女別) 東京都との経年別比較

実線…区平均値

破線…都平均値

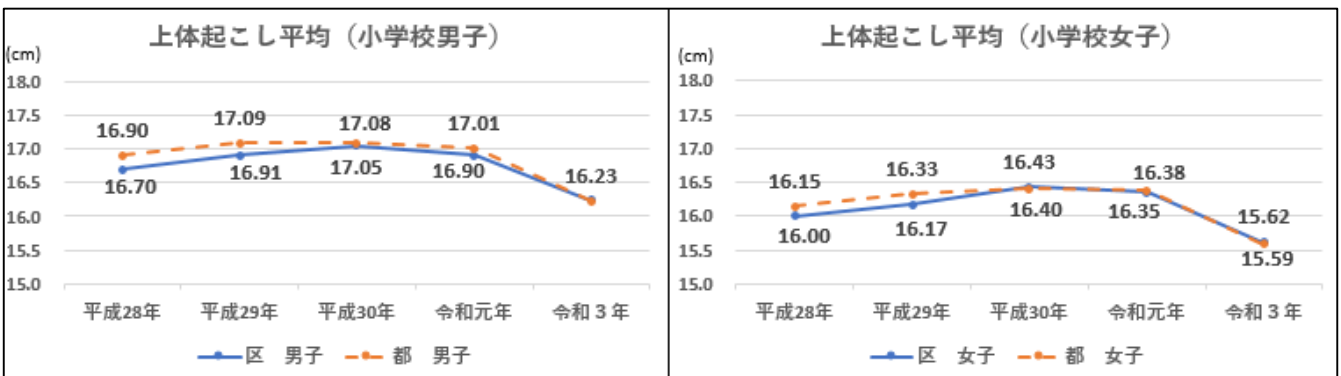
1 小学校

(1) 握力 (筋力)



- ・令和元年度と令和3年度の区の平均値を比較すると、男女共に低下傾向にあり、児童の筋力低下が見られた。
- ・区と都の平均値を比較すると大きな差はなく、横ばいの状態である。

(2) 上体起こし (筋力・筋持久力)



- ・筋持久力は、男女共に低下の傾向にあるものの、男子が都水準と並んだ。
- ・女子は、平成30年度から令和3年度にかけて、都水準とほぼ横ばいで推移している。

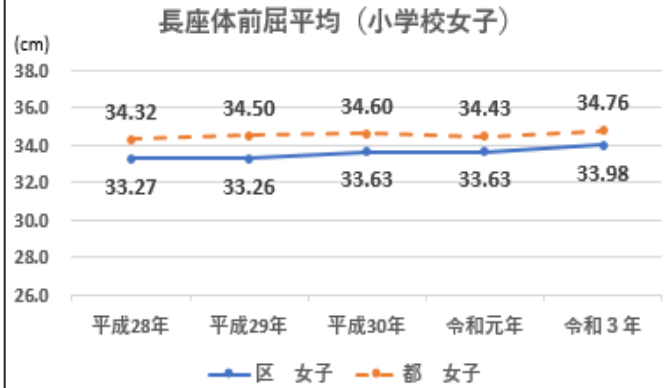
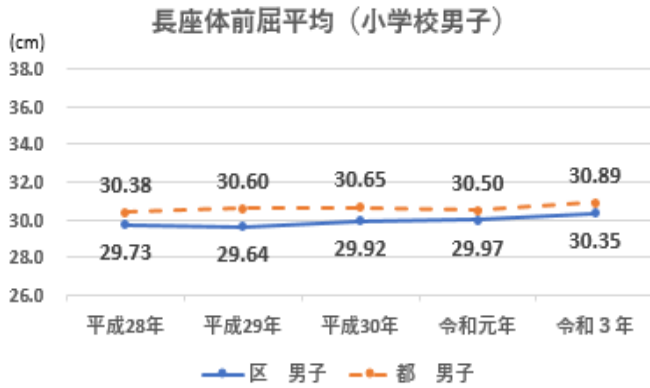
令和3年度版 小学校の結果

(種目別・男女別) 東京都との経年別比較

実線…区平均値

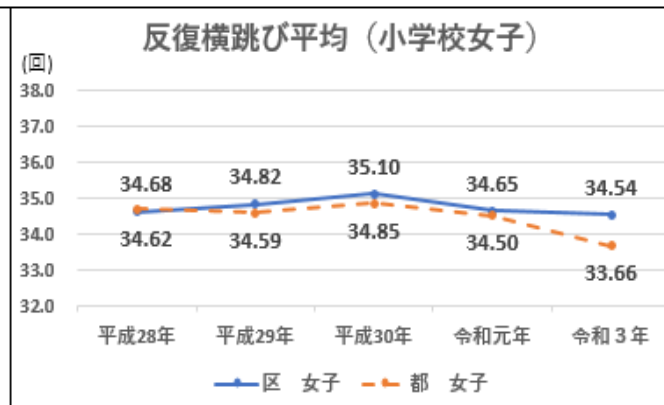
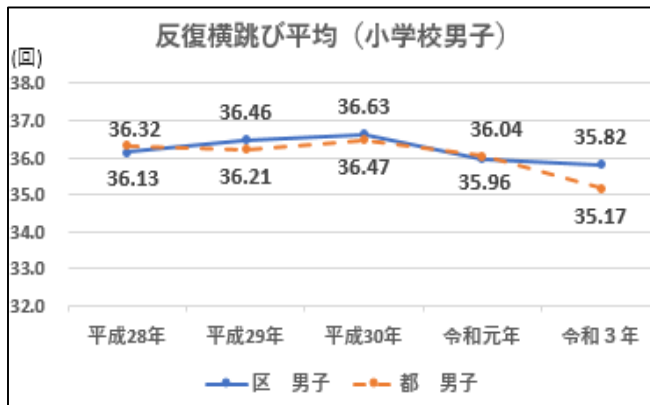
破線…都平均値

(3) 長座体前屈 (柔軟性)



- 平成28年度から令和3年度にかけて、男女共に都水準を下回ってはいるものの、男女共に数値自体は上昇傾向にある。
- 女子の平均数値は男子の平均数値と比較して、毎年約3~4cm高い数値を示しており、女子の方が柔軟性に長けていることがわかる。

(4) 反復横跳び (敏捷性)



- 令和3年度において、男女共に都水準を上回った。過去数年間において、本種目においては都水準を上回る成果が見られ、敏捷性は高い数値を維持している。
- 令和元年度から令和3年度にかけて、都の平均数値が減少している中、本区ではほぼ横ばいの状態を維持している。

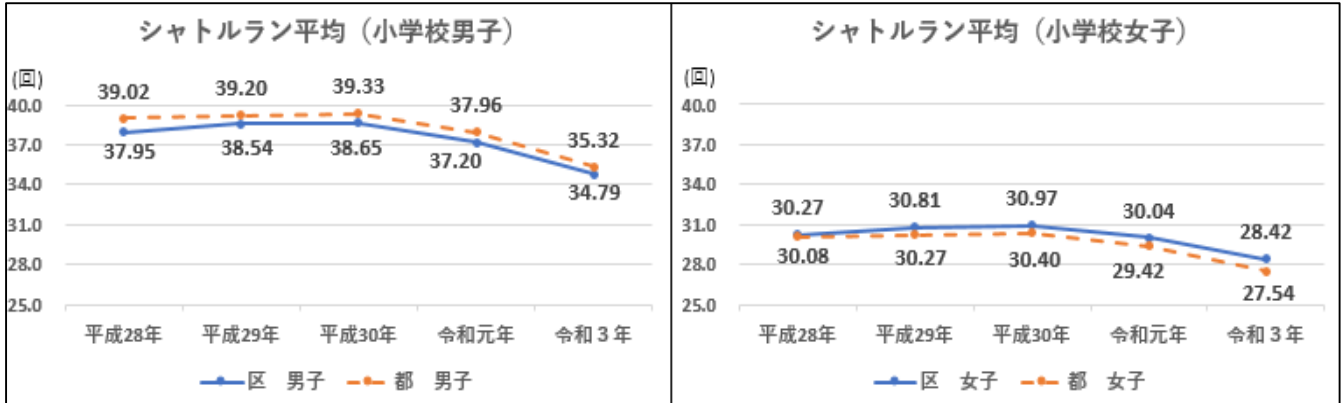
令和3年度版 小学校の結果

(種目別・男女別) 東京都との経年別比較

実線…区平均値

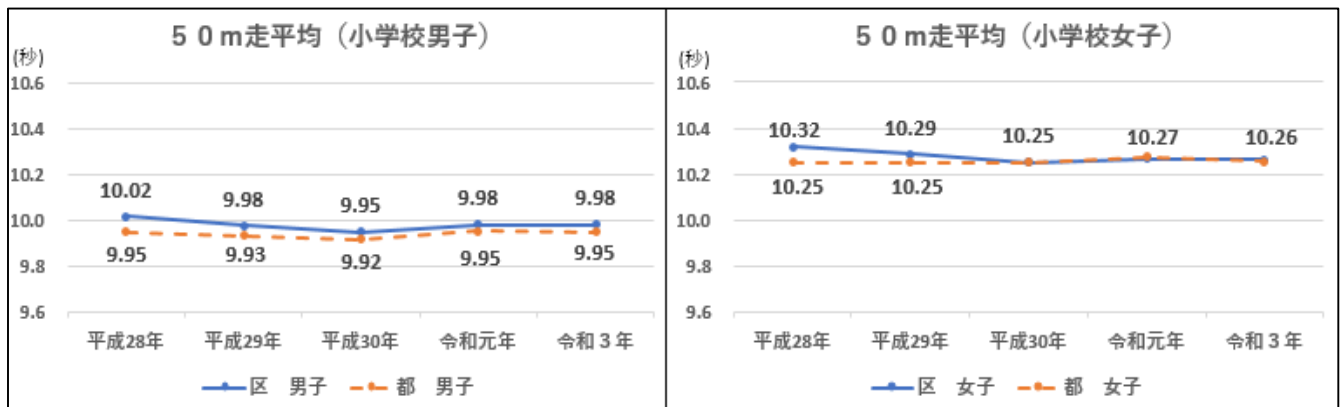
破線…都平均値

(5) 20mシャトルラン (全身持久力)



- 平成28年度から令和3年度にかけて、男子は都水準を下回っている。また、女子は平成30年度から低下気味ではあるものの、毎年都の水準を上回る数値を維持している。
- 平成30年度から区の数値は男女共に減少傾向にあり、全身持久力の低下が見られる。

(6) 50m走 (スピード)



- 男子は、都水準と僅差の状態推移している。
- 女子は、平成30年度には都水準に達し、今年度までほぼ横ばいである。

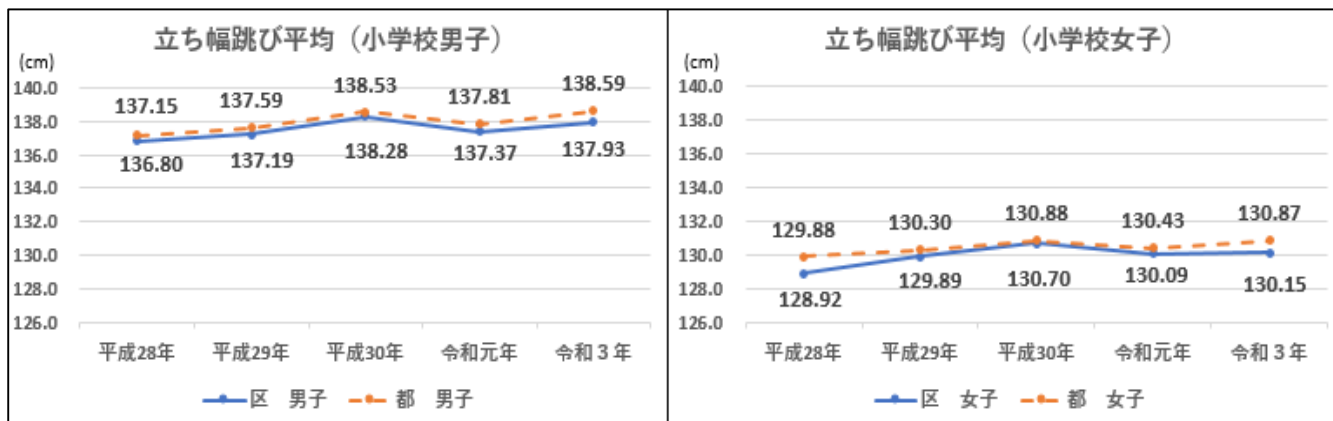
令和3年度版 小学校の結果

(種目別・男女別) 東京都との経年別比較

実線…区平均値

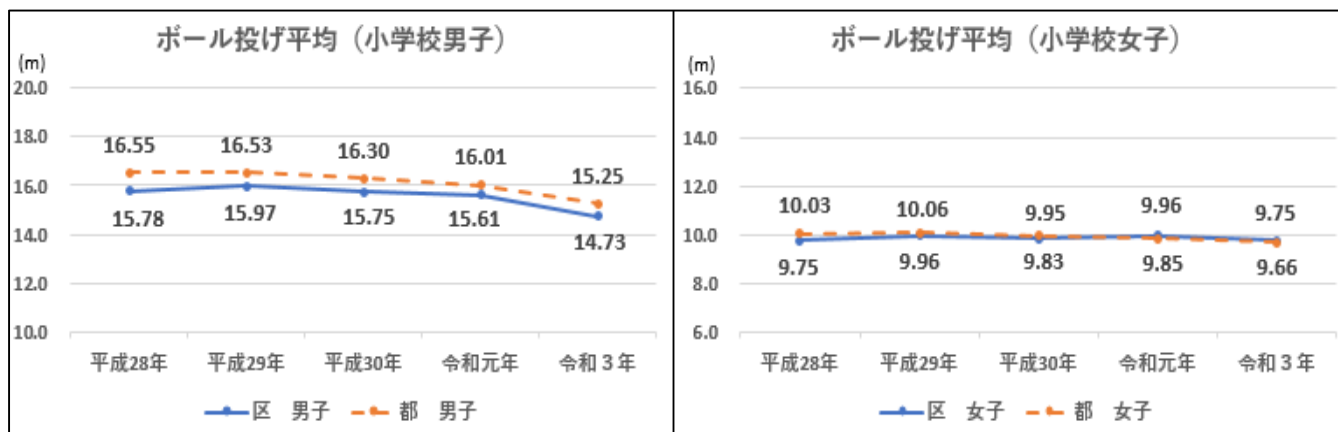
破線…都平均値

(7) 立ち幅とび (瞬発力)



- ・令和元年度と令和3年度の区の数値を比較すると、男女共にほぼ横ばいである。
- ・区と都の例年の数値を比較すると、男女共に平均値は1cm未満の僅差の状態が継続している。

(8) ソフトボール投げ (巧緻性・瞬発力)



- ・男子は、平成29年度から令和3年度にかけて、平均値に若干の減少傾向が見られる。都の数値も減少傾向にあるが、区と都の数値を比較すると若干の開きが見られる。
- ・女子は、令和元年度の9.96mから令和3年度の9.75mにかけて若干の低下傾向にあるものの、都水準には並んでいる。

令和3年度版 中学校の結果

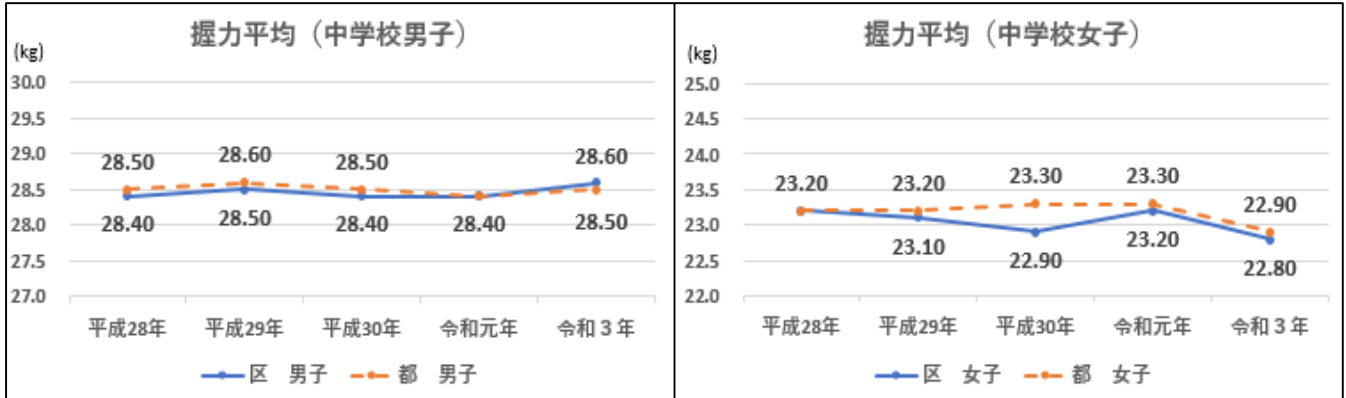
(種目別・男女別) 東京都との経年別比較

実線…区平均値

破線…都平均値

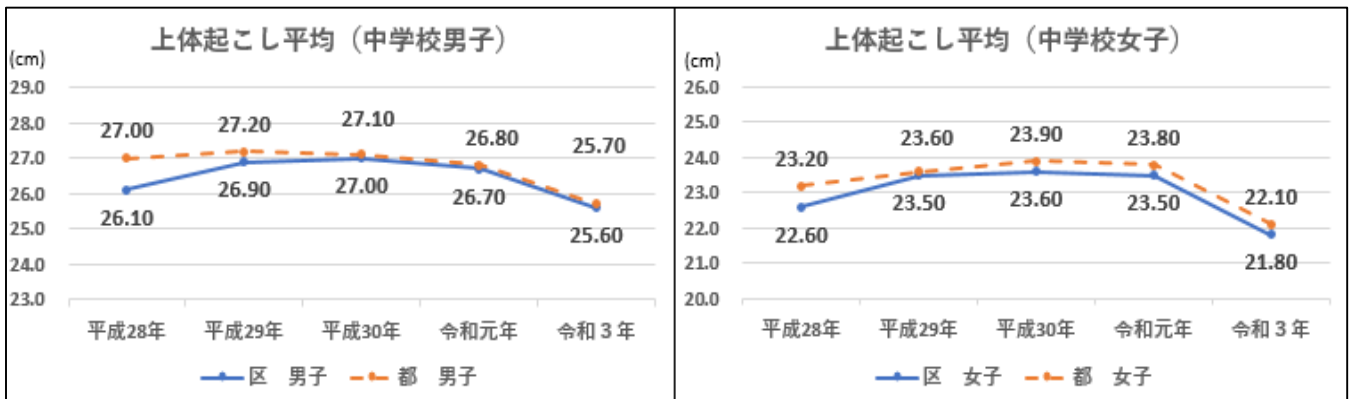
2 中学校

(1) 握力 (筋力)



- ・男子は、平成28年度からほぼ横ばいの状態が継続しており、今年度も都水準を維持している。
- ・女子は、令和元年度と令和3年度を比較すると区の数値は低下したが、都水準と比較すると横ばいの状態である。しかし、平成28年度からの数値としては最も低くなり筋力低下が見られる。

(2) 上体起こし (筋力・筋持久力)



- ・男子は、都水準と僅差の状態が継続している。
- ・女子は、令和元年度から令和3年度にかけて、区の平均値が減少しており、都水準と比較しても低下が見られるため、筋持久力が課題である。

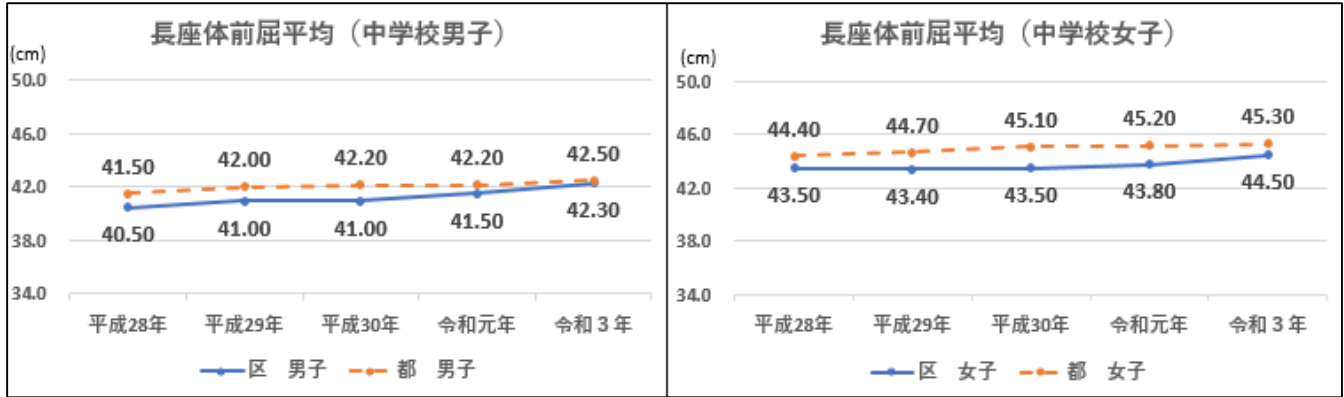
令和3年度版 中学校の結果

(種目別・男女別) 東京都との経年別比較

実線…区平均値

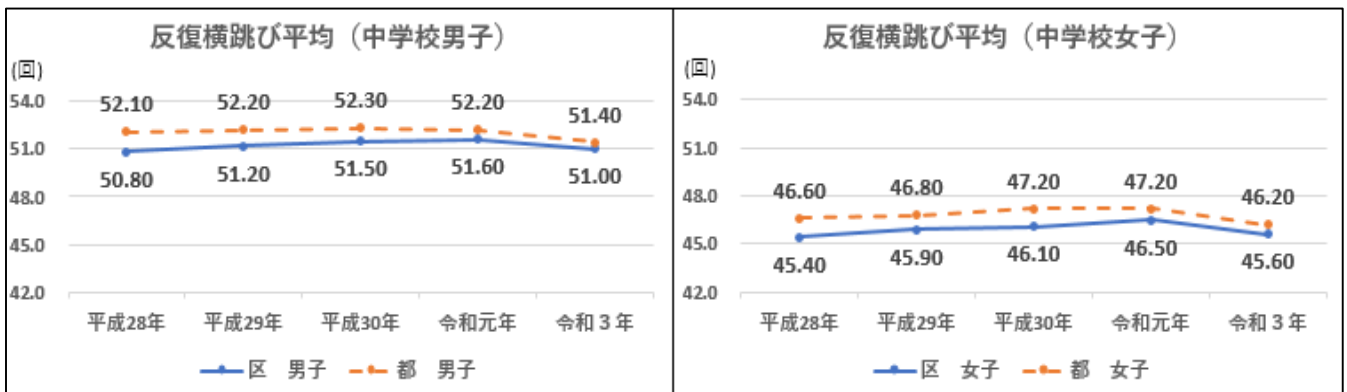
破線…都平均値

(3) 長座体前屈 (柔軟性)



- 平成28年度から令和3年度にかけて、男女共に区の平均値は上昇傾向にある。
- 女子の平均数値は男子の平均数値と比較して、毎年約2～3cm高い数値を示しており、女子の方が柔軟性に長けているが、都水準と比較すると下回っている。

(4) 反復横跳び (敏捷性)



- 令和元年度と令和3年度の区の平均値を比較すると、男女共に低下している。
- 男子は平成28年度から徐々に都の水準に迫ってきており、令和3年度ではほぼ並んだ。一方、女子は令和元年度と令和3年度を比較すると、都水準を下回っている。

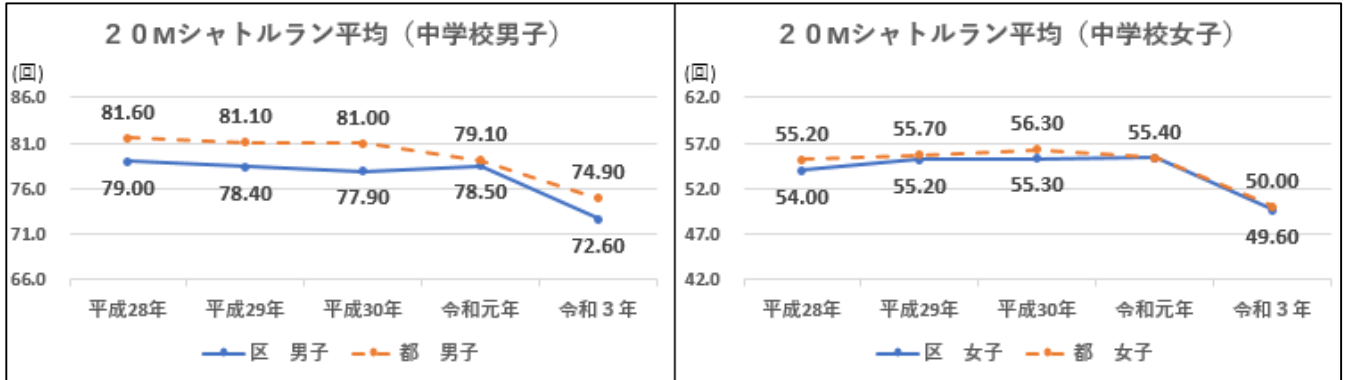
令和3年度版 中学校の結果

(種目別・男女別) 東京都との経年別比較

実線…区平均値

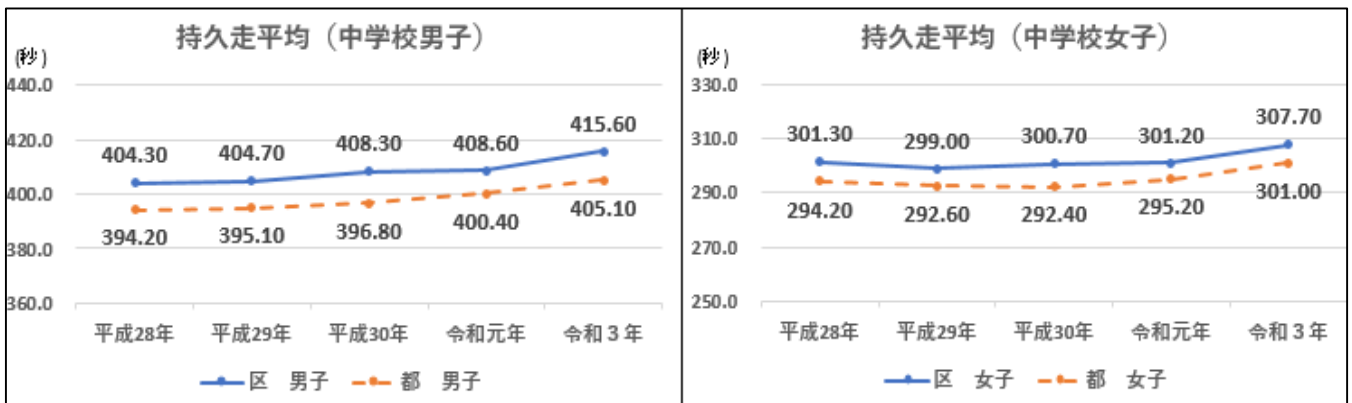
破線…都平均値

(5) 20mシャトルラン (全身持久力)



- 男子は、令和元年度は都水準と僅差であったものの、令和3年度では開きが見られ、全身持久力が低下している。
- 女子は、令和元年度と令和3年度を比較すると区の平均値は下がっているものの、都水準と比較するとほぼ差異はない。

(6) 持久走 (全身持久力)



- 平成28年度から令和3年度にかけて、男女共に都水準を下回っている。とくに令和3年度は、過去5年間の記録の中では最も全身持久力の低下が見られる数値である。
- 都水準も低下傾向にあるが、男子の方が女子よりも都水準との開きは大きい。

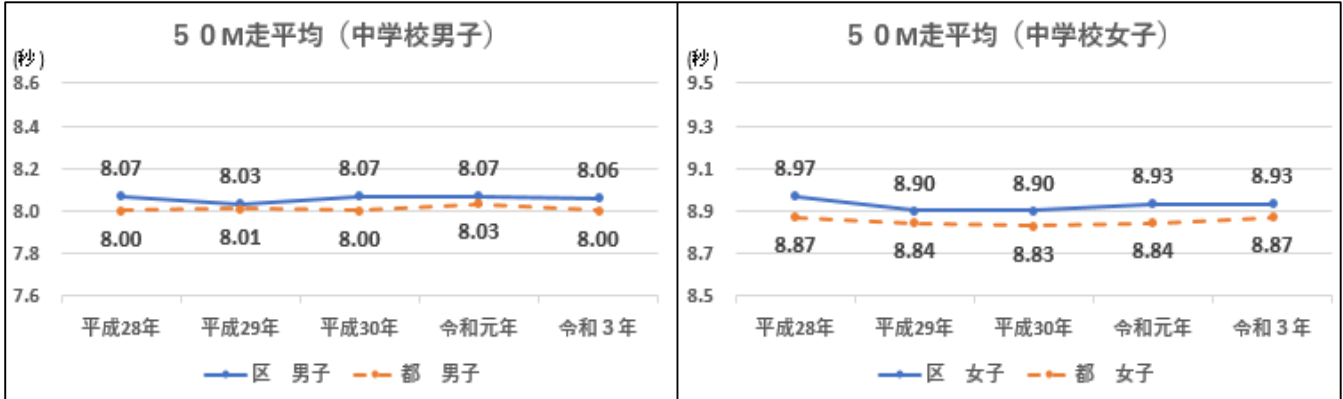
令和3年度版 中学校の結果

(種目別・男女別) 東京都との経年別比較

実線…区平均値

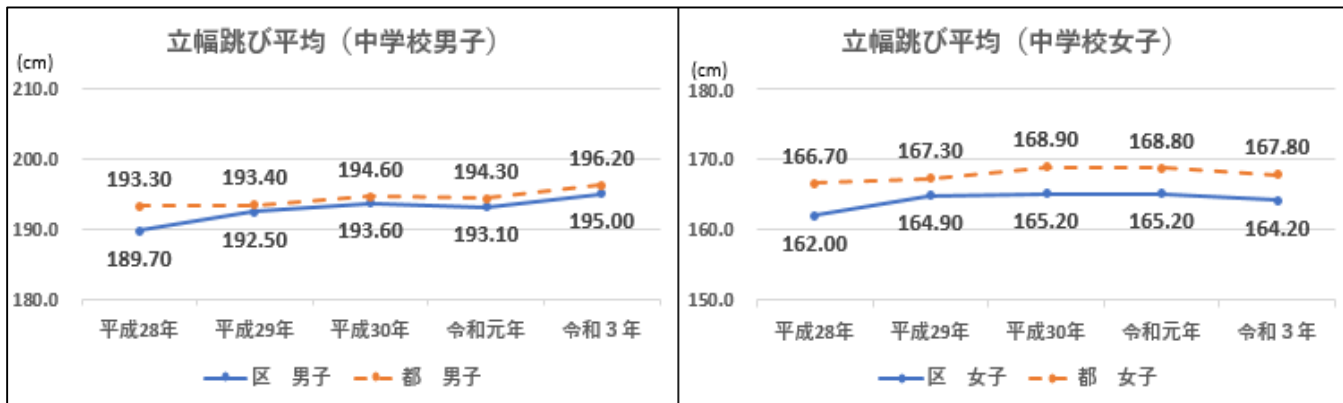
破線…都平均値

(7) 50m走 (スピード)



- ・平成28年度から令和3年度にかけて、男女共に都水準と比較すると0.1秒以内の僅差が続いており、ほぼ横ばいの状態にある。
- ・令和元年度と令和3年度の区の平均値を比較しても大きな変化はなく、横ばいの状態を維持している。

(8) 立ち幅とび (瞬発力)



- ・男子は都水準と僅差の状態が継続している。
- ・女子は都水準と比較すると、過去5年間で3～4cm程の差が生じており、令和元年度と令和3年度の比較においては低下傾向にある。

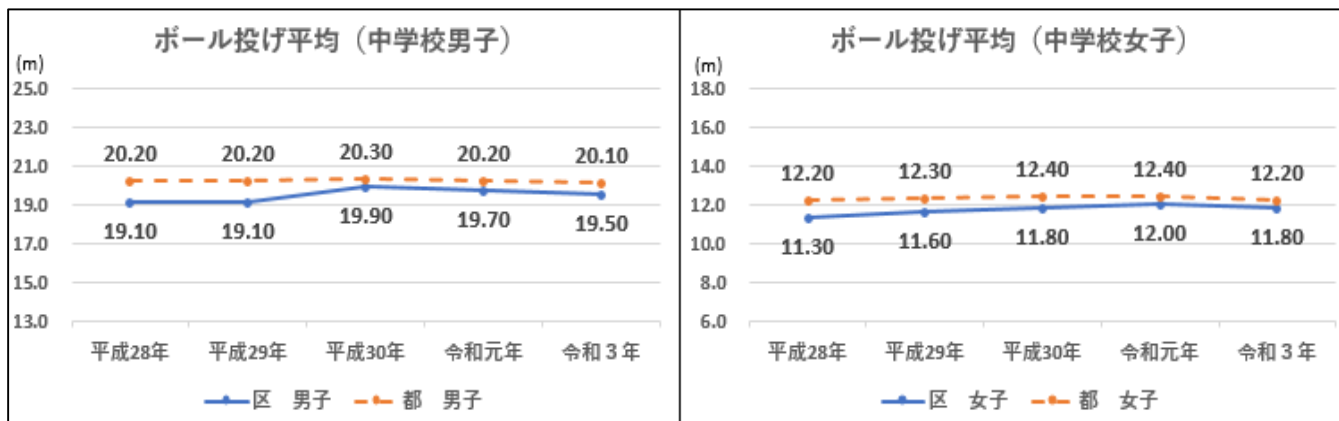
令和3年度版 中学校の結果

(種目別・男女別) 東京都との経年別比較

実線…区平均値

破線…都平均値

(9) ハンドボール投げ (巧緻性・瞬発力)



- ・令和元年度と令和3年度の区平均値を比較すると、男女共に数値の低下が見られる。
- ・都水準との比較においては、男女共に下回っている。

件 名	第4回足立区図書館を使った調べる学習コンクールについて																																															
所管部課名	教育指導部教育指導課																																															
内 容	<p>1 応募状況及び審査結果</p> <p>(1) 応募校数 ※ () は昨年度</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>小学校</th> <th>中学校</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>67 (69)</td> <td>27 (26)</td> <td>94 (95)</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 応募数及び全国審査への出品数について ※ () は昨年度</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="3">作品数</th> <th colspan="4">応募総数</th> <th rowspan="3">中学校</th> <th rowspan="3">合計</th> </tr> <tr> <th colspan="3">小学校</th> </tr> <tr> <th>低学年</th> <th>中学年</th> <th>高学年</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>応募総数</td> <td>926 (1,029)</td> <td>2,908 (2,492)</td> <td>3,905 (2,935)</td> <td>2,493 (2,699)</td> <td>10,232 (9,155)</td> </tr> <tr> <td>足立区入選 ※全国審査に出品</td> <td>15 (21)</td> <td>44 (50)</td> <td>58 (59)</td> <td>37 (54)</td> <td>154 (184)</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 全国審査出品数が本年度より応募総数の1.5%に変更</p> <p>(3) 足立区特別賞について 全国審査に出品する154点から、審査員10名が小学校(低、中、高学年)3部門、中学校1部門の計4部門において1作品ずつ足立区特別賞40作品を選出した。受賞者数は以下のとおり。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>賞の種類</th> <th>受賞者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>区長賞</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>教育長賞</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>教育委員賞(4名)</td> <td>16</td> </tr> <tr> <td>学校図書館部担当校長賞(2名)</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>図書館長賞</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>教育指導課長賞</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>40</td> </tr> </tbody> </table>	小学校	中学校	合計	67 (69)	27 (26)	94 (95)	作品数	応募総数				中学校	合計	小学校			低学年	中学年	高学年	応募総数	926 (1,029)	2,908 (2,492)	3,905 (2,935)	2,493 (2,699)	10,232 (9,155)	足立区入選 ※全国審査に出品	15 (21)	44 (50)	58 (59)	37 (54)	154 (184)	賞の種類	受賞者数	区長賞	4	教育長賞	4	教育委員賞(4名)	16	学校図書館部担当校長賞(2名)	8	図書館長賞	4	教育指導課長賞	4	合計	40
	小学校	中学校	合計																																													
	67 (69)	27 (26)	94 (95)																																													
	作品数	応募総数				中学校	合計																																									
小学校																																																
低学年		中学年	高学年																																													
応募総数	926 (1,029)	2,908 (2,492)	3,905 (2,935)	2,493 (2,699)	10,232 (9,155)																																											
足立区入選 ※全国審査に出品	15 (21)	44 (50)	58 (59)	37 (54)	154 (184)																																											
賞の種類	受賞者数																																															
区長賞	4																																															
教育長賞	4																																															
教育委員賞(4名)	16																																															
学校図書館部担当校長賞(2名)	8																																															
図書館長賞	4																																															
教育指導課長賞	4																																															
合計	40																																															
	<p>2 審査委員の感想</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 本年度は、夏季休業期間が通常に戻り、調べ学習に時間をかけて取り組むことのできる環境があったため、作品の質が全体的に高かった。 ・ 優良作品を所属校の教職員、児童・生徒に広め、調べる学習をさらに充実させたい。 																																															
	<p>3 全国審査優良作品の公開</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 入賞作品(文部科学大臣賞等)については、庁舎1階アトリウムにて、複製作品を展示する。 ・ 入選作品(優良賞、奨励賞、佳作)については、足立区ホームページ上で公開する。 																																															
今後の方針																																																

教 育 委 員 会 報 告

令和4年1月13日

件 名	「性の多様性に関わる困りごと対応マニュアル」について
所管部課名	教育指導部教育指導課
内 容	<p>令和3年3月に策定された「足立区LGBTガイドライン」を基に、教職員向けの対応マニュアル（別添資料1）を作成したので報告する。</p> <p>1 マニュアルの概要について</p> <p>(1) 第一部 性の多様性に関する基礎知識</p> <p>(2) 第二部 意識すること編 相談しやすい先生でいるために意識すること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 相談を受ける際に意識する3つの手順 ・ 相談を受ける際に注意する3つのコト <p>(3) 第三部 日常生活編</p> <p>ア 日常生活で気を付けるべき3つのポイント</p> <p>イ 日常生活のこんなときどうする？</p> <p>(ア) 制服を着たくないと言われたら…？</p> <p>(イ) わたしも野球部に入れますか？</p> <p>(ウ) 気づいていないだけかも</p> <p>(エ) トイレ・更衣室が使いづらい</p> <p>(オ) 先入観をもって見ていませんか？</p> <p>(カ) 宿泊活動が心配</p> <p>(キ) 子どもから相談を受けたら</p> <p>(ク) 進路が心配</p> <p>(ケ) 男女に分かれた活動に違和感</p> <p>ウ 児童・生徒に正しい情報を伝えるために</p> <p>エ 参考文献・相談機関一覧</p> <p>2 今後の活用</p> <p>(1) マニュアルの配付について 各校3部ずつの配付、及び電子データでの配付</p> <p>(2) 配付後の研修等について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 人権教育研修会、中堅教諭等資質向上研修、1年次（初任者等）研修において周知する。 ・ 校長会、副校長連絡会、教務担当者連絡会、生活指導主任連絡会において説明する。
問題点・今後の方針	各校での配付時における教職員への周知を徹底するよう、校長に指導する。

教 育 委 員 会 報 告

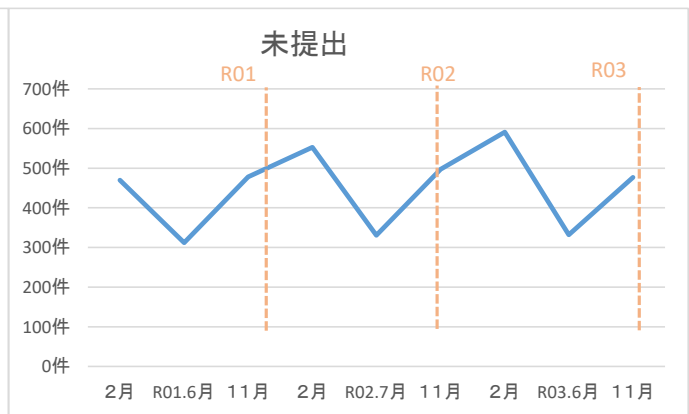
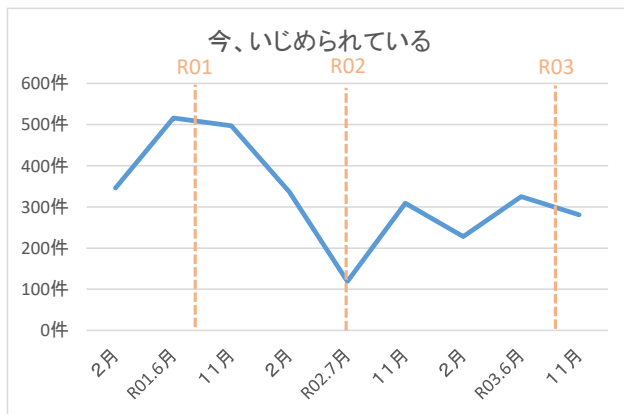
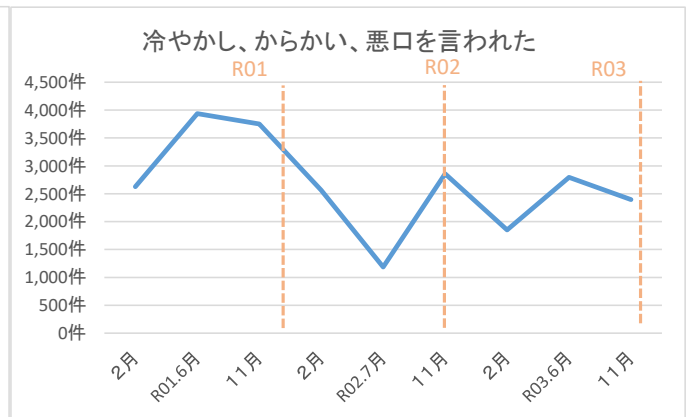
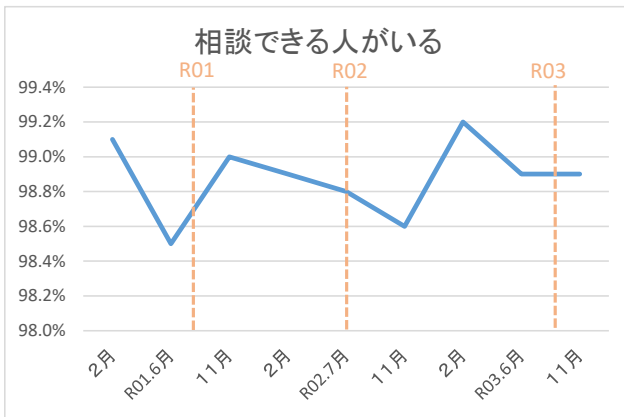
令和4年1月13日

件 名	「令和3年度第2回学校生活及びいじめに関するアンケート調査」の報告について
所管部課名	教育指導部教育指導課
内 容	<p>1 目的 区立小中学校のいじめの状況を把握し、早期対応、早期解決に向けて、学校への指導・助言を行う。</p> <p>2 アンケート実施期間 令和3年11月1日～11月30日において各学校が定めた期間</p> <p>3 対 象 全区立小・中学校 全児童・生徒 調査回答数 小学校 30,401名 中学校 13,469名 計 43,870名</p> <p>4 アンケート実施方法 児童・生徒が、家庭にアンケート用紙を持ち帰り、各家庭で記入した後、専用封筒に入れて学校に提出する。</p> <p>5 結果概要（主要項目の前回6月との比較） 全体についてはP24～26参照</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「相談できる人がいる」 98.9%（±0ポイント） ・ 「冷やかし、からかい、悪口を言われた」 2,395件（-398件） ・ 「今、いじめられている」 281件（-44件） ・ 未提出数 477件（+145件） <p>6 アンケート結果の分析と今後の対応</p> <p>(1) 前回調査と比較して、いじめに関する主要項目の数値が減少している。いじめ防止に関する継続的な指導といじめの早期発見に関する取組の成果であると考え、今後も学校の組織的な対応を推進していく。</p> <p>(2) アンケートの回答内容について、教員が児童・生徒から聴き取った内容から、いじめ行為は、休み時間や休憩時間に発生することが多いことが分かる。また、引き続き教職員による丁寧な見守りを実施する。</p> <p>(3) 不登校児童・生徒数の増加に伴い、未回答数が増加しているが、学校は、電話や家庭訪問を通していじめの有無を確認している。</p>

	<p>7 令和3年度第2回足立区いじめ等問題対策委員会での意見</p> <p>(1) 日 時 令和3年12月24日(金) 午前10時から11時30分</p> <p>(2) 委員等 学識経験者4名、弁護士1名、区職員6名</p> <p>(3) アンケート調査への意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ パソコンや携帯電話等の誹謗中傷や悪口が多く、見えないいじめに対する指導が大切である。 ・ 「相談できる人がいる」と回答する割合が高く、先生・友人と身近な人に相談できることはよいことである。 ・ いじめの個々のケースについて、実態把握、ケース検討、理解、授業に活かすための研究につなげていただきたい。 ・ 犯罪は警察につなぐことで終了するが、心の傷はケアできない。台東少年センター、鑑別所の心理士との連携を継続して欲しい。
<p>今後の方針</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ いじめはどの学校でも、どの子どもにも起こり得るという教職員の認識をより一層深め、細心の注意を払いながら、いじめ問題の未然防止、早期発見、早期対応に努める。 ・ 未回収となっている家庭については、引き続き、電話連絡等をおして心身の状況を把握し、いじめ被害の有無を確認する。

令和3年度第2回学校生活及びいじめに関するアンケート調査結果【抜粋】

<経年>	平成30年度	令和元年度			令和2年度			令和3年度	
	2月	R01.6月	11月	2月	R02.7月	11月	2月	R03.6月	11月
相談できる人がいる	99.1%	98.5%	99.0%	98.9%	98.8%	98.6%	99.2%	98.9%	98.9%
冷やかし、からかい、悪口を言われた	2,625件	3,937件	3,753件	2,563件	1,186件	2,857件	1,850件	2,793件	2,395件
今、いじめられている	346件	516件	497件	337件	119件	309件	228件	325件	281件
未提出	470件	312件	478件	553件	331件	497件	591件	332件	477件



令和3年度第2回学校生活及びいじめに関するアンケート調査結果（第2回：R03. 11月）

基礎情報	小学校			中学校			合計		
	R02. 11月	R03. 6月	R03. 11月	R02. 11月	R03. 6月	R03. 11月	R02. 11月	R03. 6月	R03. 11月
在籍数	31,022人	30,628人	30,591人	13,361人	13,706人	13,756人	44,383人	44,334人	44,847人
調査回答数	30,860人	30,503人	30,401人	13,026人	13,499人	13,469人	43,886人	44,002人	43,870人
回答率	99.5%	99.6%	99.4%	97.5%	98.5%	97.9%	98.9%	99.3%	98.9%
未回収数	162	125	190	335	207	287	497	332	477
前回未回収数	116	230	125	215	361	207	331	591	332

結果（回答件数）

調査項目	小学校			中学校			合計			
	R02. 11月	R03. 6月	R03. 11月	R02. 11月	R03. 6月	R03. 11月	R02. 11月	R03. 6月	R03. 11月	
1 相談できる人がいる	98.8%	99.2%	99.4%	98.2%	98.0%	97.7%	98.6%	98.9%	98.9%	
内訳 ※複数 回答	家の人	91.2%	92.3%	92.0%	81.5%	81.3%	80.0%	88.3%	88.9%	88.3%
	先生	63.6%	64.1%	66.0%	51.7%	50.9%	53.0%	60.1%	60.1%	62.0%
	友人	58.7%	55.9%	60.4%	77.7%	78.2%	78.8%	64.3%	62.8%	66.0%
	S C	12.8%	11.9%	12.9%	20.0%	19.7%	19.6%	15.0%	14.3%	14.9%
	その他	4.1%	3.7%	3.7%	2.2%	2.1%	2.2%	3.5%	3.2%	3.2%
<p>●上記の「家の人」は、兄弟姉妹・祖父母・いとこや親類等同居の場合も含む。 ●「その他」で記載された人物等の傾向について 信用できる近くの人や大人、習い事の先生、げんきの相談員、友達の家族、医者（臨床心理士・精神科医）、デイサービス職員、シッター、日本語指導員や主事、シルバー警備員等（教員以外の学校に関わる大人）、ネット上の友達、いじめ相談（ネット、電話）、SSW、ペット、人形・ぬいぐるみ ※小学校のみ：学童・放課後キッズの先生 クリスマスヴィレッジ、警察、児童相談所の職員 ※中学校のみ：アダチベースの職員、押し、心の中</p>										
2 冷やかし、からかい、悪口を言われた	8.7% (2,687)	8.5% (2,598)	7.4% (2,235)	1.3% (170)	1.4% (195)	1.2% (160)	6.5% (2,857)	6.3% (2,793)	5.5% (2,395)	
3 仲間はずれ、無視	3.5% (1,074)	3.5% (1,069)	3.0% (922)	0.4% (49)	0.3% (45)	0.4% (53)	2.6% (1,123)	2.5% (1,114)	2.2% (975)	
4 軽くぶつかる、叩かれる、蹴られる	2.5% (767)	2.5% (765)	2.2% (664)	0.6% (74)	0.6% (86)	0.5% (65)	1.9% (841)	1.9% (851)	1.7% (729)	
5 ひどく叩かれる、蹴られる	1.7% (538)	1.7% (515)	1.5% (446)	0.2% (23)	0.2% (31)	0.2% (26)	1.3% (561)	1.2% (546)	1.1% (472)	
<p>【主な内容例】 ・突然叩かれたり、蹴られたりする。・友達とのじゃれ合いで叩いたり、蹴ったりされた。・教室の中を走っていた友達がぶつかってきた。・思わずぶつかってしまった時、謝ったのに叩かれた。・首を掴まれたり絞められたりする。 ※小学校のみ：・リコーダーで頭を叩かれた。・遊んでいる時にバケツを投げられた。・砂をかけられた。・友達が体育の帽子を振り回して当たった。・鬼ごっこや戦いごっこで強く叩かれた。 ※中学校のみ：・席替えて席が前後になった友達に繰り返し手を出される。</p>										
6 お金を取られる、隠される	0.1%未満 (17)	0.1%未満 (8)	0.1%未満 (13)	0.1%未満 (0)	0.1%未満 (0)	0.1%未満 (2)	0.1%未満 (17)	0.1%未満 (8)	0.1%未満 (15)	
<p>【主な内容例】 ※小学校の例：・友達に1万円くれないと友達をやめると言われたため渡してしまった。・自宅で遊んでいたときに、引き出しに入れておいた財布からお金を盗られた。飲み物を買ってあげたが代金を返してもらえなかった。放課後、同校卒業の中学生3名に「お金をちょうだい」と言われ100円ずつ渡した。 ※中学校の例：・ゲームセンターでメダルを使い込まれた。・靴が隠されていた。</p>										

調査項目	小学校			中学校			合計			
	R02. 11月	R03. 6月	R03. 11月	R02. 11月	R03. 6月	R03. 11月	R02. 11月	R03. 6月	R03. 11月	
7	物をとられる、隠される	2.2% (685)	1.8% (557)	1.7% (507)	0.3% (38)	0.3% (43)	0.2% (25)	1.6% (723)	1.4% (600)	1.2% (532)
8	嫌なことをされる、させられる	1.4% (435)	1.1% (347)	1.0% (301)	0.2% (25)	0.2% (29)	0.2% (21)	1.0% (460)	0.9% (376)	0.7% (322)
9	パソコンやスマホ、携帯での嫌がらせ	0.2% (70)	0.2% (59)	0.2% (73)	0.2% (29)	0.2% (26)	0.2% (23)	0.2% (99)	0.2% (85)	0.2% (96)
10	他のことでいじめられた	0.6% (170)	0.5% (160)	0.4% (135)	0.1% (15)	0.1% (9)	0.1%未満 (5)	0.4% (185)	0.4% (169)	0.3% (140)
<p>【主な内容例】</p> <p>※小学校の例：・宿題のノートに学童の友達が落書きをした。・上級生にトイレで突然驚かされた。・自転車に勝手に乗られた。・ケチャップを付けられた。ドッジボールでルールを無視してアウトにさせられた。</p> <p>※中学校の例：・友達の引き出しから下敷きを取り出し、ハサミで切ろうとした。</p>										
11	友達がいじめられているのを見た	5.7% (1,767)	5.5% (1,684)	4.8% (1,472)	0.5% (70)	0.6% (78)	0.4% (54)	4.2% (1,837)	4.0% (1,762)	3.5% (1,526)
12	今、いじめられている	0.9% (278)	1.0% (298)	0.8% (248)	0.2% (31)	0.2% (27)	0.2% (33)	0.7% (309)	0.7% (325)	0.6% (281)

未回収数の内訳

	小学校			中学校			合計		
	R02. 11月	R03. 6月	R03. 11月	R02. 11月	R03. 6月	R03. 11月	R02. 11月	R03. 6月	R03. 11月
全員回収	16	23	16	5	4	3	21	27	19
1名	14	19	12	2	5	4	16	24	16
2名	15	6	8	2	5	4	17	11	12
5名以内	16	16	24	5	7	8	21	23	32
10名以内	7	5	9	6	7	5	13	12	14
11名以上	1	0	0	15	7	11	16	7	11
合計	69	69	69	35	35	35	104	104	104

未回収となった主な理由

	小学校			中学校			合計		
	R02. 11月	R03. 6月	R03. 11月	R02. 11月	R03. 6月	R03. 11月	R02. 11月	R03. 6月	R03. 11月
学籍のみ	13	17	14	7	14	12	20	31	26
実施期間中に居住地以外に在住	10	10	25	1	2	4	11	12	29
児童相談所等との連携	4	3	9	5	2	6	9	5	15
不登校であり、回収に至らなかった	102	68	126	309	181	253	411	249	379
本人・保護者の判断	19	14	5	6	4	7	25	18	12
病気（入院中も含む）	13	7	11	7	3	4	20	10	15
日本語による読解が困難な状況	1	6	0	0	1	1	1	7	1
合計	162	125	190	335	207	287	497	332	477

教育委員会報告資料

令和4年1月13日

件名	令和4年度小中学校用務業務委託事業者選定結果について																																
所管部課名	学校運営部学校支援課																																
内 容	<p>1 選定委員会開催日 令和3年12月16日（木）・17日（金）</p> <p>2 選定委員 7名（有識者2名、保護者代表2名、小中学校長代表2名、区職員1名）</p> <p>3 提案書提出者 13者</p> <p>4 選定方法 提案書およびプレゼンテーションを選定委員が評価し、平均点の高い順に7者を選定した。</p> <p>5 選定結果</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr style="background-color: #cccccc;"> <th style="width: 10%;">順位</th> <th style="width: 15%;">委員採点 (平均点)</th> <th style="width: 25%;">事業者名</th> <th style="width: 50%;">契約予定校グループ (順位より希望制で決定)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>94.43</td> <td>株式会社エースシステム</td> <td>足立入谷小学校、栗原北小学校、舎人第一小学校、西伊興小学校、東島根中学校、湊江中学校</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>94.14</td> <td>株式会社エム・ワイ・カンパニー</td> <td>伊興小学校、北鹿浜小学校、鹿浜五色桜小学校、鹿浜西小学校、第七中学校、江北桜中学校</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>92.86</td> <td>株式会社グランディオサービス</td> <td>弘道小学校、千寿双葉小学校、千寿本町小学校、東湊江小学校、千寿青葉中学校、東綾瀬中学校</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>88</td> <td>ヤオキン商事株式会社</td> <td>梅島第一小学校、弘道第一小学校、千寿常東小学校、中川東小学校、第十中学校、青井中学校</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>86.14</td> <td>株式会社ケンズコミュニティ</td> <td>桜花小学校、花畑第一小学校、東加平小学校、六木小学校、第十三中学校、花畑北中学校</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>84.14</td> <td>株式会社アスク</td> <td>北三谷小学校、辰沼小学校、中川北小学校、東栗原小学校、栗島中学校</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>83.29</td> <td>株式会社都市整美センター</td> <td>千寿桜小学校、千寿第八小学校、宮城小学校、第一中学校、江南中学校</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 評価詳細はP29参照</p>	順位	委員採点 (平均点)	事業者名	契約予定校グループ (順位より希望制で決定)	1	94.43	株式会社エースシステム	足立入谷小学校、栗原北小学校、舎人第一小学校、西伊興小学校、東島根中学校、湊江中学校	2	94.14	株式会社エム・ワイ・カンパニー	伊興小学校、北鹿浜小学校、鹿浜五色桜小学校、鹿浜西小学校、第七中学校、江北桜中学校	3	92.86	株式会社グランディオサービス	弘道小学校、千寿双葉小学校、千寿本町小学校、東湊江小学校、千寿青葉中学校、東綾瀬中学校	4	88	ヤオキン商事株式会社	梅島第一小学校、弘道第一小学校、千寿常東小学校、中川東小学校、第十中学校、青井中学校	5	86.14	株式会社ケンズコミュニティ	桜花小学校、花畑第一小学校、東加平小学校、六木小学校、第十三中学校、花畑北中学校	6	84.14	株式会社アスク	北三谷小学校、辰沼小学校、中川北小学校、東栗原小学校、栗島中学校	7	83.29	株式会社都市整美センター	千寿桜小学校、千寿第八小学校、宮城小学校、第一中学校、江南中学校
順位	委員採点 (平均点)	事業者名	契約予定校グループ (順位より希望制で決定)																														
1	94.43	株式会社エースシステム	足立入谷小学校、栗原北小学校、舎人第一小学校、西伊興小学校、東島根中学校、湊江中学校																														
2	94.14	株式会社エム・ワイ・カンパニー	伊興小学校、北鹿浜小学校、鹿浜五色桜小学校、鹿浜西小学校、第七中学校、江北桜中学校																														
3	92.86	株式会社グランディオサービス	弘道小学校、千寿双葉小学校、千寿本町小学校、東湊江小学校、千寿青葉中学校、東綾瀬中学校																														
4	88	ヤオキン商事株式会社	梅島第一小学校、弘道第一小学校、千寿常東小学校、中川東小学校、第十中学校、青井中学校																														
5	86.14	株式会社ケンズコミュニティ	桜花小学校、花畑第一小学校、東加平小学校、六木小学校、第十三中学校、花畑北中学校																														
6	84.14	株式会社アスク	北三谷小学校、辰沼小学校、中川北小学校、東栗原小学校、栗島中学校																														
7	83.29	株式会社都市整美センター	千寿桜小学校、千寿第八小学校、宮城小学校、第一中学校、江南中学校																														

	<p>6 履行期間 令和4年2月から令和5年3月まで(令和4年2月・3月は引継ぎ期間) ※ 履行内容が良好の場合、2回まで更新可</p> <p>7 各事業者への通知予定日 令和4年1月21日(区ホームページへの掲載および事業者へ郵送)</p> <p>8 評価経過</p> <table border="1" data-bbox="421 555 1449 719"> <thead> <tr> <th data-bbox="421 555 612 640">参加表明</th> <th data-bbox="612 555 839 640">税理士による 財務審査※1</th> <th data-bbox="839 555 1046 640">辞退した者</th> <th data-bbox="1046 555 1315 640">プレゼンテーションに進んだ者</th> <th data-bbox="1315 555 1449 640">選定</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="421 640 612 719">15者</td> <td data-bbox="612 640 839 719">1者非選定</td> <td data-bbox="839 640 1046 719">1者</td> <td data-bbox="1046 640 1315 719">13者</td> <td data-bbox="1315 640 1449 719">7者</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 税理士による財務審査は、総合評価A【とても良好】・B【良好】・C【やや不安定】・D【不安定】の判定を受け、Dは、非選定となる。</p>	参加表明	税理士による 財務審査※1	辞退した者	プレゼンテーションに進んだ者	選定	15者	1者非選定	1者	13者	7者
参加表明	税理士による 財務審査※1	辞退した者	プレゼンテーションに進んだ者	選定							
15者	1者非選定	1者	13者	7者							
<p>問題点 今後の方針</p>	<p>事業者が変更となる学校については、事業者間の引継ぎを確実に実施していく。</p> <p>評価基準について、さらにわかりやすくなるよう見直しを検討する。</p>										

令和4年度小中学校用務業務委託事業者選定結果

※ 委員7名 満点700点+加点・減点

① 委員採点					選定事業者記号							非選定事業者記号							
					L 1位	E 2位	C 3位	H 4位	J 5位	F 6位	B 7位	G 8位	O 8位	D 10位	M 11位	A 12位	N 13位		
項番	評価項目	評価の視点	着眼点	配点															
1	提案内容の的確性	業務方針や業務スケジュールは妥当か。	業務方針について本委託の目的を踏まえた具体的なものが示されているか。	35	70	32	31	32	32	30	32	28	28	27	29	27	25	25	
2			作業ごとのスケジュールが明確か。仕様の内容が網羅できているか。作業の実施確認を社としてどうやるか。	35		34	30	30	31	29	31	24	28	24	26	27	24	22	
3		業務遂行体制は妥当か。	子どものいる時間帯は必ず作業員の複数配置がなされているか。病気等による欠員時や学校行事の際などにおける人員の応援体制があるか。	35	35	34	29	32	30	31	32	28	28	22	26	28	23	18	
4		雇用の方針は妥当か。	足立区民を優先しているか。学校現場であることを理解した採用基準か。	35	70	34	33	34	35	33	32	31	29	29	31	29	29	29	26
5			労働条件に問題はないか。	35		33	33	33	32	32	29	32	32	29	30	28	28	24	
6		従事者の教育研修体制は整っているか。	配置前のみならず、配置後も定期的なスキルアップ体制が組まれているか。	35	70	34	33	32	32	29	32	33	31	24	28	29	27	25	
7			研修の習熟度に関するチェック体制があるか。	35		32	33	33	33	29	33	32	29	21	29	28	25	23	
8		学校の安全安心に関する取り組みは的確か。	緊急時の問合せ窓口および支援体制が示されているか。	35	70	32	30	32	32	30	33	29	27	29	27	31	29	24	
9			学校の安全・安心を脅かすリスク要因としてどのくらい多くのシーンを想定できているか。また、それに対する対策は具体的であるか。	35		32	31	32	34	30	32	29	28	30	27	28	29	26	
10	個人情報の管理体制	企業として個人情報の管理について徹底されているか。	個人情報の取り扱いに関する社内規定やマニュアルが整備されているか。個人情報の取り扱いに関する研修が行われているか。	35	70	34	34	34	33	33	33	32	32	32	28	30	32	30	
11			ISOやプライバシーマークが取得されているか。	35		34	33	33	35	32	32	32	34	31	33	32	34	31	
12	社会貢献度・地域貢献度	社会貢献度・地域貢献度があるか。	ISOの取得や、足立区ワークライフバランス推進企業に認定されているか。	35	35	34	33	35	35	32	34	26	32	28	29	23	26	25	
13	コスト	コストは妥当か、従事者の賃金に影響を与えるような、不当に廉価な価格を提示していないか。	区の提示する上限価格に対する見積価格が妥当であるか。賃金の支払いが合理的におこなえる提案額になっているか。	70	70	52	53	54	52	52	52	52	53	51	52	51	26	20	
14	理解、意欲	提案事業者・担当者に教育現場ならびに委託業務に関する理解と意欲があるか。	教育現場ならびに委託業務に関する理解と意欲があるか。独自のサービス提案に関して実現性があるか。コストや契約上無理な提案ではないか。※ 仕様書を遵守し、提案者の独自サービスに実現性があるかを評価	70	70	61	58	60	59	55	56	56	54	51	49	48	51	39	
15	プレゼンテーション全体	提案書、プレゼンテーション等は現実的であるか、質疑応答に説得力があるか。	提案内容を理路整然と丁寧にわかりやすく説明しているか。質問に対して的確に回答しているか。プレゼン時の言葉遣いや態度はどうか。提案書等を総合的にみた評価はどうか。	70	70	65	60	60	62	56	61	49	52	47	48	48	51	39	
16	類似施設の管理運営実績	類似業務の受託経験があるか。	学校施設の運営実績があるか。※ 類似施設等の管理運営実績資料の数値を評価基準に照らし合わせて採点	35	35	35	35	35	35	35	35	35	35	28	21	28	35	21	
小計 (1)				665		612	589	601	602	568	589	548	552	503	513	515	494	418	

② 税理士による財務審査結果					選定事業者記号							非選定事業者記号						
					L 1位	E 2位	C 3位	H 4位	J 5位	F 6位	B 7位	G 8位	O 8位	D 10位	M 11位	A 12位	N 13位	
項番	評価項目	評価の視点	着眼点	配点														
1	経営の安定性	財務状況は良好か。	会社の経営が安定しており、安心して用務業務を委託することができるか。※ 税理士による財務審査総合評価結果を、A=5点、B=4点、C=2点に換算。(点数：財務審査結果×委員7名分)	35	14	35	14	14	35	35	14	14	28	14	14	14	35	
小計 (2)				35	14	35	14	14	35	35	14	14	28	14	14	14	35	

合計 (1) + (2) 700 626 624 615 616 603 624 562 566 531 527 529 508 453

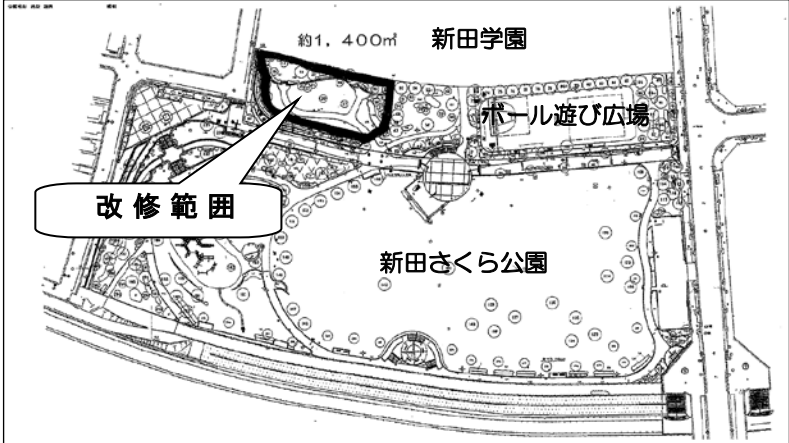
③ 加点・減点					選定事業者記号							非選定事業者記号						
					L 1位	E 2位	C 3位	H 4位	J 5位	F 6位	B 7位	G 8位	O 8位	D 10位	M 11位	A 12位	N 13位	
項番	評価項目	評価の視点	着眼点	加点・減点														
1	区内事業者	区内事業者か。	足立区内に本店・本社がある場合 5点加点 足立区内に支店・支社がある場合 3点加点 ※ 参加表明書をもとに事務局採点	35 21	35	35	35	35	35	35	21	35	35	35	21	21	21	
2	既受託事業者の評価	仕様書の内容に比べて著しく劣っている、もしくは履行されていない項目がないか。	小中学校用務業務委託評価票の各学校からの評価に「×」や「改善要望」の項目がないか。令和3年度学校評価をもとに事務局採点	-105 -70 -35	0	0	0	-35	-35	-70	0	-35	0	0	0	0	0	
小計 (3)				35	35	35	35	0	0	-35	21	0	35	35	21	21	21	

総合計 (1) + (2) + (3) 661 659 650 616 603 589 583 566 566 562 550 529 474

総合計平均点 94.43 94.14 92.86 88 86.14 84.14 83.29 80.86 80.86 80.29 78.57 75.57 67.71

教 育 委 員 会 報 告

令和4年1月13日

件 名	新田さくら公園の改修方針について																																
所管部課名	学校運営部 学校施設管理課 みどりと公園推進室 みどり推進課、パークイノベーション担当課																																
内 容	<p>文教委員会「新田学園の児童・生徒が活発に活動できる環境整備を求める陳情」への対応として改修を予定していた新田さくら公園について、児童へのアンケートを実施して以下のとおり改修方針を策定したので報告する。</p> <p>1 改修範囲 新田さくら公園の生きものふれあい広場部分 (約1,400㎡)</p> <div style="text-align: center;">  </div> <p>2 アンケートの実施 改修方針の参考とするため、新田学園の児童にアンケート(P32～33参照)を実施した。</p> <p>(1) 対象児童 新田学園の5、6年生(444名) (2) 回答数 433名(5年生223名、6年生210名) (3) 実施日 令和3年11月19日 (4) 集計結果(P34参照)</p> <p style="text-align: center;">生きものふれあい広場(ビオトープ部分)で遊びたいこと</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 5%;">ア</td> <td style="width: 85%;">かくれんぼや鬼ごっこ</td> <td style="width: 10%; text-align: right;">27%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>イ</td> <td>読書やおしゃべり</td> <td style="text-align: right;">23%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td>ドッジボール</td> <td style="text-align: right;">10%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>エ</td> <td>サッカー遊び</td> <td style="text-align: right;">9%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>オ</td> <td>バスケット遊び</td> <td style="text-align: right;">9%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>カ</td> <td>ボール投げ(的当て)</td> <td style="text-align: right;">8%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>キ</td> <td>虫取り</td> <td style="text-align: right;">3%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ク</td> <td>その他</td> <td style="text-align: right;">11%</td> <td style="text-align: right;">合計100%</td> </tr> </table>	ア	かくれんぼや鬼ごっこ	27%		イ	読書やおしゃべり	23%		ウ	ドッジボール	10%		エ	サッカー遊び	9%		オ	バスケット遊び	9%		カ	ボール投げ(的当て)	8%		キ	虫取り	3%		ク	その他	11%	合計100%
ア	かくれんぼや鬼ごっこ	27%																															
イ	読書やおしゃべり	23%																															
ウ	ドッジボール	10%																															
エ	サッカー遊び	9%																															
オ	バスケット遊び	9%																															
カ	ボール投げ(的当て)	8%																															
キ	虫取り	3%																															
ク	その他	11%	合計100%																														

3 改修方針（P 3 5 参照）

- (1) かくれんぼや鬼ごっこが楽しめるよう、起伏（石積み）や樹木を残す。
- (2) 読書やおしゃべりが楽しめるよう、腰かけになる石積みを残すとともに、ベンチやテーブルを配置する。
- (3) ドッジボールや鬼ごっこなど多目的に使い、走り回れるよう、広場中央を草地から真砂土舗装にする。
- (4) 学校との出入りが容易になるよう、園路を整備する。

4 今後の進め方

令和4年

2月 新田学園開かれた学校づくり協議会で設計方針を確認
 ※ 新田まちづくり連絡会委員にも資料を郵送

3月 文教委員会に設計案最終報告
 新田まちづくり連絡会に設計案を最終報告
 新田学園開かれた学校づくり協議会会員に資料を郵送

※ 設計・工事のスケジュール

年月 項目	令和3年				令和4年							
	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8
設計委託												
改修工事												

今後の方針

児童が活発に活動できる環境を整備するため、開かれた学校づくり協議会やまちづくり連絡会の理解を得ながら整備を進めていく。

新田さくら公園 生きものふれあい広場に関するアンケート

来年度以降、新田学園の隣にある新田さくら公園の生きものふれあい広場を、休み時間や放課後にも遊べるような広場に変えようと考えています。石積みの段差や周りの木々は残しつつ、中央を広場にして遊びやすくする予定です。

みなさんの意見を取り入れたいので、裏のページの質問に教えてください。



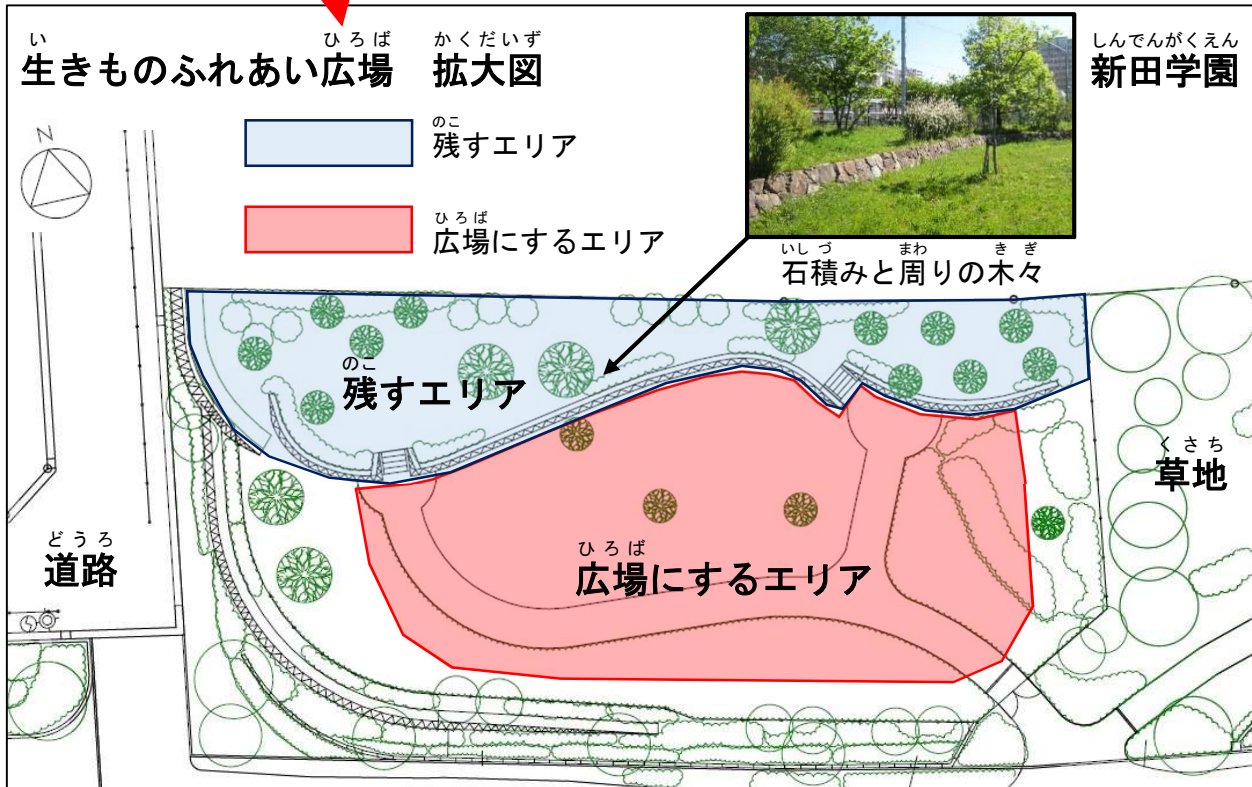
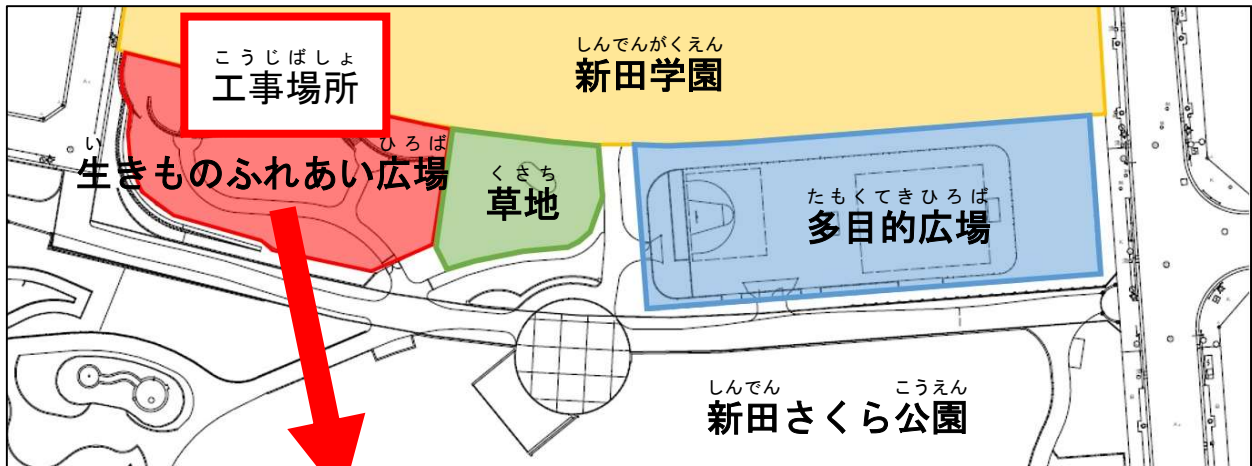
生きものふれあい広場



くさち 草地



たもくてきひろば 多目的広場

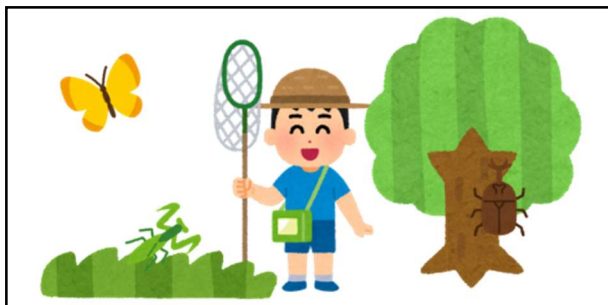


質問 ^{しつもん} この広場^{ひろば}でどんなふう^{あそ}に遊びたいですか（○は2つまで）。
^{あそ}遊び方を1つか2つ組み合わせた広場にしたいと ^{かんが}考えています。

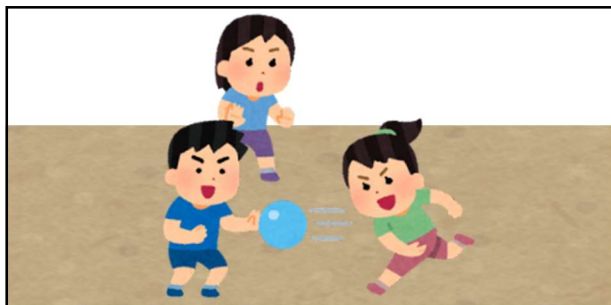
ア ^{おに}かくれんぼや鬼ごっこ



イ ^{むしと}虫取り



ウ ドッジボール



エ ^なボール投げ（^{まとあ}的当て）



オ ^{あそ}サッカー遊び



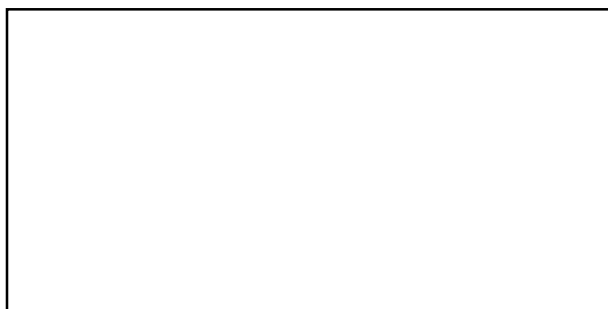
カ ^{あそ}バスケット遊び



キ ^{どくしょ}読書やおしゃべり



ク ^たその他（^{わく}枠の中に^{なか}書いて^かください。）

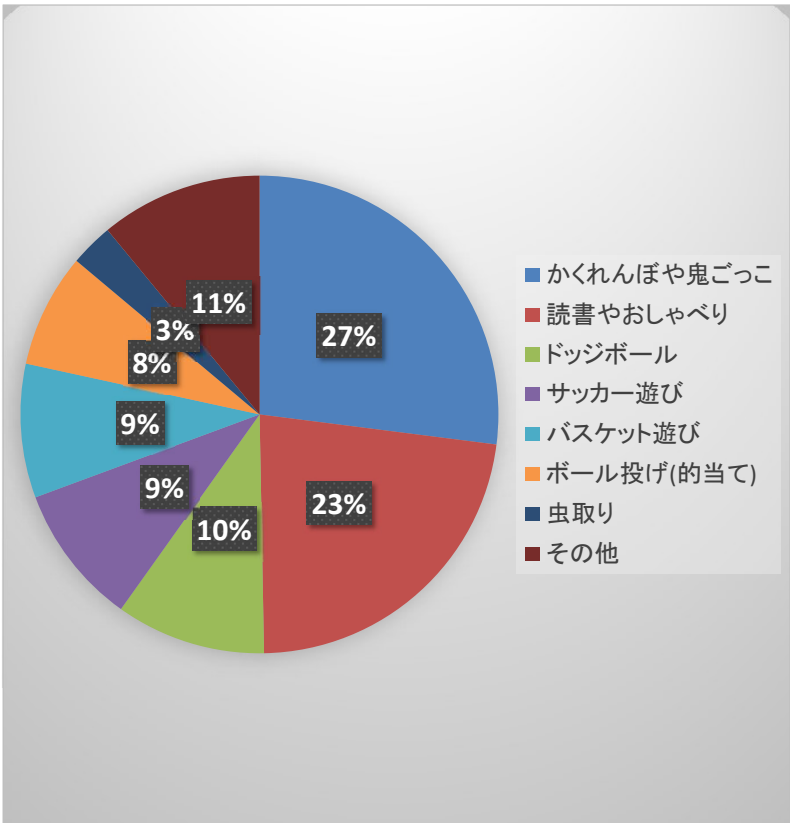
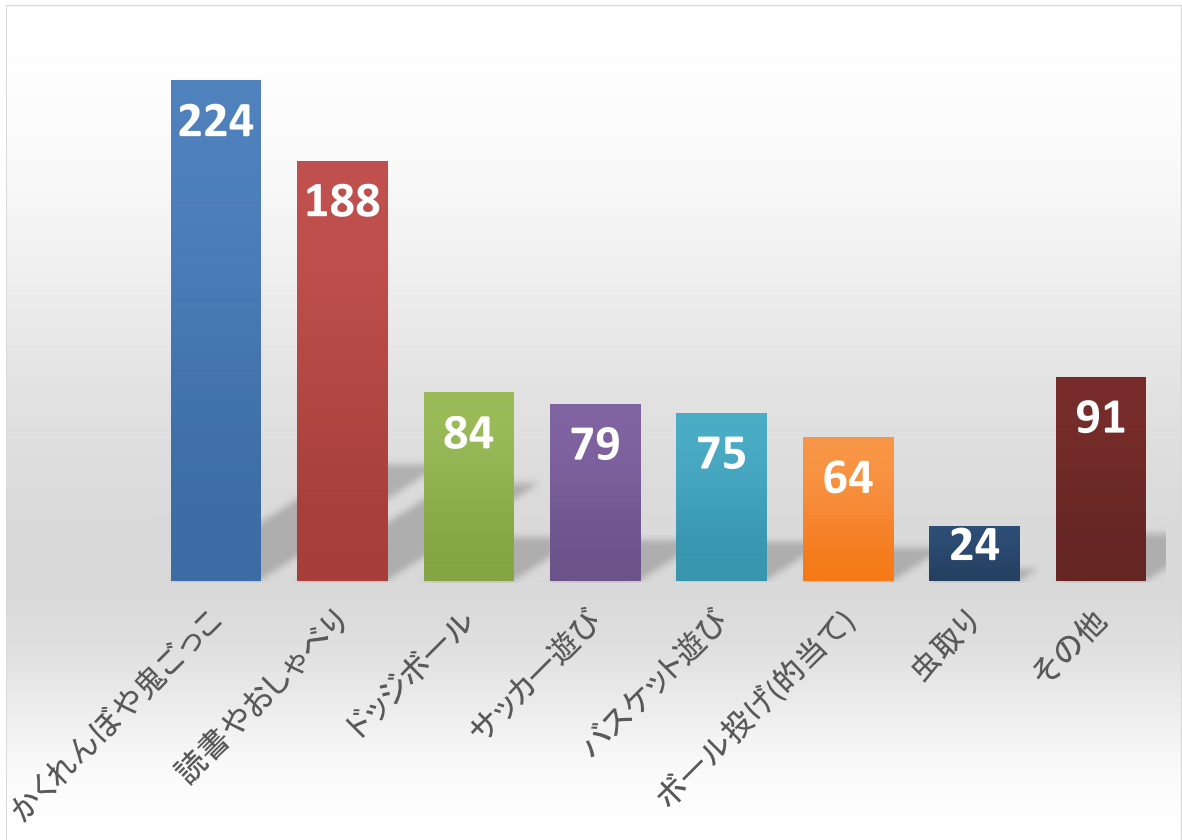


その他、意見がありましたら自由に書いてください。

新田さくら公園生きものふれあい広場に関するアンケート 結果

アンケート調査日： 令和3年11月19日(金)
調査対象者： 新田学園 5年生、6年生
回答者数： 5年生223名 6年生210名 合計433名
総票数： 829票(ひとり2票まで)

この広場ではどんなふうに遊びたいですか



新田さくら公園生きものふれあい広場 改修方針（案）

◆アンケート結果

新田学園5, 6年生433名に行ったアンケートでは、どんなふうに遊びたいかという質問に、約半数が「かくれんぼや鬼ごっこ」、「読書やおしゃべり」と回答している。

◆整備方針

東側にあるボール遊び広場との差別化を図るため、アンケート結果をもとに多様な使い方ができる広場を整備する。

- ・かくれんぼや鬼ごっこの楽しみ方が広がるよう、石積みの起伏や樹木は残す。
- ・読書やおしゃべりが楽しめるテーブルやベンチを整備。
- ・鬼ごっこやドッジボール遊びなど、様々な用途に使用できる真砂土舗装広場を整備する。

◆現状の石積みや樹木



- ・かくれんぼ等の遊びに活用できるように石積みや樹木を残す。

◆真砂土舗装広場(イメージ)

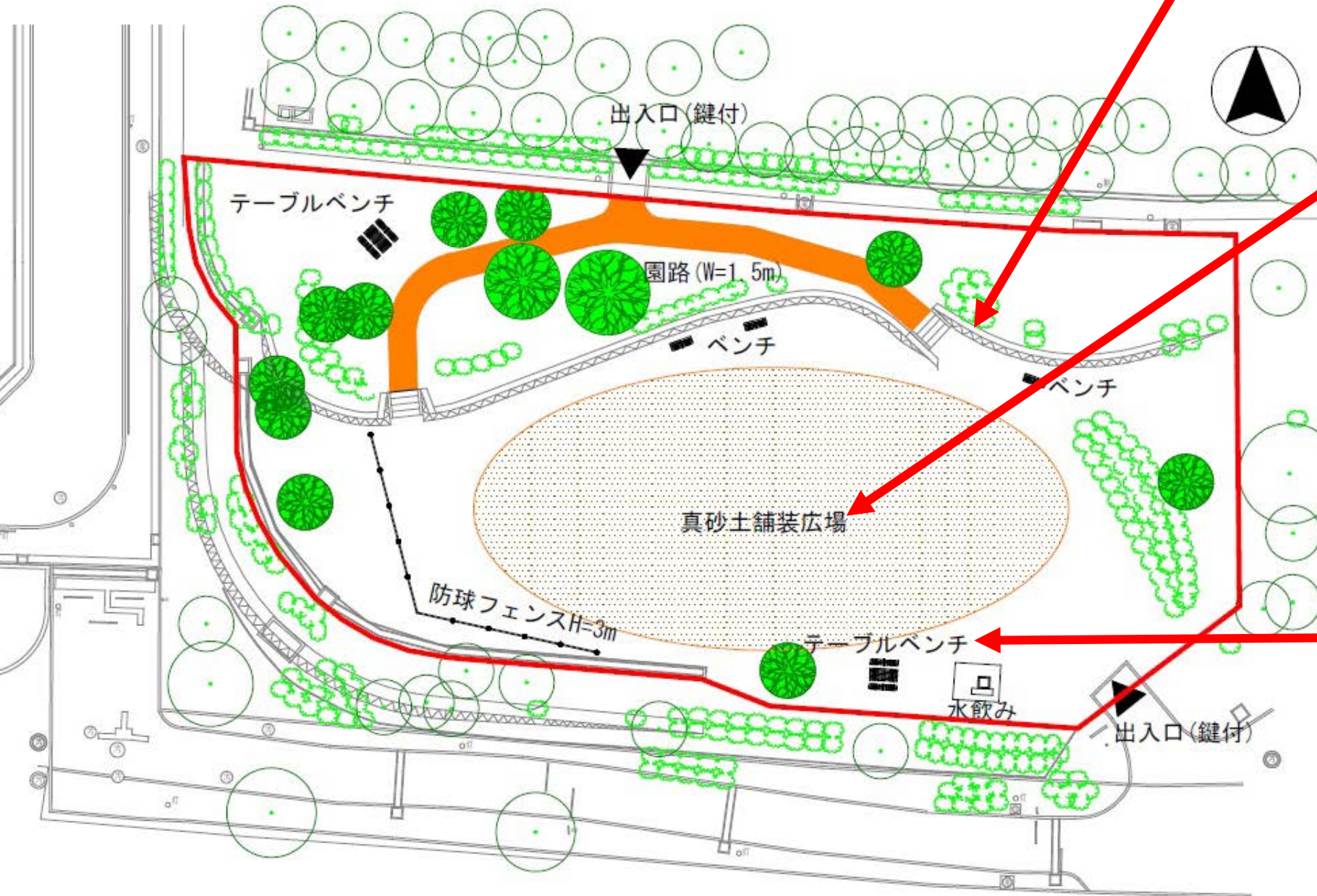


- ・鬼ごっこやドッジボールなど、多目的に使える真砂土舗装広場を整備。

◆テーブルベンチ(イメージ)



- ・読書やおしゃべりに使えるテーブルやベンチを設置。



教 育 委 員 会 報 告

令和4年1月13日

件 名	「足立区子ども・子育て支援事業計画」の令和2年度評価について																						
所管部課名	子ども家庭部子ども政策課																						
内 容	<p>第2期「足立区子ども・子育て支援事業計画」策定後、初めての実績及び評価を、別添資料2のとおり施策評価表として取りまとめたので報告する。なお、第1期計画は各事業の評価に留まったが、第2期計画では、各事業をまとめた施策の評価に変更している。</p> <p>1 評価の方法</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;"></th> <th style="width: 45%;">評価者(機関)</th> <th style="width: 40%;">評価内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">1次評価</td> <td style="text-align: center;">担当課</td> <td style="text-align: center;">自己評価</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">2次評価</td> <td style="text-align: center;">子ども家庭部</td> <td style="text-align: center;">達成率、効果、 方向性</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">3次評価</td> <td style="text-align: center;">足立区地域保健福祉推進協議会 (子ども支援専門部会含む)</td> <td style="text-align: center;">外部評価</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 令和2年度施策毎の評価概要 (5点満点)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 85%; text-align: center;">施策群 1 家庭・地域と連携し、子どもの学びを支え育む</th> <th style="width: 15%; text-align: center;">総合評価</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> <p>【施策1-1】子どもの心身の健全な発達の支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 保健所の健康教室などが中止となり、食育に関する啓発が減ったが、HPに動画を掲載するなど工夫が見られ、支援を継続させた。 </td> <td style="text-align: center; vertical-align: middle;">4</td> </tr> <tr> <td> <p>【施策1-2】就学前からの学びの基礎づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ コロナ禍で、行事の中止や遊びの縮小など、子どもの経験の機会が減ったが、幼保小交流の継続のため、リモート会議を実施するなど、つなぎを意識した取り組みを行った。 </td> <td style="text-align: center; vertical-align: middle;">4</td> </tr> <tr> <td> <p>【施策1-3】特別な支援を要する子どもの状況に応じた支援の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 不安の強い保護者に対し、継続的に電話をしたり、適切に関係機関につなげるなど、状況に応じた支援を行った。 </td> <td style="text-align: center; vertical-align: middle;">5</td> </tr> <tr> <td> <p>【施策1-4】子どもが社会と関わる力を育むための成長支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ コロナ禍で対面事業が中止となったが、オンラインで体験教室を開催するなど、体験機会の充実を図った。 </td> <td style="text-align: center; vertical-align: middle;">4</td> </tr> </tbody> </table>		評価者(機関)	評価内容	1次評価	担当課	自己評価	2次評価	子ども家庭部	達成率、効果、 方向性	3次評価	足立区地域保健福祉推進協議会 (子ども支援専門部会含む)	外部評価	施策群 1 家庭・地域と連携し、子どもの学びを支え育む	総合評価	<p>【施策1-1】子どもの心身の健全な発達の支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 保健所の健康教室などが中止となり、食育に関する啓発が減ったが、HPに動画を掲載するなど工夫が見られ、支援を継続させた。 	4	<p>【施策1-2】就学前からの学びの基礎づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ コロナ禍で、行事の中止や遊びの縮小など、子どもの経験の機会が減ったが、幼保小交流の継続のため、リモート会議を実施するなど、つなぎを意識した取り組みを行った。 	4	<p>【施策1-3】特別な支援を要する子どもの状況に応じた支援の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 不安の強い保護者に対し、継続的に電話をしたり、適切に関係機関につなげるなど、状況に応じた支援を行った。 	5	<p>【施策1-4】子どもが社会と関わる力を育むための成長支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ コロナ禍で対面事業が中止となったが、オンラインで体験教室を開催するなど、体験機会の充実を図った。 	4
	評価者(機関)	評価内容																					
1次評価	担当課	自己評価																					
2次評価	子ども家庭部	達成率、効果、 方向性																					
3次評価	足立区地域保健福祉推進協議会 (子ども支援専門部会含む)	外部評価																					
施策群 1 家庭・地域と連携し、子どもの学びを支え育む	総合評価																						
<p>【施策1-1】子どもの心身の健全な発達の支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 保健所の健康教室などが中止となり、食育に関する啓発が減ったが、HPに動画を掲載するなど工夫が見られ、支援を継続させた。 	4																						
<p>【施策1-2】就学前からの学びの基礎づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ コロナ禍で、行事の中止や遊びの縮小など、子どもの経験の機会が減ったが、幼保小交流の継続のため、リモート会議を実施するなど、つなぎを意識した取り組みを行った。 	4																						
<p>【施策1-3】特別な支援を要する子どもの状況に応じた支援の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 不安の強い保護者に対し、継続的に電話をしたり、適切に関係機関につなげるなど、状況に応じた支援を行った。 	5																						
<p>【施策1-4】子どもが社会と関わる力を育むための成長支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ コロナ禍で対面事業が中止となったが、オンラインで体験教室を開催するなど、体験機会の充実を図った。 	4																						

(5点満点)

施策群 2 妊娠から出産・子育てまで切れ目なく支える	総合評価
【施策 2-1】 妊娠、出産、子育てへの切れ目のない支援の充実 <ul style="list-style-type: none">保育コンシェルジュで保育サービスだけでなく、育児の悩みを気軽に相談したり、適切に関係機関につなぐなど、必要な体制を整え、切れ目のない支援を行った。	5
【施策 2-2】 子育てと仕事の両立支援 <ul style="list-style-type: none">保育施設の待機児童は解消されたものの、学童保育室の待機児童は解消できなかった。今後は令和2年度に見直した整備計画により待機児童が解消されることを期待する。ワーク・ライフ・バランスを通じて、当事者だけでなく周りの人々の子育てに対する理解を深め、子育てしやすい環境を広げることは、継続的な意識づけが必要である。	3
【施策 2-3】 困難を抱える子育て家庭への支援と虐待の防止 <ul style="list-style-type: none">ひとり親家庭を対象とした給付金を積極的に周知し、活用を図ることで、雇用や暮らしの安定につながった。コロナ禍で、虐待予防講座が中止となった。今後は講座の実施方法を工夫し、虐待の発生予防に努めてもらいたい。	4
【施策 2-4】 安全・安心に子育てのできる生活環境の整備 <ul style="list-style-type: none">利用者の意見を丁寧に聞き、パークイノベーションの考え方に基づき公園を整備した。	5

3 外部評価委員の主な意見

足立区地域保健福祉推進協議会子ども支援専門部会で、以下のご意見をいただいた。

- コロナ禍で、施設等が工夫した支援について、今後も継続できるように次年度に向けて仕組みを整えてほしい。
例) リモート会議、オンライン体験教室など

4 中間見直しの見送りについて

当計画は令和2年度～6年度の5年計画で、子ども・子育て支援法により、計画期間の中間年に中間見直しが規定されている。しかしながら、国・都から今般の社会情勢を鑑み、一律に見直しを行うものではないとの見解が示されたため、見送ることとした。

今後の方針

- 外部評価意見については、コロナ禍において各事業が工夫した支援内容を継続していく。
- 年度毎に各施策の実績を評価し、改善を図っていく。
- 施策評価表については、2月から区ホームページで公表する。

教 育 委 員 会 報 告

令和4年1月13日

件 名	国の制度改正に伴う幼児教育・保育無償化対象施設の拡充について
所管部課名	子ども家庭部子ども政策課
内 容	<p>幼児教育・保育無償化の対象外となっている未就学施設について、国の制度改正により、令和3年度から一定の基準を満たしていれば補助金の支給が可能となった。</p> <p>無償化の主旨である、すべての子どもが質の高い幼児教育・保育を受ける機会の拡充にもつながり、区としても進めるべきものと判断されるため、今年度からの実施に向け検討を行う。</p> <p>1 事業概要</p> <p>(1) 名称 多様な集団活動事業の利用支援事業</p> <p>(2) 対象施設</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 各種外国人学校 ・ 地域の神社、寺、教会等が地域の子どもを集めて集団活動を行う施設 ・ 有志で創設した幼児施設 等 <p style="padding-left: 40px;">(例) インターナショナルスクール、韓国学校幼稚部、朝鮮初中級学校幼稚部 等</p> <p>(3) 対象経費 対象施設を利用する満3歳以上の幼児の保護者が支払う保育料</p> <p>(4) 基準額・支給方法・実施時期</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 幼児1人当たり月額最大2万円まで保護者へ直接給付 ・ 令和3年度4月分から遡及支給 <p>(5) 負担割合 国、都、区 各1/3</p> <p>(6) 対象施設等の基準</p> <p>職員 有資格者3分の1以上（幼稚園教諭、保育士、看護師）</p> <p>配置基準 3歳児 20：1、4歳児以上 30：1 また、2人を下回ってはならない。</p> <p>開所時間 概ね、1日4時間以上8時間未満、週5日以上、年間39週以上</p> <p style="text-align: right;">等</p>

(7) 他区の状況

実施(予定含)	7区	中央、港、世田谷、渋谷、豊島、北、荒川
実施検討中	9区	台東、墨田、江東、品川、目黒、大田、中野、杉並、練馬
当面の間実施しない	6区	千代田、新宿、文京、板橋、葛飾、江戸川

2 関連する補助制度(外国人学校児童・生徒保護者補助金)の見直しについて

(1) 制度背景

- ・ 昭和60年の第4回定例会で関連する請願が採択され、平成3年第1回定例会で決議・可決
- ・ 平成4年4月1日から区単独補助で事業開始
- ・ 開始以降30年が経過し、この間、社会情勢は大きく変化していることから、現状分析のうえ、補助額や所得制限等、本制度の見直しについて検討開始

(2) 制度概要

名 称	足立区外国人学校児童・生徒の保護者に対する負担軽減補助金
根拠法令	区要綱
対 象	義務教育相当の児童・生徒
対象人数	166人(令和2年度実績)
補助金額	月額上限6,000円
負担割合	区 10/10(単独補助)

(3) 課税状況調査

ア 現状分析にあたり、同意いただいた世帯について、課税状況調査を実施(同意率44.4%)

イ 所得分布状況

- ・ 世帯年収960万円以上の階層が約1割
- ・ 最多階層は、世帯年収310万円から660万円

(4) 所得制限導入区

4区(港、新宿、中野、杉並)

(5) 各区補助額

月額補助額		区名
6,000円	4区	千代田、新宿、豊島、足立
7,000円	7区	港、台東、品川、杉並、北、荒川、練馬、
7,300円	1区	文京
8,000円	7区	中央、江東、目黒、世田谷、渋谷、中野、江戸川
8,500円	1区	板橋
9,500円	1区	墨田
10,000円	1区	葛飾
11,000円	1区	大田

今後の方針

- 1 多様な集団活動事業の利用支援事業**
対象人数等を確認のうえ、3月補正予算に計上し、議決が得られた際には、令和3年4月分から遡及し実施予定
- 2 外国人学校児童・生徒保護者補助金**
課税状況調査結果や他区の実施状況等を参考とし、月額補助額や所得制限等、制度の見直しについて検討する。

教 育 委 員 会 報 告

令和4年1月13日

件 名	足立区待機児童解消アクション・プランの改定について																																																																																																																																																																																																																																																																														
所管部課名	子ども家庭部 私立保育園課、待機児ゼロ対策担当課 子ども政策課、子ども施設指導・支援担当課、 子ども施設運営課、子ども施設入園課																																																																																																																																																																																																																																																																														
内 容	<p>「足立区待機児童解消アクション・プラン」(以下、「計画」という。)の改定版(令和3年度版)を作成したので報告する。</p> <p>改定にあたっては、待機児童ゼロの継続を目指して、以下の取り組みについて、変更を行った。</p> <p>1 保育需要予測の見直し(「別添資料3」P8~11参照)</p> <p>社会状況の変化を適切に反映するため、待機児ゼロ対策担当課独自の人口推計(以下、独自推計)により、前計画(令和3年3月)の保育需要予測を見直した。</p> <p>見直しの結果、令和6年度までに必要な保育定員数はすでに確保できている一方、定員の空きは増加が予測される。</p> <p>◇ 足立区人口推計(令和2年2月改定)と独自推計の比較 (単位:人)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">令和3年4月1日</th> <th colspan="3">令和4年4月1日</th> <th colspan="3">令和5年4月1日</th> <th colspan="3">令和6年4月1日</th> </tr> <tr> <th>3~5 歳児</th> <th>1~2 歳児</th> <th>0 歳児</th> <th>3~5 歳児</th> <th>1~2 歳児</th> <th>0 歳児</th> <th>3~5 歳児</th> <th>1~2 歳児</th> <th>0 歳児</th> <th>3~5 歳児</th> <th>1~2 歳児</th> <th>0 歳児</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>足立区人口推計 (低位) ① ※ 各年1月1日</td> <td>15,488</td> <td>10,074</td> <td>5,077</td> <td>15,065</td> <td>10,123</td> <td>5,012</td> <td>14,941</td> <td>10,025</td> <td>4,946</td> <td>14,882</td> <td>9,904</td> <td>4,880</td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="3">30,639</td> <td colspan="3">30,200</td> <td colspan="3">29,912</td> <td colspan="3">29,666</td> </tr> <tr> <td>独自推計 ② ※ 令和3年は実人口</td> <td>14,959</td> <td>9,294</td> <td>4,341</td> <td>14,603</td> <td>8,814</td> <td>4,341</td> <td>14,149</td> <td>8,682</td> <td>4,341</td> <td>13,635</td> <td>8,682</td> <td>4,341</td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="3">28,594</td> <td colspan="3">27,758</td> <td colspan="3">27,172</td> <td colspan="3">26,658</td> </tr> <tr> <td>差 ③-①</td> <td>-529</td> <td>-780</td> <td>-736</td> <td>-462</td> <td>-1,309</td> <td>-671</td> <td>-792</td> <td>-1,343</td> <td>-605</td> <td>-1,247</td> <td>-1,222</td> <td>-539</td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="3">-2,045</td> <td colspan="3">-2,442</td> <td colspan="3">-2,740</td> <td colspan="3">-3,008</td> </tr> </tbody> </table> <p>◇ 見直し後の保育需要数と保育定員数の見込み (単位:人)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="3"></th> <th colspan="3">実績</th> <th colspan="9">見込み</th> </tr> <tr> <th colspan="3">令和3年4月1日</th> <th colspan="3">令和4年4月1日</th> <th colspan="3">令和5年4月1日</th> <th colspan="3">令和6年4月1日</th> </tr> <tr> <th>3~5 歳児</th> <th>1~2 歳児</th> <th>0 歳児</th> <th>3~5 歳児</th> <th>1~2 歳児</th> <th>0 歳児</th> <th>3~5 歳児</th> <th>1~2 歳児</th> <th>0 歳児</th> <th>3~5 歳児</th> <th>1~2 歳児</th> <th>0 歳児</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>保育需要数 (A)</td> <td>7,686</td> <td>5,545</td> <td>1,096</td> <td>7,950</td> <td>5,335</td> <td>1,129</td> <td>7,754</td> <td>5,331</td> <td>1,138</td> <td>7,536</td> <td>5,369</td> <td>1,136</td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="3">14,327</td> <td colspan="3">14,414</td> <td colspan="3">14,223</td> <td colspan="3">14,041</td> </tr> <tr> <td>保育定員数 (B)</td> <td>9,349</td> <td>6,046</td> <td>1,466</td> <td>9,316</td> <td>6,004</td> <td>1,462</td> <td>9,280</td> <td>5,983</td> <td>1,461</td> <td>9,280</td> <td>5,975</td> <td>1,461</td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="3">16,861</td> <td colspan="3">16,782</td> <td colspan="3">16,724</td> <td colspan="3">16,716</td> </tr> <tr> <td>過不足 (B)-(A)</td> <td>1,663</td> <td>501</td> <td>370</td> <td>1,366</td> <td>669</td> <td>333</td> <td>1,526</td> <td>652</td> <td>323</td> <td>1,744</td> <td>606</td> <td>325</td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="3">2,534</td> <td colspan="3">2,368</td> <td colspan="3">2,501</td> <td colspan="3">2,675</td> </tr> <tr> <td>見直し前の 保育需要数 (D)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>7,984</td> <td>5,867</td> <td>1,243</td> <td>7,995</td> <td>5,877</td> <td>1,235</td> <td>8,037</td> <td>5,864</td> <td>1,211</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td colspan="3">15,094</td> <td colspan="3">15,107</td> <td colspan="3">15,112</td> </tr> <tr> <td>見直し前との差 (A)-(D)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>-34</td> <td>-532</td> <td>-114</td> <td>-241</td> <td>-546</td> <td>-97</td> <td>-501</td> <td>-495</td> <td>-75</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td colspan="3">-680</td> <td colspan="3">-884</td> <td colspan="3">-1,071</td> </tr> </tbody> </table>		令和3年4月1日			令和4年4月1日			令和5年4月1日			令和6年4月1日			3~5 歳児	1~2 歳児	0 歳児	3~5 歳児	1~2 歳児	0 歳児	3~5 歳児	1~2 歳児	0 歳児	3~5 歳児	1~2 歳児	0 歳児	足立区人口推計 (低位) ① ※ 各年1月1日	15,488	10,074	5,077	15,065	10,123	5,012	14,941	10,025	4,946	14,882	9,904	4,880		30,639			30,200			29,912			29,666			独自推計 ② ※ 令和3年は実人口	14,959	9,294	4,341	14,603	8,814	4,341	14,149	8,682	4,341	13,635	8,682	4,341		28,594			27,758			27,172			26,658			差 ③-①	-529	-780	-736	-462	-1,309	-671	-792	-1,343	-605	-1,247	-1,222	-539		-2,045			-2,442			-2,740			-3,008				実績			見込み									令和3年4月1日			令和4年4月1日			令和5年4月1日			令和6年4月1日			3~5 歳児	1~2 歳児	0 歳児	3~5 歳児	1~2 歳児	0 歳児	3~5 歳児	1~2 歳児	0 歳児	3~5 歳児	1~2 歳児	0 歳児	保育需要数 (A)	7,686	5,545	1,096	7,950	5,335	1,129	7,754	5,331	1,138	7,536	5,369	1,136		14,327			14,414			14,223			14,041			保育定員数 (B)	9,349	6,046	1,466	9,316	6,004	1,462	9,280	5,983	1,461	9,280	5,975	1,461		16,861			16,782			16,724			16,716			過不足 (B)-(A)	1,663	501	370	1,366	669	333	1,526	652	323	1,744	606	325		2,534			2,368			2,501			2,675			見直し前の 保育需要数 (D)				7,984	5,867	1,243	7,995	5,877	1,235	8,037	5,864	1,211					15,094			15,107			15,112			見直し前との差 (A)-(D)				-34	-532	-114	-241	-546	-97	-501	-495	-75					-680			-884			-1,071		
	令和3年4月1日			令和4年4月1日			令和5年4月1日			令和6年4月1日																																																																																																																																																																																																																																																																					
	3~5 歳児	1~2 歳児	0 歳児	3~5 歳児	1~2 歳児	0 歳児	3~5 歳児	1~2 歳児	0 歳児	3~5 歳児	1~2 歳児	0 歳児																																																																																																																																																																																																																																																																			
足立区人口推計 (低位) ① ※ 各年1月1日	15,488	10,074	5,077	15,065	10,123	5,012	14,941	10,025	4,946	14,882	9,904	4,880																																																																																																																																																																																																																																																																			
	30,639			30,200			29,912			29,666																																																																																																																																																																																																																																																																					
独自推計 ② ※ 令和3年は実人口	14,959	9,294	4,341	14,603	8,814	4,341	14,149	8,682	4,341	13,635	8,682	4,341																																																																																																																																																																																																																																																																			
	28,594			27,758			27,172			26,658																																																																																																																																																																																																																																																																					
差 ③-①	-529	-780	-736	-462	-1,309	-671	-792	-1,343	-605	-1,247	-1,222	-539																																																																																																																																																																																																																																																																			
	-2,045			-2,442			-2,740			-3,008																																																																																																																																																																																																																																																																					
	実績			見込み																																																																																																																																																																																																																																																																											
	令和3年4月1日			令和4年4月1日			令和5年4月1日			令和6年4月1日																																																																																																																																																																																																																																																																					
	3~5 歳児	1~2 歳児	0 歳児	3~5 歳児	1~2 歳児	0 歳児	3~5 歳児	1~2 歳児	0 歳児	3~5 歳児	1~2 歳児	0 歳児																																																																																																																																																																																																																																																																			
保育需要数 (A)	7,686	5,545	1,096	7,950	5,335	1,129	7,754	5,331	1,138	7,536	5,369	1,136																																																																																																																																																																																																																																																																			
	14,327			14,414			14,223			14,041																																																																																																																																																																																																																																																																					
保育定員数 (B)	9,349	6,046	1,466	9,316	6,004	1,462	9,280	5,983	1,461	9,280	5,975	1,461																																																																																																																																																																																																																																																																			
	16,861			16,782			16,724			16,716																																																																																																																																																																																																																																																																					
過不足 (B)-(A)	1,663	501	370	1,366	669	333	1,526	652	323	1,744	606	325																																																																																																																																																																																																																																																																			
	2,534			2,368			2,501			2,675																																																																																																																																																																																																																																																																					
見直し前の 保育需要数 (D)				7,984	5,867	1,243	7,995	5,877	1,235	8,037	5,864	1,211																																																																																																																																																																																																																																																																			
				15,094			15,107			15,112																																																																																																																																																																																																																																																																					
見直し前との差 (A)-(D)				-34	-532	-114	-241	-546	-97	-501	-495	-75																																																																																																																																																																																																																																																																			
				-680			-884			-1,071																																																																																																																																																																																																																																																																					

2 待機児童ゼロの継続と定員の空き対策（「別添資料3」P14～33 参照）

定員の空きの分析では、年間通して利用の見込がない定員が、主に3～5歳児で発生している。

(1) 区立保育施設の入所定員抑制（「別添資料3」P17～18 参照）

抑制反映後の保育定員数が保育需要数を下回らないよう、地域ごとの保育需要の状況を踏まえて実施していく。

◇ 区立保育施設（直営園）の入所定員抑制予定数（令和6年度まで）

（単位：人）

	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計
令和3年までの抑制数	0	0	▲ 29	▲ 16	▲ 21	▲ 16	▲ 82
令和4年入所抑制数	0	▲ 23	▲ 33	▲ 27	▲ 20	▲ 16	▲ 119
令和5年入所抑制数	0	0	▲ 81	▲ 31	▲ 35	▲ 20	▲ 167
令和6年入所抑制数	0	0	0	▲ 78	▲ 34	▲ 35	▲ 147
累計	0	▲ 23	▲ 143	▲ 152	▲ 110	▲ 87	▲ 515

(2) 私立認可保育所の建替え等計画（「別添資料3」P19～20 参照）

私立認可保育所の建替え等の実施に際し、保育需要を勘案した定員設定を行っていく。

◇ 私立認可保育所の建替え等の計画（令和2年度～）

変更日 (整備年度)	園名	地域	地域名	認可定員数(人)		定員変更内容(人)			
				変更前	変更後	0歳児	1・2歳児	3～5歳児	計
R4.4.1 (R2～3)	ナーサリースクール いずみ大谷田	4	佐野地域	109	114	-1	7	-1	5
R4.4.1 (R2～3)	西新井保育園	7	西新井・島根地域	134	129	6	4	-15	-5
R4.4.1 (R3～4)	島根いちい保育園	7	西新井・島根地域	115	110	6	4	-15	-5
計3施設				358	353	11	15	-31	-5

これらに加えて、小規模保育・家庭的保育の利用促進などの多様な保育サービスの充実や、大規模集合住宅建設時の保育施設の設置協議等の取り組みを引き続き実施していくことで、今後も待機児童ゼロの継続を図っていく。

今後の方針 令和4年4月の保育の利用状況や、区立保育施設の建替え及び改修計画である「施設更新計画」を盛り込み、令和4年度夏を目途に「足立区待機児童解消アクション・プラン」の改定を行う。

教 育 委 員 会 報 告

令和4年1月13日

件 名	いづみ保育園への対応状況について																																										
所管部課名	子ども家庭部 私立保育園課、子ども施設入園課、 子ども施設指導・支援担当課																																										
内 容	<p>保育士の大量退職により令和4年度から受け入れ児童数を縮小する、いづみ保育園（以下「園」という。）にかかる対応状況について報告する。</p> <p>1 在籍児の転園申込状況について</p> <p style="text-align: right;">(単位：人)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;"></th> <th style="width: 12.5%;">0歳児</th> <th style="width: 12.5%;">1歳児</th> <th style="width: 12.5%;">2歳児</th> <th style="width: 12.5%;">3歳児</th> <th style="width: 12.5%;">4歳児</th> <th style="width: 12.5%;">5歳児</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>在園児数 (11月1日現在)</td> <td>11</td> <td>12</td> <td>12</td> <td>11</td> <td>11</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>12月 転園児数</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>0</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>1月 転園児数</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>4月転園 申込数</td> <td>11</td> <td>11</td> <td>10</td> <td>9</td> <td>10</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>転園申込 未提出者数</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 転園申込未提出者のうち、1歳児（新2歳児）は令和4年度も継続保育が可能。2歳児（新3歳児）は幼稚園を利用することが決まっている。</p> <p>転園申込者は原則、第1希望から第5希望のいずれかに転園できるよう利用調整を実施し、預け先を確保していく。</p> <p>2 保育の状況について</p> <p>以下の日程で区保育士が園を訪問し、保育の実施状況の確認を行った。</p> <p>(1) 訪問日(12月末時点における実績)</p> <p style="padding-left: 20px;">11月22日(月)・24日(水)・26日(金)</p> <p style="padding-left: 20px;">12月6日(月)・22日(水)</p> <p>(2) 所見</p> <p style="padding-left: 20px;">今回の件により園児・保育士共に大きな混乱はなく、通常どおり安定した保育が提供されていた。</p>		0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	在園児数 (11月1日現在)	11	12	12	11	11	12	12月 転園児数	0	0	1	2	0	—	1月 転園児数	0	0	0	0	1	—	4月転園 申込数	11	11	10	9	10	—	転園申込 未提出者数	0	1	1	0	0	—
	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児																																					
在園児数 (11月1日現在)	11	12	12	11	11	12																																					
12月 転園児数	0	0	1	2	0	—																																					
1月 転園児数	0	0	0	0	1	—																																					
4月転園 申込数	11	11	10	9	10	—																																					
転園申込 未提出者数	0	1	1	0	0	—																																					

3 保育士の確保について

12月24日に法人から、常勤保育士の確保数（見込み）が、4人とどまっているとの報告があった。

保育士の種別	勤務時間等	令和4年度 必要保育士数	確保状況
常勤保育士	1日6時間以上・ 月20日以上勤務等	9人	4人 (5人不足)
非常勤保育士	上記以外	3人	3人

※ 育休等で休職の職員を除く。

※ 常勤保育士には、みなし保育士（看護師）1人を含む。

法人に対して、令和4年度に認可保育所の運営が可能であるか1月中の回答を求めている。

4 大量退職の原因調査について（報告期限：12月24日）

12月23日に法人から、報告期限を1月末に猶予してほしいと申し出があった。

（1）報告が間に合わなかった理由

- ・ 労働者の人権に配慮し、かつ公平な調査を実施できるヒアリング実施者の人選に難航したため。
- ・ 繁忙が見込まれる年末年始に職員のヒアリングを実施することが困難であったため。

（2）法人の原因調査

- ・ 1月15日（土）に、法人から依頼を受けた弁護士が退職者ヒアリングを実施する予定である。

1月末までに確実に報告が提出されるよう法人の進捗状況を確認していく。また、法人の調査結果の報告を受け、区としても原因調査を実施する予定である。

今後の方針

今後も適切な保育が提供され、子どもたちを安心して預けられるよう、適宜、園を訪問し、状況確認や園の相談支援など、必要な対応を行っていく。

令和4年度以降の保育の継続については、同園で安全な保育が提供できることが条件となるため、保育士確保の状況確認を徹底していく。

教 育 委 員 会 報 告

令和4年1月13日

件 名	令和4年4月保育施設利用申込受付状況及び保育コンシェルジュ利用状況について																																																																				
所管部課名	子ども家庭部子ども施設入園課																																																																				
内 容	<p>令和4年4月保育施設（認可保育所・認定こども園・小規模保育・家庭的保育(保育ママ)）利用申込の受付状況及び保育コンシェルジュの利用状況について、以下のとおり報告する。</p> <p>1 令和4年4月保育施設利用申込受付状況</p> <p>(1) 利用申込数 (人)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin: 10px 0;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;"></th> <th style="width: 10%; text-align: center;">年月</th> <th style="width: 15%; text-align: center;">令和3年 4月分</th> <th style="width: 15%; text-align: center;">令和4年 4月分</th> <th style="width: 10%; text-align: center;">増減</th> <th style="width: 15%; text-align: center;">前年比</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">申込状況</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">利用申込(受付期間中)【A】</td> <td style="text-align: center;">2,561</td> <td style="text-align: center;">2,588</td> <td style="text-align: center;">27</td> <td style="text-align: center;">101.1%</td> </tr> <tr> <td rowspan="5" style="text-align: center; vertical-align: middle;">内 訳</td> <td>子ども施設入園課窓口</td> <td style="text-align: center;">1,699</td> <td style="text-align: center;">1,711</td> <td style="text-align: center;">12</td> <td style="text-align: center;">100.7%</td> </tr> <tr> <td>電子申請</td> <td style="text-align: center;">—</td> <td style="text-align: center;">543</td> <td style="text-align: center;">543</td> <td style="text-align: center;">皆増</td> </tr> <tr> <td>郵送</td> <td style="text-align: center;">105</td> <td style="text-align: center;">334</td> <td style="text-align: center;">229</td> <td style="text-align: center;">318.1%</td> </tr> <tr> <td>福祉課</td> <td style="text-align: center;">333</td> <td style="text-align: center;">—</td> <td style="text-align: center;">△333</td> <td style="text-align: center;">皆減</td> </tr> <tr> <td>保育施設</td> <td style="text-align: center;">424</td> <td style="text-align: center;">—</td> <td style="text-align: center;">△424</td> <td style="text-align: center;">皆減</td> </tr> <tr> <td colspan="2">審査継続分【B】</td> <td style="text-align: center;">997</td> <td style="text-align: center;">978</td> <td style="text-align: center;">△19</td> <td style="text-align: center;">98.1%</td> </tr> <tr> <td colspan="2">先行利用調整申込【C】</td> <td style="text-align: center;">110</td> <td style="text-align: center;">142</td> <td style="text-align: center;">32</td> <td style="text-align: center;">129.1%</td> </tr> <tr> <td colspan="2">利用申込合計【A+B+C】</td> <td style="text-align: center;">3,668</td> <td style="text-align: center;">3,708</td> <td style="text-align: center;">40</td> <td style="text-align: center;">101.1%</td> </tr> <tr> <td colspan="2">募集人数(令和4年は予定)</td> <td style="text-align: center;">4,402</td> <td style="text-align: center;">4,053</td> <td style="text-align: center;">△349</td> <td style="text-align: center;">92.1%</td> </tr> </tbody> </table> <p style="margin-top: 10px;">(注)【B】：10月～1月入所希望受付分のうち、待機のため令和4年4月の審査に継続するもの 【C】：小規模保育、保育ママの卒園児を対象とした先行申込</p> <p>※ 上記人数は、転園、区外からの入園、区外保育施設との併願を含む。</p>		年月	令和3年 4月分	令和4年 4月分	増減	前年比	申込状況						利用申込(受付期間中)【A】		2,561	2,588	27	101.1%	内 訳	子ども施設入園課窓口	1,699	1,711	12	100.7%	電子申請	—	543	543	皆増	郵送	105	334	229	318.1%	福祉課	333	—	△333	皆減	保育施設	424	—	△424	皆減	審査継続分【B】		997	978	△19	98.1%	先行利用調整申込【C】		110	142	32	129.1%	利用申込合計【A+B+C】		3,668	3,708	40	101.1%	募集人数(令和4年は予定)		4,402	4,053	△349	92.1%
	年月	令和3年 4月分	令和4年 4月分	増減	前年比																																																																
申込状況																																																																					
利用申込(受付期間中)【A】		2,561	2,588	27	101.1%																																																																
内 訳	子ども施設入園課窓口	1,699	1,711	12	100.7%																																																																
	電子申請	—	543	543	皆増																																																																
	郵送	105	334	229	318.1%																																																																
	福祉課	333	—	△333	皆減																																																																
	保育施設	424	—	△424	皆減																																																																
審査継続分【B】		997	978	△19	98.1%																																																																
先行利用調整申込【C】		110	142	32	129.1%																																																																
利用申込合計【A+B+C】		3,668	3,708	40	101.1%																																																																
募集人数(令和4年は予定)		4,402	4,053	△349	92.1%																																																																

(2) 年齢別申込数 (人)

年齢 年度	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計
令和3年度	1,063	1,484	559	453	80	29	3,668
令和4年度	1,061	1,533	448	535	93	38	3,708
増減	△2	49	△111	82	13	9	40

0歳から5歳すべての年齢で人口は減少している（下表のとおり）が、申込数は前年度とほぼ同じ水準であった。次の2点によりこれまで潜在していた保育需要が顕在化したと考えられる。

- ・ 新型コロナウイルス感染症の感染状況が落ち着いてきたこと
- ・ 待機児童ゼロの達成

【参考】年齢別人口 (人)

年齢 年月	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳
令和2年12月	4,544	4,585	4,908	4,910	5,080	5,276
令和3年12月	4,188	4,542	4,470	4,833	4,838	5,002
増減	△356	△43	△438	△77	△242	△274

2 電子申請の受付状況

- ・ 受付期間中の申込数のうち21%が電子申請による受付であった（継続等を含む申込全体では14.6%）。
- ・ 年齢別の申込数をみると0歳の申し込みが最も多かった。
乳幼児を窓口連れていく必要がないため、他の年齢層より利用が多かったと考えられる（下表のとおり）。

年齢 年度	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計
件数（件）	226	178	65	56	14	4	543
申込に占める割合（%）	21.3	11.6	14.5	10.5	15.1	10.5	14.6

- ・ 受付期間中に8件のシステムトラブルが検出されたが、その都度、ICT戦略推進担当課と連携の上、個別の対応を行い、受付を中止する等の大きな問題には発展しなかった。

3 保育コンシェルジュ利用状況

(1) 利用延人数 (4月1日～12月3日)

(人)

場所 年度	区役所	オンライン	出張相談 (※)	合計
令和2年度	1,645	—	257	1,902
令和3年度	1,621	339	172	2,132
増減	△24	皆増	△85	230

※ 出張先：子育てサロン、保健センター、福祉課
令和3年度は子育てサロンのみ

(2) 今後の方針

オンライン相談を利用した方の割合は全体の15.9%だった。今後については、オンライン回線を1から2に増設し、一日最大8組の相談に対応することで、コロナ禍における相談の機会の確保に努めていく。

今後の方針

利用調整結果については、令和4年2月8日頃に申請者へ通知する。利用調整後、空きが生じた場合は、追加利用調整を実施していく。

教 育 委 員 会 報 告

令和4年1月13日

件 名	こども支援センターげんき綾瀬教育相談係の一時移転について
所管部課名	こども支援センターげんき教育相談課
内 容	<p>勤労福祉会館の改修工事に伴う、こども支援センターげんき綾瀬教育相談係（チャレンジ学級綾瀬教室含む）の一時移転について、以下のとおり報告する。</p> <p>なお、勤労福祉会館の一時移転についてはP49～50参照</p> <p>1 移転期間 令和4年4月上旬から令和5年3月31日 ※ 勤労福祉会館の工事日程により、若干の前後あり。</p> <p>2 一時移転場所 (1) 綾瀬教育相談係（教育相談、スクールソーシャルワーカー） → こども支援センターげんき 所在地：足立区梅島三丁目28番8号 (2) チャレンジ学級綾瀬教室（不登校児童・生徒の学校以外の居場所） → 第6大室ビル（旧江戸一万来館） 所在地：足立区綾瀬四丁目10番6号 （地図はP49参照） ※ 授業内容やカリキュラムについては変更なし。</p>
今後の方針	教育相談の来所者に口頭で説明するとともに、あだち広報及び区ホームページ、SNSにて周知する。また、校長会において報告する。

足立区勤労福祉会館の一時移転について

1 概要

足立区勤労福祉会館の大規模改修工事に伴い、近隣民間施設を賃借して会館を一時移転する。

2 移転期間

令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

※ 区民利用は令和4年4月上旬頃から令和5年3月下旬頃までの予定

3 移転場所・建物利用・管理運営について

(1) 移転先住所

足立区綾瀬四丁目10番6号

※ 右図参照

(2) 移転先建物

第6大室ビル（3階建て）

(3) 建物賃貸借契約について

ア 契約期間 令和4年3月1日から令和5年3月31日まで

※ 令和4年3月は移転準備期間

イ 家賃 月額税込み 2,750,000円

ウ その他 建物東側の敷地（駐車スペース）は区で賃借せず、所有者側で活用が検討されている（有料駐車場等）。

(4) 建物の利用方法

ア 1階 会館事務室・チャレンジ学級等

イ 2階 貸室（区民利用）

ウ 3階 物品等保管

エ 各業務の移転先について



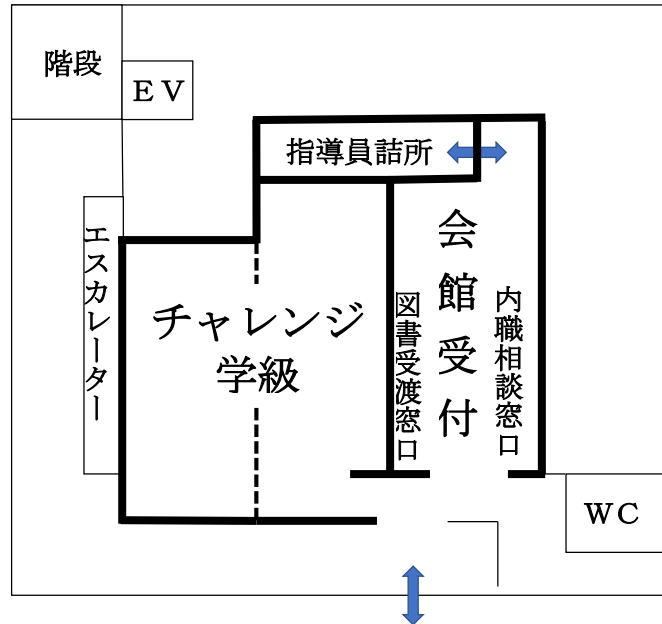
	業務（営業時間）	移転先	所管
1	勤労福祉会館 (午前 8:30～午後 9:30)	受付・事務室 1階 貸室 2階	産業経済部 企業経営支援課
2	綾瀬教育相談	※「こども支援センター げんき」に移転	こども支援センターげんき 教育相談課
3	チャレンジ学級綾瀬教室 (午前 8:30～午後 5:00)	1階	
4	図書受渡窓口 (午前 9:00～午後 8:00)	1階	地域のちから推進部 中央図書館
5	内職相談窓口 (午前 11:00～午後 4:00)	1階	産業経済部 企業経営支援課
6	路上喫煙防止 指導員詰所	1階	地域のちから推進部 地域調整課

(5) 管理運営

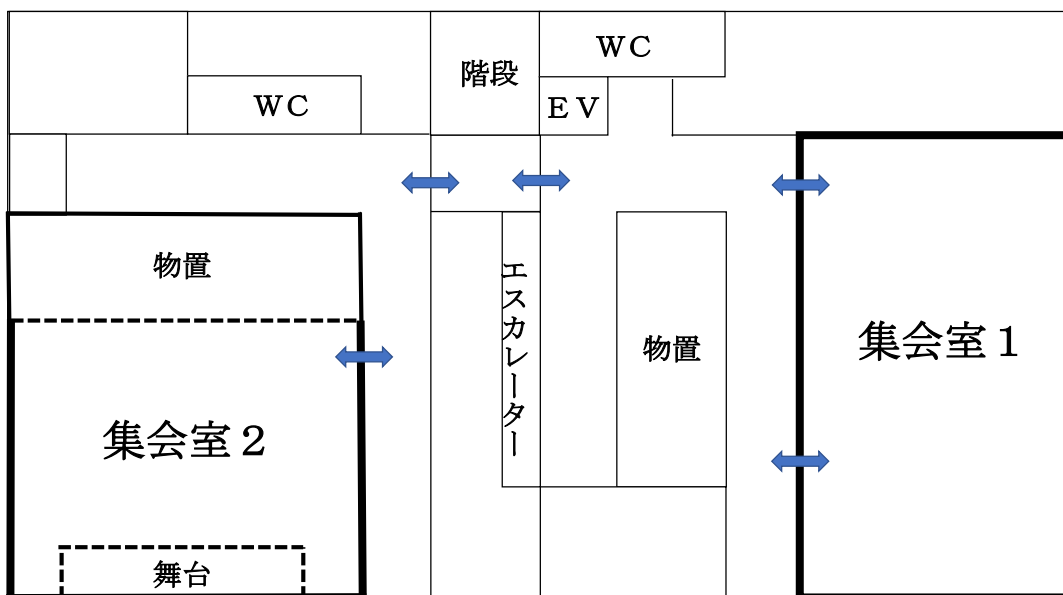
現在の指定管理者が引き続き管理運営を行う。

4 移転先の館内図面について

(1) 1階図面



(2) 2階図面



5 現会館の大規模改修について

(1) 主な工事内容

内装、空調設備、電気設備、照明設備、給排水設備、放送設備、電話設備

※ トイレは改修済みのため今回の工事には含まない。

(2) 工事期間 (予定)

令和4年4月から令和5年2月まで

教育委員会情報連絡

令和4年1月13日

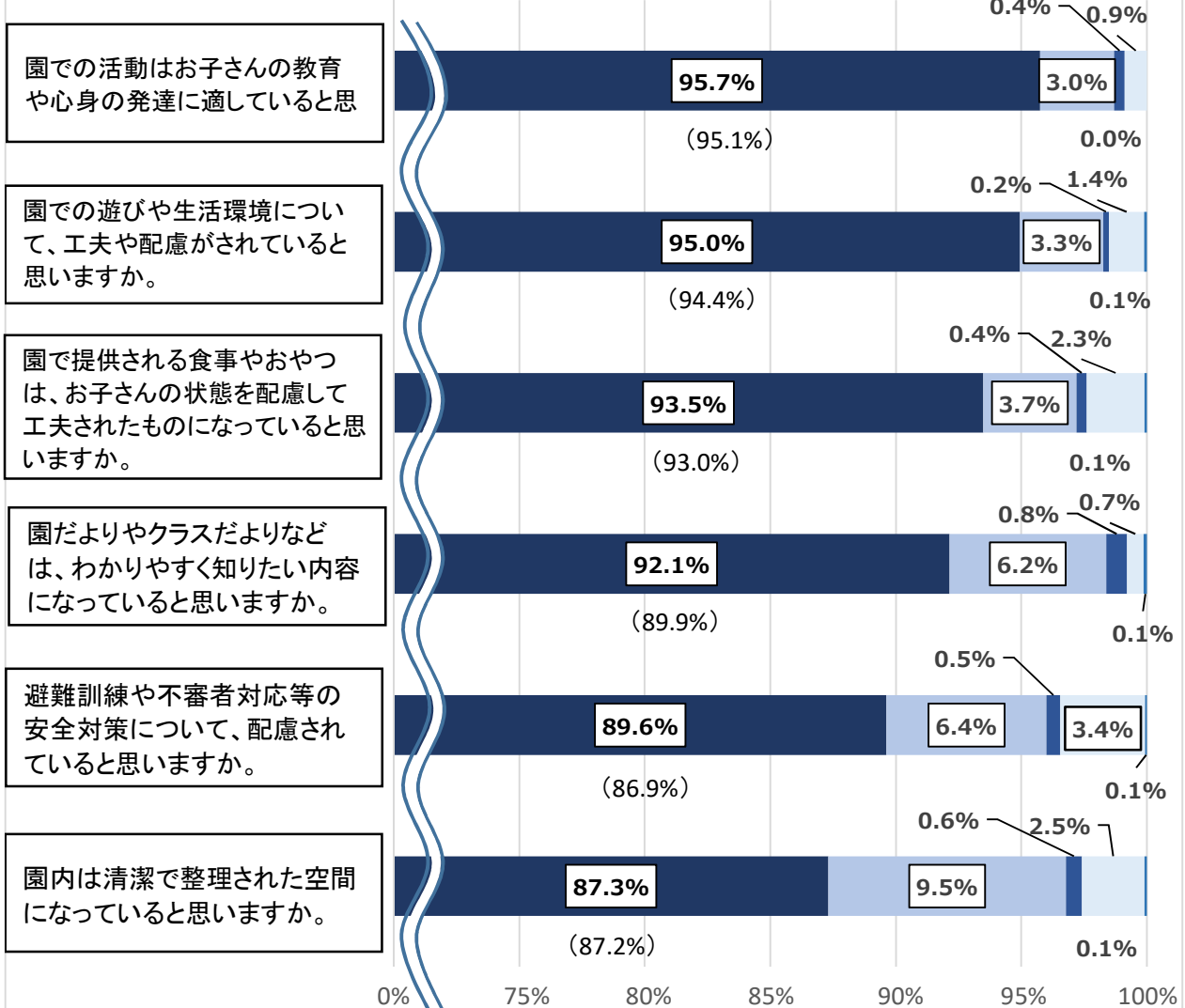
件名	令和4年度学力調査の実施予定について								
所管部課名	教育指導部学力定着推進課								
内 容	<p>児童・生徒の学習理解状況等を把握し、個に応じた学習指導と教員の授業改善につなげるため、学力調査を以下のとおり実施する。</p> <p>1 足立区調査「足立区学力定着に関する総合調査」</p> <p>実施予定日：令和4年4月14日（木） 対象学年：小学校 2年生～6年生 中学校 1年生～3年生 対象教科：小学校 国語、算数、意識調査 中学校 国語、数学、英語、意識調査</p> <p>2 全国調査「全国学力・学習状況調査」</p> <p>実施予定日：令和4年4月19日（火） 対象学年：小学校 6年生 中学校 3年生 対象教科：小学校 国語、算数、理科、質問紙調査 中学校 国語、数学、理科、質問紙調査</p> <p>3 東京都調査「児童・生徒の学力向上を図るための調査」</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 60%;">調査実施期間（※）</th> <th style="width: 40%;">対象学年</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和4年5月16日（月）から5月27日（金）まで</td> <td>小6及び中3</td> </tr> <tr> <td>5月30日（月）から6月10日（金）まで</td> <td>小5及び中2</td> </tr> <tr> <td>6月13日（月）から6月24日（金）まで</td> <td>小4及び中1</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 実施日は、実施期間の中で学校が設定する。 調査内容：小・中学校ともに意識調査のみ</p>	調査実施期間（※）	対象学年	令和4年5月16日（月）から5月27日（金）まで	小6及び中3	5月30日（月）から6月10日（金）まで	小5及び中2	6月13日（月）から6月24日（金）まで	小4及び中1
調査実施期間（※）	対象学年								
令和4年5月16日（月）から5月27日（金）まで	小6及び中3								
5月30日（月）から6月10日（金）まで	小5及び中2								
6月13日（月）から6月24日（金）まで	小4及び中1								
今後の方針									

教育委員会情報連絡

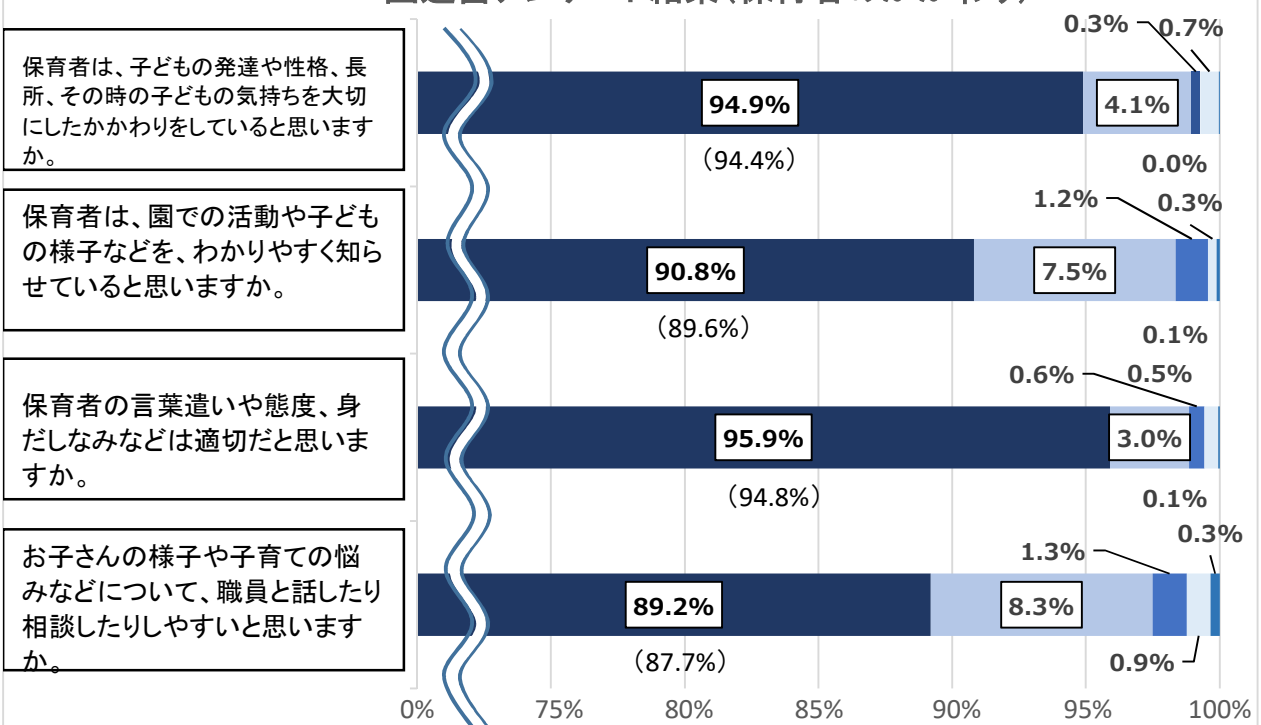
令和4年1月13日

件名	区立園における「園運営に関するアンケート」結果について
所管部課名	教育指導部就学前教育推進課
内容	<p>1 実施概要</p> <p>(1) 実施時期 令和3年10月上旬～10月中旬</p> <p>(2) 調査対象 区立園26園（第三者評価実施の5園は除外） 在園児保護者2,164名</p> <p>2 結果概要</p> <p>(1) 回収率 96%（対前年度比+9P）</p> <p>(2) 肯定的回答（全園平均、詳細はP53～55参照） 選択肢（「そう思う」「どちらともいえない」「そう思わない」「わからない」）のうち「そう思う」と回答した割合</p> <p>① 保育内容（ ）内は対前年度比</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 活動が子どもの教育や心身の発達に適している ⇒ 95.7% (+0.6P) ・ 遊びや生活環境が工夫・配慮されている ⇒ 95.0% (+0.6P) ・ 食事やおやつが配慮され工夫されている ⇒ 93.5% (+0.5P) ・ 園だよりなどがわかりやすい ⇒ 92.1% (+2.2P) ・ 安全対策に配慮されている ⇒ 89.6% (+2.7P) ・ 園内が清潔で整理されている ⇒ 87.3% (+0.1P) <p>② 保育者のかかわり（ ）内は対前年度比</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 子どもの発達や特性、気持ちを大切にしている ⇒ 94.9% (+0.5P) ・ 園での様子などをわかりやすく知らせている ⇒ 90.8% (+1.2P) ・ 言葉遣いや態度、身だしなみなどが適切である ⇒ 95.9% (+1.1P) ・ 職員と話したり相談したりしやすい ⇒ 89.2% (+1.5P) <p>(3) 特に低い評価（肯定的回答の割合が全園平均を10ポイント以上下回る）があった園及びその項目に対しては、就学前教育推進課において個別に詳細な状況を確認し、子ども施設運営課と連携して指導・支援を実施している。</p>
今後の方針	

園運営アンケート結果(保育内容)

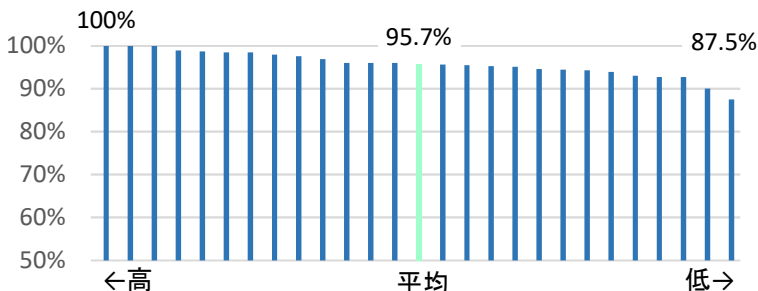


園運営アンケート結果(保育者のかかわり)



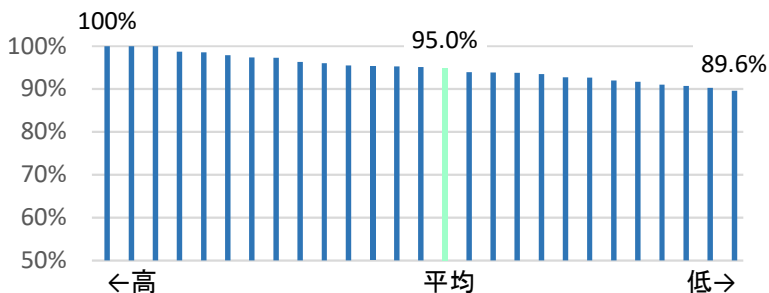
「そう思う」と回答した保護者の割合（各園別）

① 園での活動はお子さんの教育や心身の発達に適していると思いますか



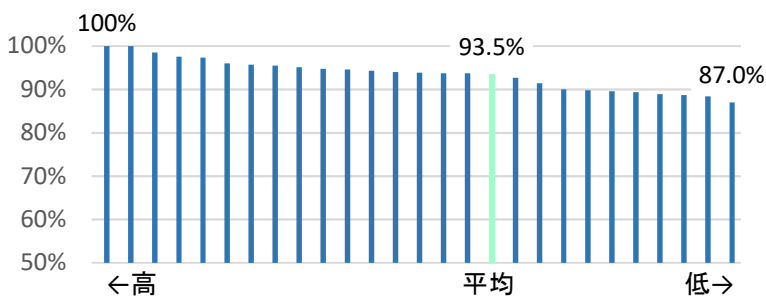
- ・ 1園を除き、9割以上の保護者が肯定的に回答
- ・ 最も低い園でも約88%の保護者が肯定的に回答

② 園での遊びや生活環境について、工夫や配慮がされていると思いますか



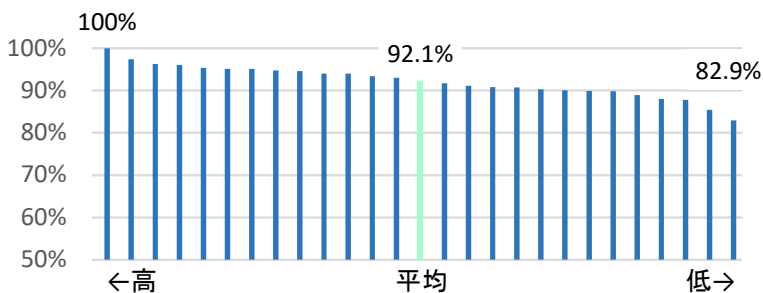
- ・ 1園を除き、9割以上の保護者が肯定的に回答
- ・ 最も低い園でも約9割の保護者が肯定的に回答

③ 園で提供される食事やおやつは、お子さんの状態を配慮して工夫されたものになっていると思いますか



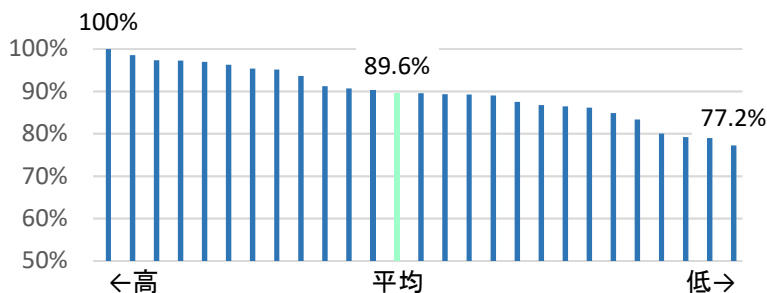
- ・ 約75%の園で9割以上の保護者が肯定的に回答
- ・ 最も低い園でも87%の保護者が肯定的に回答

④ 園だよりやクラスだよりなどは、わかりやすく知りたい内容になっていると思いますか



- ・ 約75%の園で9割以上の保護者が肯定的に回答
- ・ 最も低い園でも約83%の保護者が肯定的に回答

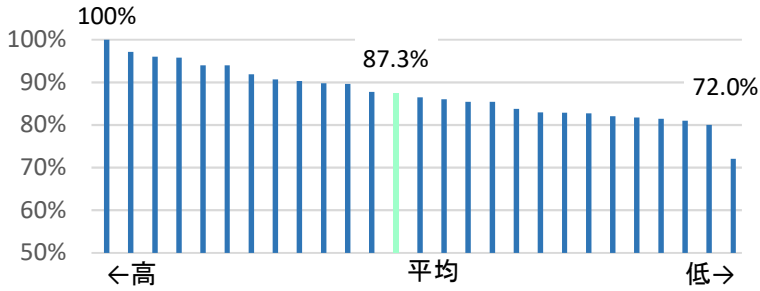
⑤ 避難訓練や不審者対応等の安全対策について、配慮されていると思いますか



- ・ 園によってばらつきはあるが、昨年度に比べ、平均値が約3%上がっている

※ 伊興(79.2%)、
本木(79.0%)、
千住あずま(77.2%)が
平均値より10ポイント以上低い

⑥ 園内は清潔で整理された空間になっていると思いますか



教育委員会情報連絡

令和4年1月13日

件名	令和3年度足立区教育委員会児童・生徒褒賞受賞団体及び受賞者の決定について
所管部課名	学校運営部学校支援課
内容	<p>令和3年度足立区教育委員会児童・生徒褒賞受賞団体及び受賞者を決定したので、以下のとおり報告する。</p> <p>1 目的</p> <p>国・東京都又はこれらに準ずる団体等が行う各種文化行事、競技大会等で優秀な成績を収め表彰されたものや、特に優れていると認められる善行を行った区内在住又は在学の小・中学生の努力と功績を称える。</p> <p>2 褒賞対象期間</p> <p>令和2年12月1日から令和3年11月30日まで</p> <p>3 受賞団体数・受賞者数（R3.12.23時点）</p> <p>① 団体：44団体（504名）</p> <p>② 個人：343名</p> <p>※ 内訳はP57のとおり</p> <p>4 褒賞式</p> <p>① 日時：令和4年2月13日（日）</p> <p>※ 新型コロナウイルス感染症の感染状況により、変更または中止となる場合がある。</p> <p>② 会場：東京芸術センター「天空劇場」</p>
今後の方針	今年度の褒賞式は、新型コロナウイルス感染症の対策を万全にしたうえで開催する。

令和3年度足立区教育委員会児童・生徒褒賞内訳

【褒賞者数（審査結果）】 褒賞対象総数 847名

※ 区外の団体活動には褒賞しないが、当該団体に所属して優秀な成績を収めた区内小・中学生については、メダルを贈呈。

※ 各賞とも令和元年度まで増加傾向にあったが、令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、大会等の中止が相次ぎ、激減したと思われる。

1 区長褒賞

① 団体：25団体（234名）【令和2年度 5団体（33名）】

② 個人：143名 【令和2年度 92名】

	文化	スポーツ	善行
団体（小学生）	1団体（8名）	11団体（67名）	—
団体（中学生）	3団体（92名）	10団体（67名）	—
個人（小学生）	29名	47名（区外団体13名含む）	—
個人（中学生）	29名	31名（区外団体6名含む）	7名

2 教育委員会褒賞

① 団体：19団体（270名）【令和2年度 6団体（34名）】

② 個人：200名 【令和2年度 100名】

	文化	スポーツ	善行
団体（小学生）	—	6団体（83名）	—
団体（中学生）	6団体（162名）	7団体（25名）	—
個人（小学生）	63名	48名（区外団体5名含む）	—
個人（中学生）	47名	42名（区外団体6名含む）	—

教育委員会情報連絡

令和4年1月13日

件名	令和4年度区立学校周年記念式典実施校・実施予定日について																																																				
所管部課名	学校運営部学校支援課																																																				
内 容	<p>令和4年度の区立小・中学校における周年記念式典等の実施校及び実施予定日は以下のとおり（網掛は令和3年度の実施を延期した学校）。</p> <p style="text-align: right;">小学校 11校、中学校 2校</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin: 10px 0;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">実施予定日</th> <th style="width: 30%;">学校名</th> <th style="width: 20%;">周年数</th> <th style="width: 30%;">開校年月</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>10月22日（土）</td> <td>西新井第一小学校</td> <td>70周年</td> <td>昭和27年4月</td> </tr> <tr> <td>10月29日（土）</td> <td>栗原小学校</td> <td>80周年</td> <td>昭和17年7月</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">11月5日（土）</td> <td>綾瀬小学校</td> <td>60周年</td> <td>昭和37年4月</td> </tr> <tr> <td>青井中学校</td> <td>50周年</td> <td>昭和48年4月</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">11月12日（土）</td> <td>関原小学校</td> <td>90周年</td> <td>昭和7年4月</td> </tr> <tr> <td>北鹿浜小学校</td> <td>50周年</td> <td>昭和48年4月</td> </tr> <tr> <td>11月19日（土）</td> <td>中川小学校</td> <td>60周年</td> <td>昭和37年4月</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">11月26日（土）</td> <td>西伊興小学校</td> <td>50周年</td> <td>昭和47年4月</td> </tr> <tr> <td>花保小学校</td> <td>50周年</td> <td>昭和48年4月</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">12月3日（土）</td> <td>弥生小学校</td> <td>70周年</td> <td>昭和28年4月</td> </tr> <tr> <td>青井小学校</td> <td>50周年</td> <td>昭和48年4月</td> </tr> <tr> <td>12月17日（土）</td> <td>足立小学校</td> <td>10周年</td> <td>平成25年4月</td> </tr> <tr style="background-color: #ffff00;"> <td style="text-align: center;">未定</td> <td>第四中学校(夜間)</td> <td>70周年</td> <td>昭和26年7月</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 第四中学校(夜間)については、11月の日曜日に開催を予定とのこと。</p>	実施予定日	学校名	周年数	開校年月	10月22日（土）	西新井第一小学校	70周年	昭和27年4月	10月29日（土）	栗原小学校	80周年	昭和17年7月	11月5日（土）	綾瀬小学校	60周年	昭和37年4月	青井中学校	50周年	昭和48年4月	11月12日（土）	関原小学校	90周年	昭和7年4月	北鹿浜小学校	50周年	昭和48年4月	11月19日（土）	中川小学校	60周年	昭和37年4月	11月26日（土）	西伊興小学校	50周年	昭和47年4月	花保小学校	50周年	昭和48年4月	12月3日（土）	弥生小学校	70周年	昭和28年4月	青井小学校	50周年	昭和48年4月	12月17日（土）	足立小学校	10周年	平成25年4月	未定	第四中学校(夜間)	70周年	昭和26年7月
	実施予定日	学校名	周年数	開校年月																																																	
	10月22日（土）	西新井第一小学校	70周年	昭和27年4月																																																	
	10月29日（土）	栗原小学校	80周年	昭和17年7月																																																	
	11月5日（土）	綾瀬小学校	60周年	昭和37年4月																																																	
		青井中学校	50周年	昭和48年4月																																																	
	11月12日（土）	関原小学校	90周年	昭和7年4月																																																	
		北鹿浜小学校	50周年	昭和48年4月																																																	
	11月19日（土）	中川小学校	60周年	昭和37年4月																																																	
	11月26日（土）	西伊興小学校	50周年	昭和47年4月																																																	
		花保小学校	50周年	昭和48年4月																																																	
	12月3日（土）	弥生小学校	70周年	昭和28年4月																																																	
		青井小学校	50周年	昭和48年4月																																																	
	12月17日（土）	足立小学校	10周年	平成25年4月																																																	
未定	第四中学校(夜間)	70周年	昭和26年7月																																																		
今後の方針	新型コロナウイルスの感染状況を考慮しながら、式典等を実施していく。																																																				

教育委員会情報連絡

令和4年1月13日

件名	綾瀬小学校地域開放型図書室の開設に向けた開設準備委員会の設置について
所管部課名	学校運営部学校支援課
内容	<p>令和4年7月から綾瀬小学校に地域開放型図書室「子ども図書室（仮称）」を開設するにあたり、地域から要望があった進捗状況を説明する場として地域開放型図書室開設準備委員会（以下、準備委員会）を設置する。</p> <p>1 目的</p> <p>(1) 図書室の運営方法等については、綾瀬小学校学校運営協議会や綾瀬小学校と協議してきたが、今後は近隣の小学校関係者などにも情報を提供していくことで、綾瀬地区の地域図書室としての存在を明確に打ち出し、新しい形の図書室の周知を図っていく。</p> <p>(2) スムーズな運営を行うために、地域の協力と理解を求めていく。</p> <p>2 役割</p> <p>運営方法、利用方法、学校図書室との関係、蔵書などについてこれまでの方針を説明し、協議する。</p> <p>3 委員候補者</p> <p>(1) 綾瀬小学校及び周辺小学校（東綾瀬小学校、東加平小学校）の開かれた学校づくり協議会、PTA関係者</p> <p>(2) 近隣の幼稚園及び保育園関係者</p> <p>(3) 区関係所管職員</p>
今後の方針	令和4年2月に第1回準備委員会を開催する。

教育委員会情報連絡

令和4年1月13日

件名	江北小学校と高野小学校の統合に伴う式典日程について
所管部課名	学校運営部学校施設管理課
内容	<p>江北小学校と高野小学校の統合に伴う式典日程が決まったので、報告する。</p> <p>1 高野小学校閉校式</p> <p>(1) 日時 令和4年3月25日(金) 午後3時～</p> <p>(2) 場所 高野小学校</p> <p>※ 江北小学校は存続するため、閉校式は行わない。 ※ 教育長をはじめとして60名程度の招待者へ案内状を送付する予定</p> <p>2 統合式</p> <p>(1) 日時 令和4年4月6日(水) 午前9時～</p> <p>(2) 場所 江北小学校</p> <p>※ 高野小学校が閉校し、江北小学校と統合するため、統合式として行う。 ※ 招待者等については、現在、学校と調整中である。</p>
今後の方針	

教 育 委 員 会 情 報 連 絡

令和4年1月13日

件 名	家庭的保育事業の認可手続き及び利用定員の確認について
所管部課名	子ども家庭部子ども施設入園課
内 容	<p>児童福祉法及び子ども・子育て支援法に基づき、家庭的保育事業の認可手続き及び利用定員の確認を行った。</p> <p>1 認可理由 現在開業中の家庭的保育事業者が、近年中に定年等により保育補助者に事業を継がせたいという意向があり、このたび事業者の事業継承の準備が整ったため。</p> <p>2 対象事業者 氏 名：清宮 美紀 所在地：足立区中川四丁目8番3号 定 員：5名</p> <p>3 認可年月日 令和4年4月1日</p>
今後の方針	<p>区のホームページで公開する「保育ママ募集人員表」において認可事業者として掲載し、令和4年4月1日付けで認可手続きを行えるよう進めていく。</p>

教育委員会情報連絡

令和4年1月13日

件名	令和4年「成人の日の集い」の実施結果について																
所管部課名	子ども家庭部青少年課																
内容	<p>午前、午後の部に分けての会場開催及び「動画 de あだち」でのライブ配信による開催とした。</p> <p>1 日時・場所 令和4年1月10日（月・祝） 東京武道館 ① 午前の部 11時 ～11時45分 ② 午後の部 14時30分～15時15分</p> <p>2 対象（令和3年12月1日現在） 平成13年4月2日生まれから平成14年4月1日生まれ 該当者：6,247人 前年比：274人減</p> <p>3 内容 【第1部】式典 【第2部】アトラクション（和太鼓演奏）</p> <p>4 参加者記念品（会場配付） 記念誌、万年筆</p> <p>5 参加者数 午前の部：1,633人 午後の部：1,523人 合計：3,156人</p> <p>6 WEB抽選会 「成人の日の集い」の参加申込者を対象とした抽選会を1月中に実施し、当選者には別途通知する。</p> <p>7 経年推移</p> <table border="1" data-bbox="448 1655 1362 1861"> <thead> <tr> <th></th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>対象者数</td> <td>6,444</td> <td>6,521</td> <td>6,247</td> </tr> <tr> <td>参加者数</td> <td>3,561</td> <td>3,399</td> <td>3,156</td> </tr> <tr> <td>参加率</td> <td>55.26%</td> <td>52.12%</td> <td>50.52%</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ R3は会場開催中止のため、記念品配付数（郵送）を参加者数とした。</p>		R2	R3	R4	対象者数	6,444	6,521	6,247	参加者数	3,561	3,399	3,156	参加率	55.26%	52.12%	50.52%
	R2	R3	R4														
対象者数	6,444	6,521	6,247														
参加者数	3,561	3,399	3,156														
参加率	55.26%	52.12%	50.52%														
今後の方針	<p>民法改正により、令和4年4月1日から、成人年齢が18歳に引き下げられる。「成人の日の集い」は名称を変更したうえで、引き続き20歳を対象に式典を予定しているため、周知を強化していく。</p>																

事業実施報告（12月）

行事名	実施日	会場	参加者数
中高生の居場所づくり	1日（水）8日（水） 15日（水）22日（水）	新田地域学習センター他	0人
	5日（日）		0人
	26日（日）		16人
キャリア教育講座	25日（土）	ギャラクシティ	2人
科学体験講座	12日（日）	ギャラクシティ	11人
	25日（土）		8人
	26日（日）		3人
紙人形劇ボランティア養成講座	1日（水）	伊興地域学習センター	5人
	3日（金）	東京芸術センター	8人
成人の日の集い 実行委員会	16日（木）	1205A 会議室	12人
ジュニアリーダー研修会	5日（日）	宮城ゆうゆう公園	14人
	19日（日）		8人
ジュニアリーダー スーパー研修会	5日（日）	ギャラクシティ	17人
あだち日曜教室	12日（日）	梅田地域学習センター	25人
帝京科学大学連携事業 「夢の体験教室」	18日（土）	各自宅 ※ 配信	60人
帝京科学大学連携事業 「のびのびプレイデイ」	22日（水）～31日（金）	各自宅 ※ 配信	319人

事業実施予定（1月）

行事名	実施日	会場	参加予定数
中高生の居場所づくり	5日（水）12日（水） 19日（水）26日（水）	新田地域学習センター他	計10人
	16日（日）		10人
	30日（日）		10人
科学体験講座	8日（土）	ギャラクシティ	20人
	9日（日）		20人
	30日（日）		10人
成人の日の集い	10日（月・祝）	東京武道館	3,500人
あだち子ども将棋大会	22日（土）	千寿本町小学校	128人
あだち日曜教室	9日（土）	梅田地域学習センター	31人
帝京科学大学連携事業 「体験！一日大学生」	8日（土）	各自宅 ※ 配信	20人
帝京科学大学連携事業 「夢の体験教室」	22日（土）	各自宅 ※ 配信	20人
帝京科学大学連携事業 「のびのびプレイデイ」	1日（土）～17日（月）	各自宅 ※ 配信	100人


教 育 委 員 会 情 報 連 絡

令和4年1月13日

件 名	東京都立小台橋高校の開校について
所管部課名	こども支援センターげんき教育相談課
内 容	<p>東京都内6校目のチャレンジスクールとして、足立区小台に開校する高校の名称が決定したので情報提供する。</p> <p>1 新校の名称 東京都立小台橋高等学校</p> <p>2 開校日 令和4年4月</p> <p>3 チャレンジスクールとは <u>不登校や中途退学の経験など</u>、これまで能力や適性を生かしきれなかった生徒等が新たに目標を見つけてチャレンジする <u>昼夜間定時制・単位制の高校</u></p> <p>4 チャレンジスクールの特徴 (1) 自分のライフスタイルや学習ペースに合わせて学ぶ時間帯（午前・午後・夜間）が選択可能 (2) 単位制により3年間での卒業も可能（通常は4年で卒業） (3) 学力検査・調査書がなく、面接・作文・志願申告書で選抜</p> <p>【参考】エンカレッジスクール 小中学校で十分能力を発揮できなかった生徒のやる気を育て、応援する学校として、<u>基礎的学力を身に付けることを目的とした全日制の高校</u></p>
今後の方針	

教育委員会情報連絡

令和4年1月13日

件名	足立区勤労福祉会館大規模改修工事に伴う図書受渡窓口の一時移転について
所管部課名	地域のちから推進部生涯学習支援室中央図書館
内容	<p>足立区勤労福祉会館が、大規模改修工事のため、近隣民間施設を賃借して会館を一時移転する。これに伴い、図書受渡窓口も同様に移転するため、以下のとおり報告する。</p> <p>1 移転期間および移転期間中の営業時間について</p> <p>(1) 移転期間 令和4年4月1日から令和5年3月31日まで（1年間） ※ 区民利用は令和4年4月上旬頃から令和5年3月下旬頃までの予定</p> <p>(2) 営業時間 午前9時から午後8時まで（移転前から変更なし）</p> <p>(3) 休館日 毎月月末（土日祝日の場合は直前の平日）、年末年始、勤労福祉会館休館日（移転前から変更なし）</p> <p>2 移転場所・管理運営について</p> <p>(1) 移転場所 足立区綾瀬四丁目10番6号 第6大室ビル1階 ※ 下図参照</p>  <p>(2) 管理運営 現在の受託事業者が引き続き管理運営を行う。</p>
今後の方針	あだち広報、区ホームページ、ポスター等により、区民や利用者への周知を行っていく。

足立区勤労福祉会館の一時移転について

1 概要

足立区勤労福祉会館の大規模改修工事に伴い、近隣民間施設を賃借して会館を一時移転する。

2 移転期間

令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

※ 区民利用は令和4年4月上旬頃から令和5年3月下旬頃までの予定

3 移転場所・建物利用・管理運営について

(1) 移転先住所

足立区綾瀬四丁目10番6号

※ 右図参照

(2) 移転先建物

第6大室ビル（3階建て）

(3) 建物賃貸借契約について

ア 契約期間 令和4年3月1日から令和5年3月31日まで

※ 令和4年3月は移転準備期間

イ 家賃 月額税込み 2,750,000円

ウ その他 建物東側の敷地（駐車スペース）は区で賃借せず、所有者側で活用が検討されている（有料駐車場等）。

(4) 建物の利用方法

ア 1階 会館事務室・チャレンジ学級等

イ 2階 貸室（区民利用）

ウ 3階 物品等保管

エ 各業務の移転先について



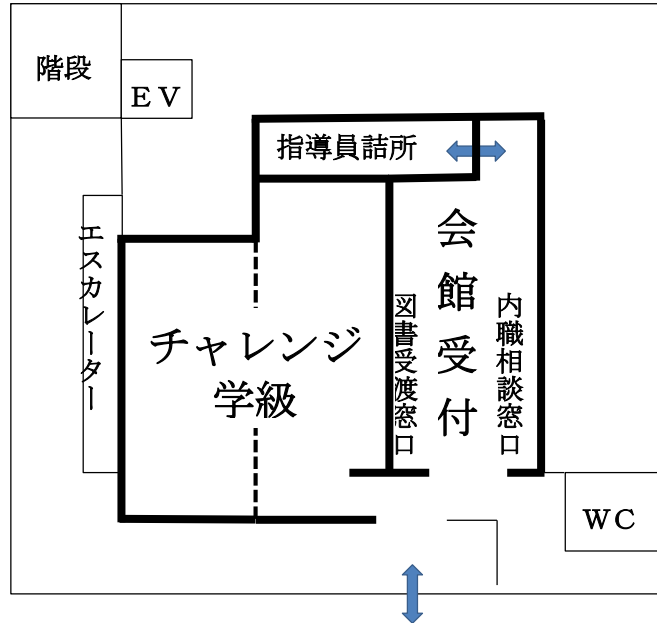
	業務（営業時間）	移転先	所管
1	勤労福祉会館 (午前8:30～午後9:30)	受付・事務室 1階 貸室 2階	産業経済部 企業経営支援課
2	綾瀬教育相談	※「こども支援センター げんき」に移転	こども支援センターげんき 教育相談課
3	チャレンジ学級綾瀬教室 (午前8:30～午後5:00)	1階	
4	図書受渡窓口 (午前9:00～午後8:00)	1階	地域のちから推進部 中央図書館
5	内職相談窓口 (午前11:00～午後4:00)	1階	産業経済部 企業経営支援課
6	路上喫煙防止 指導員詰所	1階	地域のちから推進部 地域調整課

(5) 管理運営

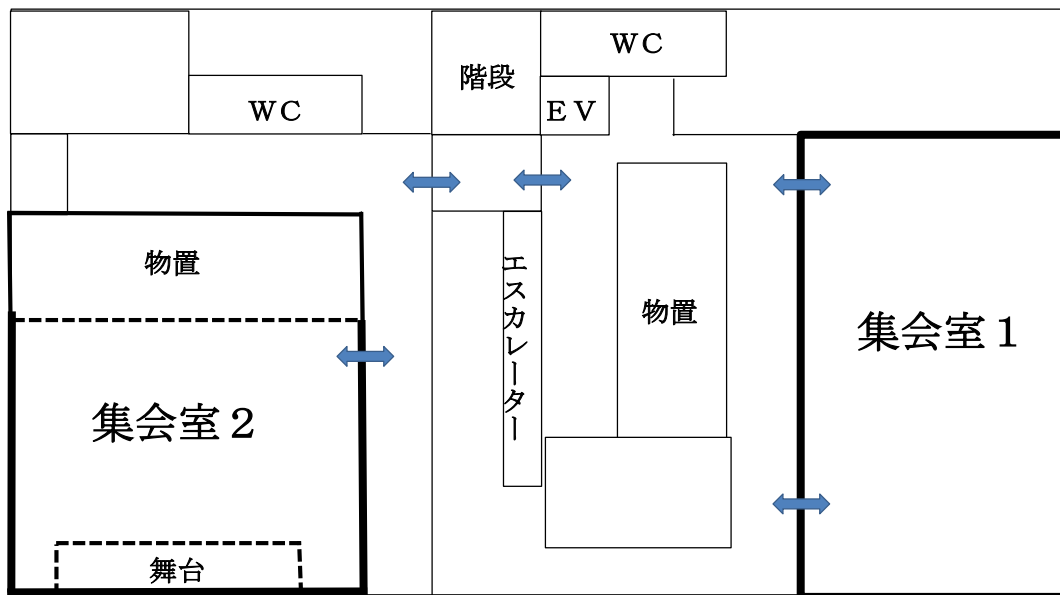
現在の指定管理者が引き続き管理運営を行う。

4 移転先の館内図面について

(1) 1階図面



(2) 2階図面



5 現会館の大規模改修について

(1) 主な工事内容

内装、空調設備、電気設備、照明設備、給排水設備、放送設備、電話設備

※ トイレは改修済みのため今回の工事には含まない。

(2) 工事期間 (予定)

令和4年4月から令和5年2月まで

行事実施結果（12月1日～12月31日）

公益財団法人足立区生涯学習振興公社

事業名	日時	会場	参加人数
<p>おりがみサポーターレベルアップ講座 《2日制》×2コース Bコース：12/2、9 各（木） ※Aコース終了 講師 西川 光恵氏 日本折紙協会認定講師</p>	<p>12/2、9 各（木） Bコース 10：00～12：00</p>	生涯学習センター	<p>12/2 31人 12/9 29人</p>
<p>あだち放課後子ども教室安全管理員研修（動画視聴） 「子どもとの接し方」～特別な配慮を必要とする児童への対応～ 講師 荻野 昌秀氏 こども支援センターげんき 臨床心理士 公認心理師</p>	<p>12/3（金）～ 12/22（水）</p>	<p>千寿桜小学校 他 計19校</p>	-
<p>あだち放課後子ども教室 安全管理講習会（応急手当実技） 講師 NPO法人 JAEA（ジャイア）（日本災害救護推進協議会）</p>	<p>12/7（火） ～12/22（水）</p>	<p>梅島第一小学校 他 計9校</p>	106人
<p>あだちウェルネスカレッジ ～コロナ禍における食のエッセンス～ 講師 堀口 泰子氏 栄養士、健康・食事シニアマスター 食アスリートシニアインストラクター</p>	<p>12/8（水） 10：00～12：00</p>	生涯学習センター	40人
<p>あだち放課後子ども教室体験プログラム 「スポーツスタッキング」 講師 楡井 忠夫氏（U&Uクラブ）</p>	<p>12/10（金） 12/14（火）</p>	<p>北鹿浜小学校 渚江第一小学校</p>	28人
<p>足立ジュニア吹奏楽団 演奏発表会</p>	<p>12/11（土） 18：30～19：15</p>	西新井文化ホール	120人
<p>運動機能向上のためのトレーニング（前期高齢者の運動指導） 講師 田中 秋乃氏 健康運動指導士</p>	<p>12/12（日） 13：00～17：30</p>	生涯学習センター	39人
<p>あだち放課後子ども教室体験プログラム 「植物クラフト 押し花のクリスマスカードづくり」</p>	<p>12/14（火）</p>	<p>興本小学校 花畑第一小学校</p>	44人
<p>子どもの未来応援アウトリーチコンサート in 子育てサロン千住大橋 出演者 山本 奈央氏（オカリナ）、志野 文音氏（クラシックギター）</p>	<p>12/17（金） 10：30～11：00</p>	子育てサロン千住大橋（ポンテポルタ千住）	46人
<p>「スペシャルおはなし会」～読み語りキャラバン in 学びピア～ 出演 「読み語りキャラバン隊・きらきら」の有志</p>	<p>12/19（日） 15：30～16：00</p>	生涯学習センター	34人
<p>あだち放課後子ども教室実行委員会</p>	<p>12/20（月）</p>	千寿双葉小学校	-

事業名	日時	会場	参加人数
あだち放課後子ども教室 安全管理講習会（新任スタッフ向け） 講師 NPO 法人 JAEA（ジャイア）（日本災害救護推進協議会）	12/20（月） 14：00～15：30	生涯学習センター	27 人
あだち放課後子ども教室 安全管理員研修会 「子どもとの接し方」 講師 藤後 悦子氏（東京未来大学 こども心理学部教授）	12/23（木） 10：00～12：00	生涯学習センター	38 人

行事实施予定（1月1日～1月31日）

事業名	日時	会場	予定人数
あだち放課後子ども教室 安全管理講習会（応急手当実技） 講師 NPO 法人 JAEA（ジャイア）（日本災害救護推進協議会）	1/17（月） ～1/31（月）	青井小学校 他 計8校	-
あだち放課後子ども教室安全管理員研修（動画視聴） 「子どもとの接し方」 ～特別な配慮を必要とする児童への対応～ 講師 荻野 昌秀氏 こども支援センターげんき 臨床心理士 公認心理師	1/17（月） ～1/27（木）	青井小学校 他 計4校	-
小学校アウトリーチコンサート 出演者 礮 絵里子氏（ヴァイオリン）、白石 光隆氏（ピアノ）（島根小・高野小・鹿浜五色桜小） 塚越 慎子氏（マリンバ）、小澤 佳永氏（ピアノ）（東綾瀬小・宮城小）	1/19（水） 1/20（木） 1/25（火） 1/26（水） 1/27（木）	島根小学校 他 計5校	小学1年生 14クラス
おりがみサポーター交流会 I	1/19（水） 10：00～12：00	生涯学習センター	70 人
読み語りのためのボイストレーニング講座<5日制> 1/27～2/24 毎（木）10:00～12:00 ※最終日 2/24（木）13：00～16：30 おはなし会実習 講師 山下 芳子氏 足立区演劇連盟事務局長、 演出家、朗読指導者	1/27（木） 10:00～12:00	生涯学習センター	14 人
足立ジュニア吹奏楽団 ブラスキッズ	1/29（土）～ 5回（予定） 14：00～15：00	島根小学校他	小学3年生 10 人
あだち放課後子ども教室 運営委員会	1/31（月） 15：00～16：15	生涯学習センター	80 人